

# 広島県のがん登録

(平成26年集計)



平成30年10月

広島県  
一般社団法人 広島県医師会  
公益財団法人 放射線影響研究所

## 御 挨 拶

がんは、昭和54（1979）年以降30年以上連続して本県の死亡原因の第1位という状況が続いており、今もなお、高齢化の進行等を背景に、がんによる死亡者数は増加しています。

このような状況の中、効果的ながん対策を推進するため、県内のがん罹患数やその特性を把握し、予防活動の有効性及び医療水準の評価等を行うことを目的に、県では、平成14（2002）年10月から「広島県地域がん登録」を一般社団法人広島県医師会と公益財団法人放射線影響研究所の協力の下、実施してまいりました。

この間、両法人や県内医療機関の皆様の多大な御尽力により、本県のがん登録は、高い精度を有し、がん対策に欠くことのできない基礎資料となっています。

また、平成28（2016）年1月には、「がん登録等の推進に関する法律」が施行され、「全国がん登録」がスタートしたことにより、国、都道府県及び関係医療機関等が協力してがん情報を収集、保存、活用する体制が構築されました。

県としましては、平成30（2018）年3月に策定した「広島県がん対策推進計画（第3次）」を進めるにあたり、この貴重ながん登録情報を有効に活用し、「がん対策日本一」の実現に向け、引き続き取り組んでまいります。

終わりに、この報告書の発行に当たり御尽力をいただいた皆様に心より感謝を申し上げますとともに、医療関係者や行政関係者の皆様には、がん登録情報を御活用いただき、それぞれのお立場からがん対策に取り組んでいただきますようお願い申し上げます。

平成30（2018）年10月

広島県知事 湯崎 英彦



## 「広島県のがん登録（平成26年集計）」に寄せて

平成14（2002）年から本県独自の取り組みとしてはじまった「広島県地域がん登録」は、今回は平成26年集計として13回目の報告書を取りまとめました。なお、平成28（2016）年1月より「全国がん登録」に移行したため、広島県地域がん登録としての報告書は平成27（2015）年集計で終了となります。

これまで本会は平成14（2002）年の「広島県地域がん登録事業」開始当初より、広島県からの委託を受け、放射線影響研究所とともに三者で協力し、以来、現在まで本県における地域がん登録事業を推進しております。特に本県の地域がん登録データの精度は遡り調査を始めた平成17（2005）年頃より飛躍的に高くなっております。それは、本会が実施する「広島県腫瘍登録事業」、さらには広島市の「広島市地域がん登録」に加え、「広島県地域がん登録事業」の3つのデータを統合することにより、質を高め有用となるデータ作成に努めております。これにより現在でも全国トップレベルの精度を維持していると自負しております。これらは、ひとえに日々の登録業務に携わっていただいている各医療機関の皆さまのおかげでありますので、改めて心から御礼申し上げます。

本会は広島県が掲げる「がん対策日本一」の目標実現に向け、さまざまな施策に連携して取り組んでおります。とりわけより効果的ながん対策を推進する上で不可欠な基礎データはこれらのがん登録が支えています。県民のためのがん対策に資するデータは、会員のみなさまの医療にもつながる極めて大切なデータであります。この大切なデータを今後さらに幅広く利活用できるよう県行政はもとより関係機関とともにしっかり連携してより充実したがん対策を推進して参る所存です。

今後も、がん対策に寄与する基礎データであるがん登録事業に、引き続き皆さま方からのご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成30（2018）年10月

一般社団法人広島県医師会会長 平松 恵一





## 「広島県のがん登録（平成26年集計）」に寄せて

平成26（2014）年集計報告書を発行する運びとなりました。日頃、がん登録資料の届出にご協力いただいている医療機関の皆様、本事業を共同で遂行してくださっている広島県医師会地域がん登録室の皆様、広島県腫瘍登録事業を通して病理学的診断情報をご提供いただいた病理医の先生方や各施設病理部の皆様のご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。

平成28（2016）年1月より「がん登録等の推進に関する法律」に基づき、全国がん登録が開始されました。昨年度に発刊された平成25（2013）年の報告書から、新しい全国がん登録データベースシステムを用いた集計値が用いられております。しかし登録項目や集計定義の変更、それに旧データベースから移行したデータと新しく登録されたデータの連続性が考慮されていないこと等の影響で、平成25（2013）年は罹患数が大きく増加したように見えます。しかし今年度報告の平成26（2014）年の罹患数は、新しいデータベース内で蓄積したデータの連続性が考慮されたことにより、前年より減少し、従来の罹患数に近づいているように見受けられます。ただ、システム変更による影響がなくなり、罹患数が安定して集計されるには、もう数年が必要かと考えております。

平成30（2018）年3月に、広島県がん対策推進計画―第3次（平成30（2018）～35（2023）年度）―が策定されました。今後は従来のがん対策に加え、小児・AYA（思春期・若年成人）世代のがん、希少がん、難治性がんの対策にも力が注がれます。これまでに蓄積した精度の高い広島県のがん登録資料が、広島県のがん対策の基礎資料として十分に活用されるよう、放影研としても貢献できればと考えております。また、がん登録情報の取り扱いに関する個人情報保護についても、「全国がん登録における個人情報保護のための安全管理措置マニュアル」に沿って、細心の注意をもって取り組んで参ります。

放影研としては、がん登録資料を利用して、当研究所の使命である放射線被曝とがん罹患の関連を明らかにすることはもとより、がん罹患に関与するさまざまな因子を明らかにするためにも邁進する所存です。そしてこの使命を果たすには、皆様のご協力、ご理解が欠かせません。なにとぞよろしくお願い申し上げます。

平成30（2018）年10月

放射線影響研究所理事長 丹羽 太貫



## 目次

I	広島県地域がん登録の概要	1
	1. 目的	1
	2. 経緯	1
	3. 方法	2
	(1) 資料の収集方法（平成27年（2015）診断まで）	2
	(2) 登録対象	2
	(3) 登録作業	3
	(4) 集約作業	3
	(5) 罹患・死亡集計	7
	(6) 相対生存率算出方法	8
	(7) データのバックアップ	8
	4. 用語の説明	8
II	平成26年（2014）の結果	12
	1. がん死亡	12
	(1) 部位別がん死亡数	12
	(2) 全国との比較	13
	2. がん罹患	14
	(1) 登録精度（上皮内がんを除く）	14
	(2) 部位別がん罹患数および罹患割合	16
	(3) 年齢階級別がん罹患率	18
	(4) 発見経緯	23
	(5) 進展度	24
	(6) 受療割合	26
	(7) 二次保健医療圏別の標準化罹患比（上皮内がんを除く）	29
	3. 5年相対生存率（平成21年（2009）診断）	31
	4. 罹患（罹患数、年齢調整罹患率）と死亡（死亡数、年齢調整死亡率）の年次推移（平成15年（2003）～平成26年（2014））	34
	5. 登録精度指標の推移	37
III	おわりに	38
IV	付表 広島県標準集計表	
	表1-A 罹患数、罹患割合（%）、粗罹患率（人口10万対）、年齢調整罹患率（人口10万対）及び累積罹患率（人口100対）：部位別、性別 上皮内がんを除く	39
	表1-B 罹患数、罹患割合（%）、粗罹患率（人口10万対）、年齢調整罹患率（人口10万対）及び累積罹患率（人口100対）：部位別、性別 上皮内がんを含む	40
	表2-A 年齢階級別罹患数、罹患割合（%）：部位別、性別 上皮内がんを除く	41
	表2-B 年齢階級別罹患数、罹患割合（%）：部位別、性別 上皮内がんを含む	42
	表3-A 年齢階級別罹患率（人口10万対）：部位別、性別 上皮内がんを除く	43
	表3-B 年齢階級別罹患率（人口10万対）：部位別、性別 上皮内がんを含む	44
	表4-A 発見経緯（%）：部位別 上皮内がんを除く	45
	表4-B 発見経緯（%）：部位別 上皮内がんを含む	46
	表5-1 A 進展度・総合（%）：部位別 上皮内がんを除く	47
	表5-1 B 進展度・総合（%）：部位別 上皮内がんを含む	48
	表5-2 A 進展度・治療前（%）：部位別 上皮内がんを除く	49
	表5-2 B 進展度・治療前（%）：部位別 上皮内がんを含む	50
	表5-3 A 進展度・術後（%）：部位別 上皮内がんを除く	51
	表5-3 B 進展度・術後（%）：部位別 上皮内がんを含む	52
	表6-A 受療割合（%）：部位別 上皮内がんを除く	53
	表6-B 受療割合（%）：部位別 上皮内がんを含む	54

表7-A	観血的治療の範囲（％）：部位別 上皮内がんを除く	55
表7-B	観血的治療の範囲（％）：部位別 上皮内がんを含む	56
表8-A	精度指標：部位別、性別 上皮内がんを除く	57
表8-B	精度指標：部位別、性別 上皮内がんを含む	58
表9	死亡数、死亡割合（％）、粗死亡率（人口10万対）、年齢調整死亡率（人口10万対）及び累積死亡率（人口100対）：部位別、性別	59
表10	年齢階級別死亡数、死亡割合（％）：部位別、性別	60
表11	年齢階級別死亡率（人口10万対）：部位別、性別	61
表12	5年相対生存率（％）：部位別、性別	62
表13	5年相対生存率（％）：主要部位別、性別、進展度・総合別	63
付表1	がん罹患数及び罹患率：詳細部位別、性別	65
付表2	がん死亡数及び死亡率：詳細部位別、性別	67
付表3-A	受療割合詳細（％）：部位別 上皮内がんを除く	69
付表3-B	受療割合詳細（％）：部位別 上皮内がんを含む	70
付表4-A	医療圏別、保健所別罹患数：部位別、性別 上皮内がんを除く	71
付表4-B	医療圏別、保健所別罹患数：部位別、性別 上皮内がんを含む	72
付表4-C 1	標準化死亡比（全国との比較）：部位別、性別	73
付表4-D	二次保健医療圏別標準化罹患比（広島県との比較）：部位別、性別	74
付表5-A	市区町村別罹患数：部位別、性別 上皮内がんを除く	75
付表5-B	市区町村別罹患数：部位別、性別 上皮内がんを含む	76
付表6-1	罹患数の年次推移	77
付表6-2	年齢調整罹患率の年次推移	77
付表6-3	死亡数の年次推移	77
付表6-4	年齢調整死亡率の年次推移	77

## V 参考資料

1. 二次保健医療圏	79
2. 広島県地域がん登録届出票	80
(1) 届出票（平成18年まで）	80
(2) 届出票 改訂版（平成19年から）	81
(3) 届出票と届出票の書き方 第3版（平成22年1月から）	82
3. 広島県地域がん登録届出票（平成18年まで）項目と地域がん登録標準登録票項目の対応表	89
4. 地域がん登録標準登録票項目と全国がん登録システム登録票項目の対応表	94
5. 広島県腫瘍登録データと地域がん登録標準登録票項目の対応表	96
6. 広島県地域がん登録・広島県腫瘍登録届出施設	98
7. 広島県・広島市地域がん登録資料の相互利用に関する協定書	100
8. 広島県医師会 広島県地域がん登録運営委員会委員名簿	102
広島県地域がん登録システム推進事業実施要領	103
広島県地域がん登録システム推進事業資料利用審査委員会設置要領	107
広島県地域がん登録資料の利用手続要項	108

# I 広島県地域がん登録の概要

## 1. 目的

広島県地域がん登録とは、広島県民に発生したがんの診断から治癒、または死亡にいたるまでの情報を多方面から収集し、個々の患者ごと、さらに個々のがんごとに集約する仕組みのことである。これらの情報を使用して、がん予防の推進、がん医療の向上を図り、県民の健康に役立てることを目的としている。

## 2. 経緯

広島県地域がん登録のこれまでの経緯を示す。

平成14年（2002）10月	広島県地域がん登録システム推進事業を開始
平成17年（2005）4月	広島県腫瘍登録（いわゆる病理登録）と一体化。病理診断に基づく詳細ながん情報の収集を開始
平成19年（2007）1月	第3次対がん総合戦略研究事業「がん罹患・死亡動向の実態把握の研究」班（以下、祖父江班という）が推奨する標準登録票項目を採用し、届出票を改訂（第2版） 祖父江班が提供する標準データベースシステム（DBS）導入 （注：標準DBSは平成23年（2011）に祖父江班から独立行政法人国立がん研究センターに譲渡された）
平成20年（2008）7月	遡り調査開始 祖父江班の全国がん罹患モニタリング集計に参加を開始
平成21年（2009）8月	広島市地域がん登録・広島県地域がん登録の資料相互利用の協定書を締結 広島市で収集された情報と相互利用することで、より精度の高いがん統計を整備することを目指す
平成22年（2010）1月	標準登録票項目の改訂に伴い、届出票を改訂（第3版）
平成24年（2012）1月	住基ネットによる診断から5年後の生存確認調査開始（平成18年（2006）診断～）*
平成25年（2013）5月	5年相対生存率集計を掲載（平成18年（2006）診断～）
平成28年（2016）1月	「がん登録等の推進に関する法律」施行 全国がん登録開始（平成28年（2016）診断～） 広島県において全国がん登録DBS都道府県がんデータベース導入（以下、都道府県がんデータベースという） 平成24年（2012）診断までの広島県地域がん登録データを移行

\* 国立がん研究センターが全国の死亡者情報と照合した5年相対生存率が提供されることになったため、生存確認調査は、平成27年（2015）1月（平成21年（2009）診断）で終了した。

### 3. 方 法

#### (1) 資料の収集方法（平成27年（2015）診断まで）

##### 1) 広島県地域がん登録（臨床登録）

###### ①広島県地域がん登録届出票

広島県内の医療機関から、広島県地域がん登録届出票に一人の患者の原発部位ごとにがんの情報を記載して届け出る、届出方式である。医療機関からの届出は、初回治療時の退院時および死亡退院時であり、広島県医師会へ追跡可能なゆうパックで郵送される。

###### ②人口動態調査死亡票

人口動態調査において作成された人口動態調査死亡票（以下、死亡票という）について目的外利用の許可を得て、広島県内で作成された転写書類を入手している。

##### 2) 広島県腫瘍登録（病理登録）

広島県内の医療機関および検査センターから、診断した腫瘍について、病理診断依頼箋および病理診断報告書の写しと悪性についてはそれを代表する組織プレパラートを広島県医師会に届け出る、届出方式である。これらの腫瘍情報は広島県腫瘍登録実務委員会のメンバーである病理医が国際疾病分類－腫瘍学第3版（以下、ICD-O-3という）により、腫瘍の部位と組織診断をコード化する。さらに腫瘍の病期、原発巣、標本の採取方法（手術あるいは生検）の情報についてもコード化を行う。コード化するには、必要に応じて病理医がプレパラートを鏡検して組織診断を確認している。これらの情報は、広島県医師会にて入力され、（公財）放射線影響研究所内のデータベースに保管される。その後、1年に1度、約1年分のデータを広島県地域がん登録データベースへ移行されている。平成25年（2013）診断症例からは、都道府県がんデータベースに移行されている。

##### 3) 広島市地域がん登録

広島市地域がん登録では、広島市内とその周辺の医療機関の協力を得て、委託先である（公財）放射線影響研究所の職員が医療記録からがんの診療記録を原発部位ごとに採録している。これらの情報はデータベースに登録され、広島県地域がん登録データと相互利用されている。

#### (2) 登録対象

##### 1) 広島県地域がん登録（臨床登録）

###### ①広島県地域がん登録届出票

診断時住所が広島県内で、上皮内がんを含む悪性腫瘍（ICD-O-3の性状2または3）、および中枢神経系腫瘍（脳・脊髄・髄膜）は良性・悪性にかかわらず登録対象としている。

###### ②人口動態調査死亡票（死亡票）

死亡票において、I欄に「がん」（ICD-O-3の性状2または3）もしくはその疑いがあるもの、また、頭蓋内は性状にかかわらず「腫瘍」の記載のあるものを登録対象としている。

I欄に「腫瘍」の記載のあるもので、肝および肝内胆管・膵・気管・気管支および肺・腎・膀胱は悪性腫瘍とみなし、登録対象としている。



## 2) 広島県腫瘍登録（病理登録）

広島県腫瘍登録で収集した情報のうち、上記広島県地域がん登録の登録対象となるものを対象としている。

## 3) 広島市地域がん登録

広島市地域がん登録の登録対象は、診断時住所が広島市内で、その他の登録要件は広島県地域がん登録の登録対象と同様である。

## (3) 登録作業

医療機関から提出された届出票について、がんの原発部位および病理診断情報をICD-O-3でコード化し、入力作業を行った。平成24年（2012）診断までの届出票は標準DBSを用い、平成25年（2013）診断症例からは全国がん登録DBSを用いて入力作業を行い都道府県がんデータベースに登録した。

平成24年（2012）までの死亡票に記載された個人識別情報と死亡情報について、標準DBSを用いて入力した。死亡票中に腫瘍の記載があれば、腫瘍情報についても届出票同様ICD-O-3でコード化し、標準DBSを用いて入力し登録した。平成25年（2013）死亡症例からは、全国がん登録DBSを用いて入力し、死亡票と既登録情報との照合の作業は、国立がん研究センターが行った。

## (4) 集約作業

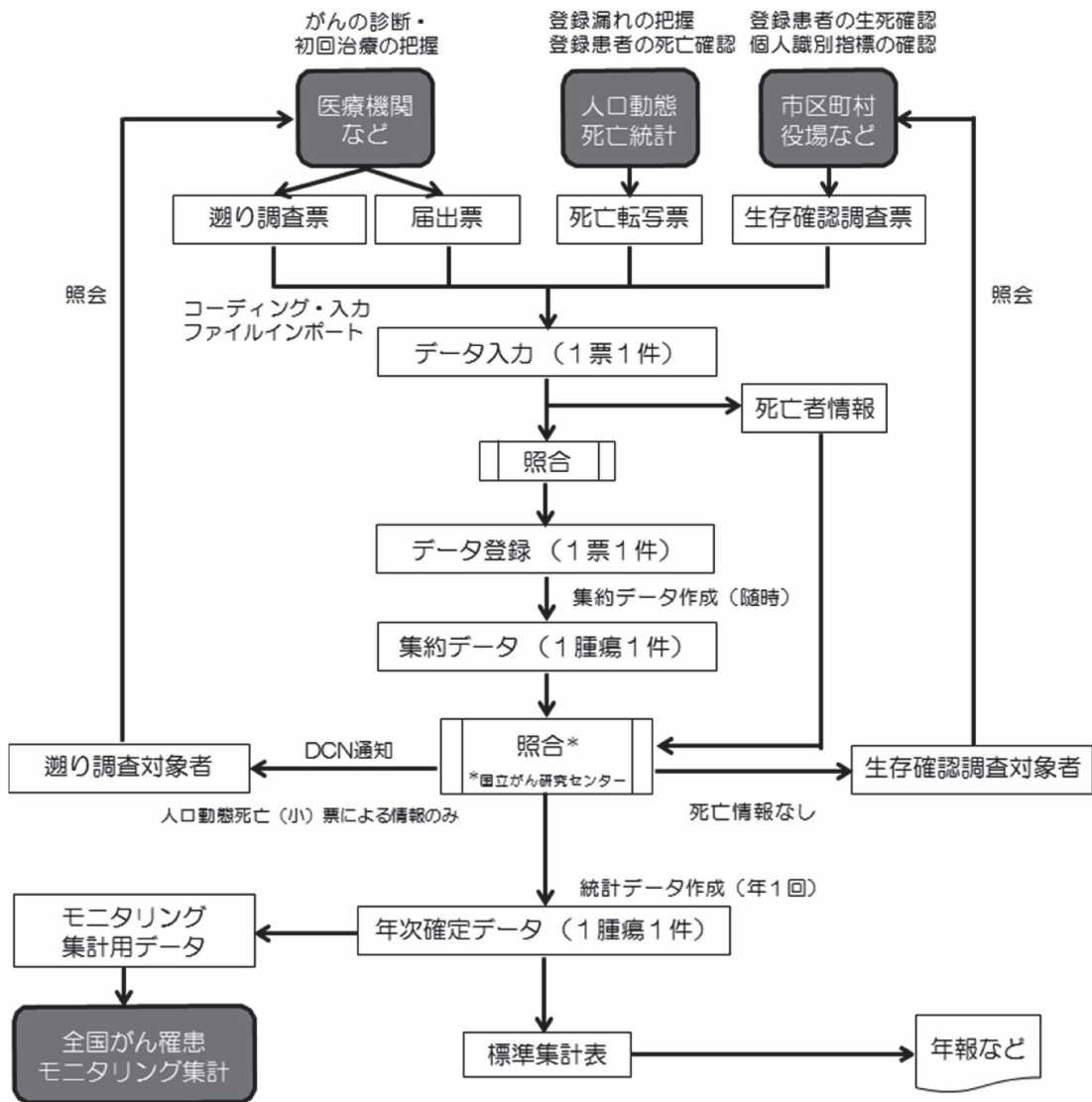
平成26年（2014）のがん罹患統計では、広島県地域がん登録届出票と広島県腫瘍登録用病理診断報告書の写しのうちICD-O-3において性状コードが2（上皮内がん）または3（悪性）のものおよび中枢神経系腫瘍（脳・脊髄・髄膜）は良性・悪性にかかわらず都道府県がんデータベースを用いて集約作業を行った（図A）。

入力した患者について、以前に登録されたことがある患者かどうかの照合を行い（個人同定）、その後、原発部位について、1腫瘍1件の情報として集約を行った。多重がんの判定についてはIARC（International Agency for Research on Cancer）の多重がんの判定基準に基づき判定を行った。さらに、国立がん研究センターにおいて、死亡票（平成26年（2014）死亡症例）の原死因として記載されたがんと都道府県がんデータベースの照合が行われた。そのうち、初めて死亡票でがん情報が登録されたものについて国立がん研究センターより広島県に通知され、それらの対象者に対して、原発部位、病期、治療方法などの情報を詳しく得るために、遡り調査を実施した。

遡り調査については、平成26年（2014）の死亡情報で初めて登録された症例のうち、死亡場所が病院、かつ、死亡時住所が県内の患者である1,028件に対して遡り調査を実施し、999件（回収率は97.2%）が返送された。有効回答数は981件であった。遡り調査の回答を登録後、最終的に国立がん研究センターですべての資料の集約作業が行われ、年次確定データが作成された。

平成25年（2013）診断症例から集約方法、集計方法が全国がん登録方式へ変更された。この方式変更により、罹患数の結果に影響を受ける可能性がある。国立がん研究センターより提供された、変更項目、主な変更事項、想定される罹患数への影響について表Aから表Cに示す。





図A 広島県地域がん登録における登録作業の流れ

表A 全国がん登録方式への変更に伴う集計値への影響①

(2013年診断症例より既に影響あり)

変更項目	主な変更事項	想定される罹患数への影響	罹患数の変化	
			従前 DCN 割合： 低い地域	従前 DCN 割合： 高い地域
1 DCN、DCO とするがんの範囲	<ul style="list-style-type: none"> <li>・死亡票からルールに従い一つのがんのみ取得(2016年以降)</li> <li>・原死因のみ取扱</li> <li>・ICD-10 による DCN、DCO とするがんの範囲を決定 (ICD-O-3 かつ標準方式による当該範囲決定との差異)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一つのがんのみを取得するため DCN、DCO とするがんの範囲としては、罹患数減少の方向へ (2016年以降)</li> <li>・原死因のみを扱うため DCN、DCO とするがんの範囲としては、罹患数減少の方向へ影響する影響の程度は、登録の量的精度に依存する (DCN 割合が高い場合、従前の DCN 対象と比べて少なくなるので、罹患数減少の程度が大きい)</li> <li>・ICD-10 で DCN、DCO とするがんの範囲を決定するため、ICD-O-3 かつ標準方式による当該範囲決定との違いが生じ、罹患数に影響する</li> </ul>	↓	↓↓
2 集計時に利用する罹患日の定義	罹患日定義：生存率用に統一 (遡り調査による届出の罹患日を採用)。罹患日－罹患率用、罹患日－生存率用運用の廃止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・罹患数減少の方向へ影響する。影響の程度は、登録の量的精度に依存する。(DCN 割合が高く、かつ DCN と DCO の割合の差が大きく DCO 割合が低い場合、DCN 対象が最新罹患集計年以前のいずれかで集計されるため、最新罹患集計の罹患数減少の程度が大きい)</li> </ul>	↓↓	↓↓ ↓
3 固定データとの集約不可①	届出票に対し、照合を実施し、同一人物が見つかった時点で、固定データと集約せずにカウントする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移行期のみ過去の罹患数への影響</li> <li>・届出票のがんと同じがんの届出があっても、集約できないため、2重にカウントされる</li> </ul>	↑	↑
4 全国照合の実施	全国照合及び国がんによるがん死亡票 (G 票・C 票) 照合の結果、他県入力された自県在住者の診断、死亡症例がカウントされる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・罹患数増加の方向へ影響する。影響の程度は、当該県での患者の流動性に依存する。2015年までは、他県在住者の届出を入力するか否かは都道府県の判断によるため、増減傾向は不安定である</li> </ul>	↑	↑

表B 全国がん登録方式への変更に伴う集計値への影響②

(主として2016年診断症例以降)

	変更項目	主な変更事項	想定される罹患数への影響	罹患数の変化	
				従前 DCN 割合： 低い地域	従前 DCN 割合： 高い地域
1	届出対象の「がん」の範囲の変更	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ C70.1 脊髄膜、C72.0 脊髄、C72.1 馬尾の性状0、1の腫瘍</li> <li>・ C56.9 卵巣の性状1の腫瘍</li> <li>・ 性状1の GIST →登録対象として追加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 浸潤がん（性状3）、ICD-10のCコードのみの罹患集計値については変わらない</li> <li>・ 詳細集計において追加された登録対象が集計される</li> </ul>	↑	↑
2	DCNの確定時期	DCN対象決定時期：診断年+2年の6月頃（一斉に決定）	・ DCN対象決定時期を全国がん登録方式より長期にしていた場合、DCN割合は高くなり、罹患数減少の方向に影響する	-	-

表C 全国がん登録方式への変更に伴う集計値への影響③

(累積データ等に及ぼす影響)

	変更項目	主な変更事項	想定される罹患数への影響	罹患数の変化	
				従前 DCN 割合： 低い地域	従前 DCN 割合： 高い地域
1	部位と組織が同じ上皮内癌と浸潤癌の多重がん判定規則	多重がんの判定基準：時期にかかわらず、上皮内癌と浸潤癌がある場合は最古の浸潤癌の一つにする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最新罹患集計の1年間の罹患数には影響はない</li> <li>・ 数年後に遡ってある年の罹患数をみた場合、全国がん登録では、一部の上皮内癌の登録が消えるため、上皮内癌の罹患数は減少する</li> </ul>	↓	↓
2	固定データとの集約不可②	遡り調査として、照合を実施し、同一人物が見つかった時点で、固定データに届出票が確認できれば調査対象から除外する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 移行期のみ過去の罹患数への影響</li> <li>・ 遡り調査において、死亡票のがんと異なるがんの届出があっても対象外となるため、死亡票のがんはDCOにも、過去の罹患にもならず、カウントされない</li> </ul>	↓	↓

表Aから表Cは、「都道府県がんデータベースシステム出力の2013年罹患数について」（国立がん研究センターがん対策情報センターがん登録センター全国がん登録室作成）から提供

(5) 罹患・死亡集計

国立がん研究センターが、平成30（2018）年3月2日に作成した年次確定データに基づき、原発がんの罹患およびがん死亡について集計し、集計値が広島県に提供された。罹患の集計対象は、広島県内住所（広島県内住所不明および性別不詳を含む）かつ疑診でない原発性の悪性腫瘍および上皮内がん（ICD-10；C00－C96，D00－D09）である。「上皮内がん」の定義は25ページを参照のこと。本報告書における表記は国立がん研究センターより提供された集計表の表記に準じる。

罹患率、死亡率の集計には、国立がん研究センターがん対策情報センターがん情報統計部と国立社会保障・人口問題研究所との共同開発により作成された平成26年（2014）都道府県別人口が用いられた。この都道府県別人口は、国勢調査の性、年齢階級別の総人口、日本人人口より年齢不詳を按分し、平成17年（2005）、平成22年（2010）の国勢調査より平成26年（2014）の人口を外挿法により求められたものである。罹患率算出には総人口、死亡率算出には日本人人口を用いている。

標準化死亡比の算出においては、人口動態統計に基づく日本人年齢階級別死亡率と国立がん研究センターから提供された広島県の部位別死亡数および広島県日本人人口を用いた。

二次保健医療圏別の標準化罹患比の算出には、国立がん研究センターから提供された二次保健医療圏別部位別罹患数と、（公財）放射線影響研究所が昭和50年（1975）～平成22年（2010）の5年ごとの国勢調査人口（総人口）を用いて、性別、同一年齢階級において外挿して求めた平成26年（2014）二次保健医療圏別人口（表D）を用いた。なお、年齢不詳人口については考慮していない。

表D 平成26年（2014）広島県および二次医療圏別の性別、年齢階級別人口

二次保健医療圏		合計	0-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44
男性	広島県	1,373,056	61,333	62,902	67,007	64,745	62,286	67,923	74,923	121,043	96,924
	広島	653,457	31,365	31,829	33,515	31,355	29,205	32,682	37,111	61,878	51,058
	広島西	67,094	2,615	2,922	3,027	3,015	2,609	3,556	3,223	5,211	4,521
	呉	123,532	4,505	4,449	5,800	5,136	6,239	6,297	6,199	10,368	8,223
	広島中央	115,845	5,307	4,969	5,444	7,266	9,118	6,614	6,739	9,573	7,634
	尾三	121,915	4,547	5,245	5,530	5,329	4,521	5,769	6,063	9,259	7,118
	福山府中	247,391	11,170	11,540	11,922	10,799	9,138	11,406	13,446	21,584	15,896
	備北	43,820	1,823	1,946	1,768	1,844	1,457	1,599	2,143	3,169	2,474
女性	広島県	1,474,980	58,711	59,310	64,380	61,153	59,900	65,506	72,904	119,616	97,764
	広島	708,059	30,170	30,332	32,332	30,011	30,956	34,151	38,343	63,551	51,997
	広島西	73,434	2,420	2,563	2,899	3,050	2,887	3,459	3,159	5,359	4,536
	呉	132,323	4,270	4,586	4,983	5,331	4,926	4,741	5,210	8,965	8,010
	広島中央	113,704	5,103	4,669	5,256	5,669	6,380	5,401	5,998	8,728	7,191
	尾三	133,321	4,511	4,665	5,242	5,027	4,602	5,004	5,190	9,054	7,047
	福山府中	265,606	10,693	10,678	11,918	10,290	8,907	11,360	12,937	21,197	16,854
	備北	48,537	1,544	1,818	1,749	1,777	1,243	1,389	2,068	2,762	2,130
二次保健医療圏			45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85+
男性	広島県	82,624	70,323	75,656	128,481	100,695	72,164	60,077	46,430	32,170	
	広島	43,724	33,595	33,150	58,137	45,109	32,680	24,604	17,883	11,656	
	広島西	3,640	3,655	4,641	7,223	5,422	3,652	3,105	2,547	1,807	
	呉	7,057	5,854	6,023	12,388	11,120	7,991	7,180	5,278	3,775	
	広島中央	7,038	5,488	5,693	9,517	7,996	4,921	4,438	3,293	2,243	
	尾三	5,775	6,840	7,906	13,138	9,864	6,940	7,001	6,137	4,236	
	福山府中	13,614	12,356	14,947	23,086	18,430	13,786	10,970	8,565	6,194	
	備北	1,777	2,536	3,296	4,992	2,754	2,194	2,780	2,727	2,259	
女性	広島県	84,155	73,919	77,925	132,214	110,229	81,192	80,814	70,875	82,905	
	広島	43,707	35,353	34,615	60,480	50,704	36,206	32,932	27,348	31,616	
	広島西	3,796	4,364	4,916	7,541	5,422	4,271	4,175	3,902	4,226	
	呉	6,920	6,232	5,786	13,028	12,101	9,176	10,006	8,490	9,759	
	広島中央	6,671	5,802	5,544	10,055	7,974	5,486	5,506	4,853	6,359	
	尾三	6,766	6,700	8,120	12,829	10,735	8,131	9,548	9,111	10,429	
	福山府中	14,253	12,950	15,943	23,862	20,190	15,065	14,598	12,781	15,013	
	備北	2,042	2,518	3,001	4,420	3,102	2,856	4,050	4,390	5,503	

注）本報告書の医療圏別標準化罹患比の算出には、合計および年齢不詳の人口は用いていない。

## (6) 相対生存率算出方法

国立がん研究センターが平成30(2018)年3月2日に作成した平成21年(2009)5年相対生存率が、広島県に提供された。これまで県外転出などは、生死の追跡ができなかったが、平成25年(2013)死亡から国立がん研究センターが照合することにより全国レベルで死亡の把握が可能となった。

### 1) 集計対象

相対生存率集計対象は、平成21年(2009)診断患者のうち、次の(ア)から(オ)を除くものである。

- (ア) 死亡情報のみで登録された患者(DCO症例)
- (イ) 悪性以外、大腸の粘膜がんを含む上皮内がん
- (ウ) 多重がんのあるケースでは第2がん以降のがん
- (エ) 年齢不詳および100歳以上の症例
- (オ) がん死亡情報からの遡り調査による症例(DCO症例を除くDCN症例)

なお、平成28年(2016)1月報告(平成20年(2008)5年相対生存率)まで集計していた小児がんについての生存率は、国立がん研究センターから提供されていない。

### 2) 計算方法

- ①診断日を起点とした実測生存率をKaplan-Meier法を用いて算出する。
- ②対象とするがん患者と同じ性、年齢、出生年の一般集団の生存確率から計算した期待生存率で除して相対生存率を求める。
- ③期待生存率は、0.5歳分加算したコホート生存率表に基づき、EdererII法を用いて計算する。  
このコホート生存率表は、国立がん研究センターがん対策情報センターがん統計研究部が毎年計算するものが用いられる。
- ④95%信頼区間は、相対生存率 $\pm 1.96 \times$ 標準誤差で求められる。

## (7) データのバックアップ

広島県地域がん登録で収集された届出票および遡り調査票は、(公財)放射線影響研究所内の資料庫内のキャビネットにて保管されている。その資料庫およびキャビネットは厳重に施錠されており、情報保護に努めている。また、都道府県がんデータベースに入力された情報は、国立がん研究センターにおいて管理されている。全国がん登録システムのバックアップサイトを物理的に離れた場所に構築する予定である。

## 4. 用語の説明

### 1) 届出数

医療機関から提出された届出票の枚数(1届出1件)

### 2) 届出患者数

医療機関から届出された患者と人口動態調査死亡票から登録された人の数(1患者1件)

### 3) 罹患数

ある年における1月1日から12月31日の間に初めてがんと診断されたがんの数（1腫瘍1件）

### 4) がん死亡数

がんが原死因であるものの数を示す。原死因とは、人口動態調査死亡票における死因欄の記述から一定の規則に基づいて選択された死亡の原因のことである。厚生労働省において死因欄の複数の記述をコード化し、その中から一定の規則にしたがって原死因を選択している。平成25年（2013）以降の死亡数の算出は、国立がん研究センターが厚生労働省からコード化された電子情報入手し、各県の日本人がん死亡数を算出し、広島県に提供する。

### 5) 粗罹患率（粗死亡率）

罹患数（死亡数）を同時期の観察人口で除したもの。通常は人口10万対で表現する。

$$\text{粗罹患率（粗死亡率）} = \frac{\text{罹患数（死亡数）}}{\text{人口}} \times 100,000$$

### 6) 年齢調整罹患率（年齢調整死亡率）

異なる地域あるいは異なる時期の2つの集団について、がんの罹患率（死亡率）を比較する場合、2つの集団の年齢ごとの人口の割合が異なると単純に粗罹患率（粗死亡率）で比較することができない。そのため、観察集団の人口構成が基準集団の人口構成と等しいと仮定して、観察集団の年齢階級別罹患率（年齢階級別死亡率）を基準集団にあてはめて全年齢での罹患率（死亡率）、すなわち年齢調整罹患率（年齢調整死亡率）を計算する。通常は人口10万対で表現する。

$$\frac{(\text{観察集団の年齢階級別罹患率（年齢階級別死亡率）} \times \text{標準人口のその年齢階級別人口}) \text{の年齢階級の総和}}{\text{標準人口の総和}} \times 100,000$$

昭和60年（1985）モデル人口は、わが国の昭和60年（1985）の国勢調査人口をベビーブームなどの極端な増減を補正し、四捨五入によって千人単位として作成した仮想の人口集団である。また、世界人口は「瀬木-Dollの世界人口」と呼ばれるもので、WHOにおいて各国の統計値を国際比較するために作成された仮想の人口集団である。

### 7) 累積罹患率（累積死亡率）

0歳からある年齢までの1歳年齢階級別罹患率（1歳年齢階級別死亡率）の合計値である。累積罹患率（累積死亡率）が0.1（10%）以下である場合は、累積罹患リスク（累積死亡リスク）の近似値と考えることができる。ここで、累積罹患リスク（累積死亡リスク）とは100人中何人がその病気に罹患（死亡）するかという割合である。累積罹患率（累積死亡率）は、通常0-74歳がよく用いられ、小児がんの場合は0-14歳累積罹患率（累積死亡率）が用いられる。100対で表現する。0-74歳までの累積罹患率（累積死亡率）および累積罹患リスク（累積死亡リスク）の具体的な計算方法は以下である。



0-74歳の累積罹患率（100対）

$$= \{(0-4歳の年齢階級別罹患率) \times 5年 + \dots + (70-74歳の年齢階級別罹患率) \times 5年\} / 1000$$

（年齢階級別罹患率は人口10万対）

0-74歳の累積罹患リスク =  $1 - \exp(-\text{累積罹患率})$

#### 8) 標準化罹患比（標準化死亡比）

標準化罹患比（標準化死亡比）とは、観察集団の年齢階級別罹患率（年齢階級別死亡率）が基準集団の年齢階級別罹患率（年齢階級別死亡率）と等しいと仮定して、基準集団の年齢階級別罹患率（年齢階級別死亡率）を観察集団の人口構成にあてはめて、起きてくるであろう罹患数（死亡数）を計算する。この、「起きてくるであろう罹患数（死亡数）」を期待罹患数（期待死亡数）と呼び、各年齢階級の期待罹患数（期待死亡数）の和と、実際の罹患数（死亡数）の比をとって標準化罹患比（標準化死亡比）とする。値が信頼区間の範囲を超えて、1を越えていれば基準集団よりも罹患率（死亡率）が高いことを表し、信頼区間の範囲を超えて、1より低いと基準集団よりも罹患率（死亡率）が低いことを表す。

$$\text{標準化罹患比（標準化死亡比）} = \frac{\text{観察集団で発生した罹患数（死亡数）}}{\text{期待罹患数（期待死亡数）}}$$

#### 9) DCN 割合、DCO 割合

DCN（death certificate notification）割合とは、罹患数に対する死亡票で初めて登録されたがんの割合であり、DCO（death certification only）割合とは、罹患数に対する死亡票のみで登録された数である。MI比（mortality/incidence ratio）とは、がんの死亡数と罹患数の比である。DCN割合はがん登録の完全性の精度指標として用いられており、DCO割合はがん登録の診断精度の指標として用いられている。

$$\text{DCN 割合} = \frac{\text{死亡票で初めて登録されたがんの数}}{\text{罹患数}} \times 100 \quad (\%)$$

$$\text{DCO 割合} = \frac{\text{死亡票のみで登録されたがんの数}}{\text{罹患数}} \times 100 \quad (\%)$$

$$\text{MI 比} = \frac{\text{がん死亡数 (M)}}{\text{がん罹患数 (I)}}$$

国立がん研究センターが提供する MCIJ2011（Monitoring of Cancer Incidence in Japan）以降においては、精度基準をAおよびBの2段階としている。A基準は、IARC/IACRが編集する「5大陸のがん罹患」Vol. IXにおいて、データ掲載の判断に利用された最高基準に準拠したもので、DCO割合が10%未満、かつDCN割合が20%未満、かつMI比が0.5以下である。B基準は、MCIJ2010までの精度基準で、DCN割合が30%未満またはDCO割合が25%未満、かつMI比が0.66以下である。

#### 10) HV 割合および MV 割合

HV（histologically verified cases）割合は、罹患数に対する組織診の結果のあるがんの割合であ

り、MV (microscopically verified cases) 割合は、罹患数に対する組織診だけでなく細胞診も含め顕微鏡的に確かめられたがんの割合である。これらはがん登録データの診断精度の指標として用いられる。

$$\text{HV 割合} = \frac{\text{組織診断の結果のあるがんの数}}{\text{罹患数}} \times 100 \quad (\%)$$

$$\text{MV 割合} = \frac{\text{細胞診も含めた顕微鏡的に確かめられたがんの数}}{\text{罹患数}} \times 100 \quad (\%)$$

#### 11) 遡り調査

死亡票で初めてがんが確認できた症例について、死亡診断をした医療機関に届出票の提出を依頼する調査である。平成25年(2013)死亡症例からは、国立がん研究センターにおいて、死亡票に記載されたがんと、都道府県がんデータベースに登録されたがんの照合が行われることとなった。

初めて死亡票でがん情報が登録されたと判明したもの、すなわち、がんと診断されたが、届出されなかった症例について、国立がん研究センターから広島県に通知され、死亡診断した病院に対して遡り調査を実施する。都道府県がんデータベースでは、広島県地域がん登録届出票と広島県腫瘍登録の病理情報が区別できなくなったため、届出票が届け出られていなくても、病理情報がある場合は遡り調査の対象とはならない。

#### 12) 二次保健医療圏

医療法に基づき広島県が定めた圏域であり、広島、広島西、呉、広島中央、尾三、福山・府中、備北の7つに分けられる(巻末参考資料1)。

#### 13) 国際疾病分類第10版(ICD-10)

ICD-10とは国際疾病分類(International Classification of Disease: ICD、日本名「疾病、傷害および死因統計分類提要(厚生省大臣官房統計情報部編集)」)のことであり、本報告書中の部位名は、ICD-10の分類で示したものである。

#### 14) 国際疾病分類-腫瘍学第3版(ICD-O-3)

国際疾病分類-腫瘍学(International Classification of Disease for Oncology)は、国際疾病分類を基にして、腫瘍の局在分類に組織型を示すための補助分類として作成されたものである。現在用いられている第3版(厚生労働省大臣官房統計情報部編集)は平成14年(2002)に刊行されたものであり、腫瘍の局在と形態の両方に対する分類とコード化が体系づけられるようになっている。平成26年(2014)診断症例からは、第3版(2012年改正版)を適用している。



## Ⅱ 平成26年（2014）の結果

### 1. がん死亡

#### （1）部位別がん死亡数

平成26年（2014）のがん死亡数は8,295人（男4,901人、女3,394人）であった。部位別に死亡数をみると、男では肺がんが最も多く1,162人、次いで胃がん693人、肝および肝内胆管がん579人の順に多かった。女では肺がん460人、胃がん417人、膵臓がん365人の順で多かった。女では結腸がんと直腸がんを合わせた大腸がんとしてみると、469人で最も多かった。（図1-1、表9、付表2参照）

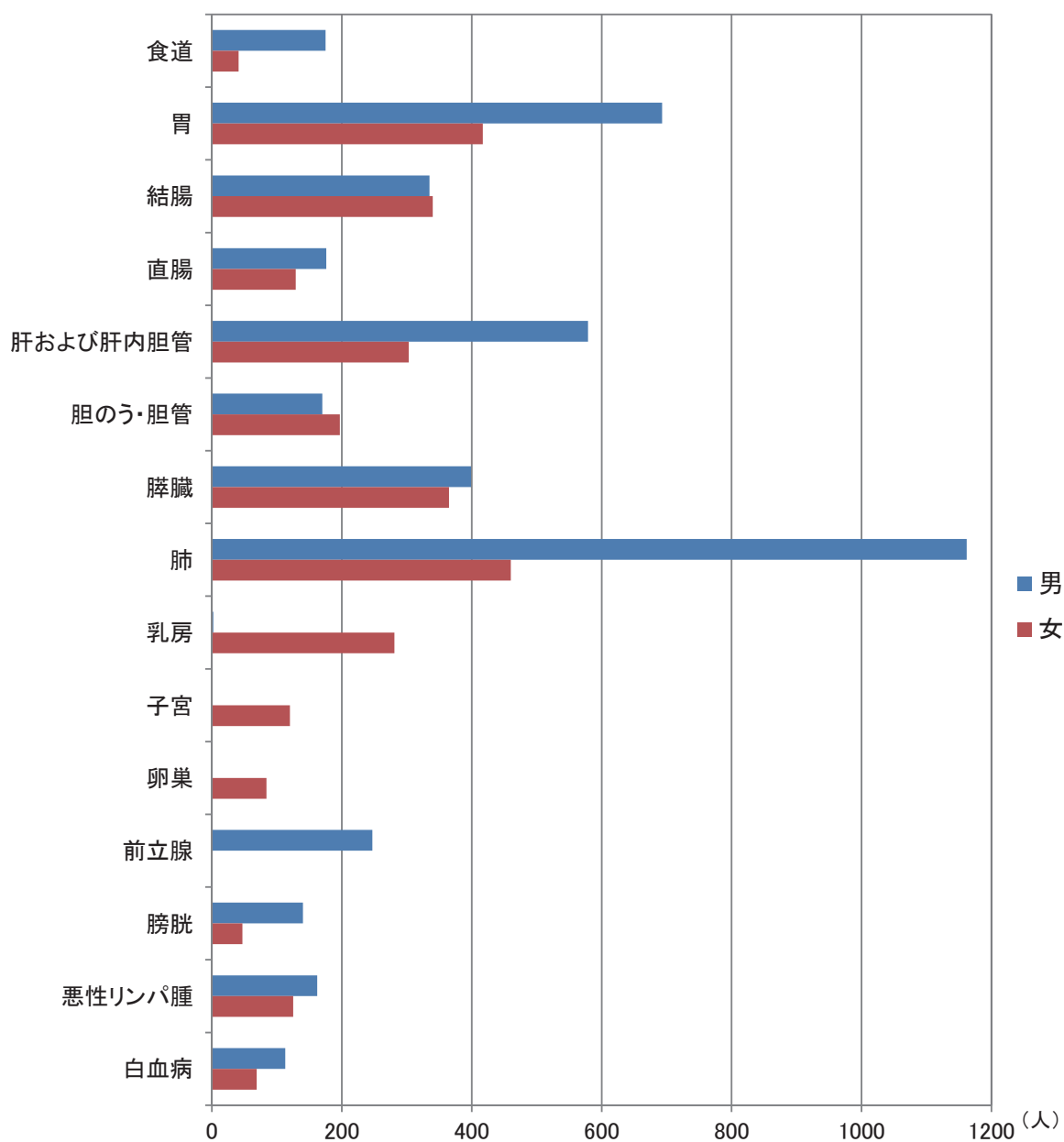


図1-1 部位別がん死亡数

## (2) 全国との比較

全国を基準とする広島県の標準化死亡比は全部位で、男が0.99、女が0.95であった。部位別に見ると、男女とも肝および肝内胆管がんの標準化死亡比が有意に高かった。また男では直腸がん、食道がん、胆のう・胆管がん、結腸がん、女では卵巣がん、子宮がん、結腸がんで有意に低かった。(図1-2、付表4-C1参照)

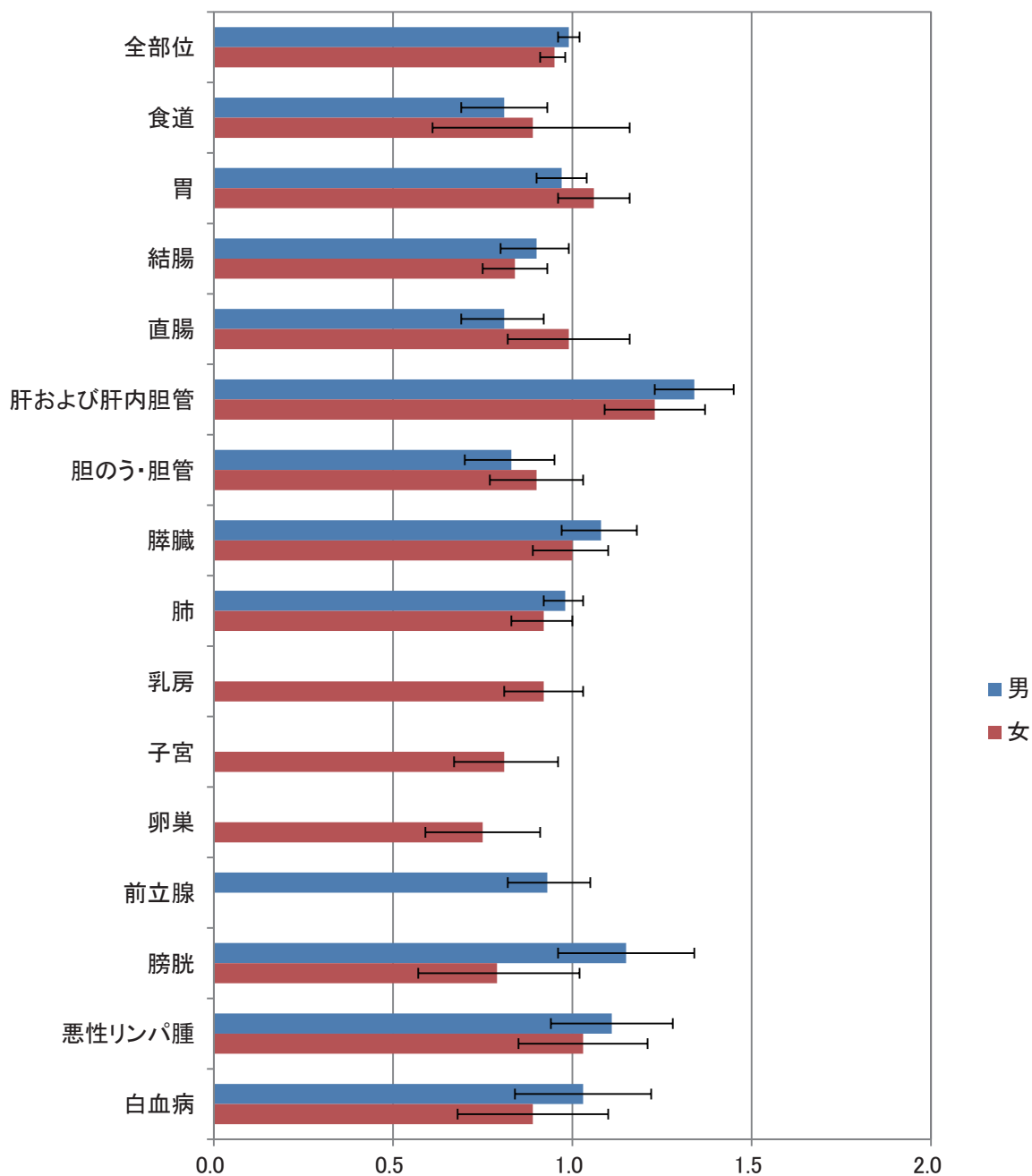


図1-2 部位別標準化死亡比 (全国を基準)

\*エラーバーは95%信頼区間

## 2. がん罹患

### (1) 登録精度（上皮内がんを除く）

DCN\*<sup>1</sup>割合は全部位で4.6%（上皮内がんを含むと4.0%）であった。部位別にみると、DCN割合が高い部位としては、脳・中枢神経系のがんで17.6%、膵臓がん12.2%、胆のう・胆管がん11.5%であった。比較的予後不良で病理学的裏付けのある割合が少ない部位においては、DCN割合が高い傾向がある。DCO\*<sup>2</sup>割合は全部位で2.7%（上皮内がんを含むと2.3%）であった。

昨年度のDCN割合は4.6%、DCO割合は2.9%であり、今年度は、DCN割合は増減ないもののDCO割合は若干減少し、登録率の向上が考えられる。平成24年（2012）診断以前と比較する際は、全国がん登録方式へ変更したことを考慮する必要がある。変更点として、まず、死亡票から登録されるがん情報が、原死因として記載された一つのがんに限定されたことで、平成25年（2013）死亡より死亡票から登録される症例数が少なくなっている可能性がある。二点目に、平成24年（2012）診断以前の集計ではDCN症例の罹患日は死亡日と定義されていたが、診断日のルール変更により、平成25年（2013）以降の死亡者では遡り調査で判明した診断日が罹患日とされることになった。したがって、遡り調査で診断日が平成25年（2013）以前と判明した症例は、平成26年（2014）診断症例の罹患数に反映されないため、平成25年（2013）同様これまでより、DCN症例数が減少している。平成25年（2013）以降のDCN割合減少については、死亡票から登録される症例数の減少と診断日ルールの変更というシステム変更の要因を十分に考慮する必要がある。（図2-1、表8-A、B参照）

\*<sup>1</sup>DCN（death certificate notification）：死亡票で初めて登録されたがん（10ページ参照）

\*<sup>2</sup>DCO（death certification only）：死亡票のみで登録されたがん（10ページ参照）

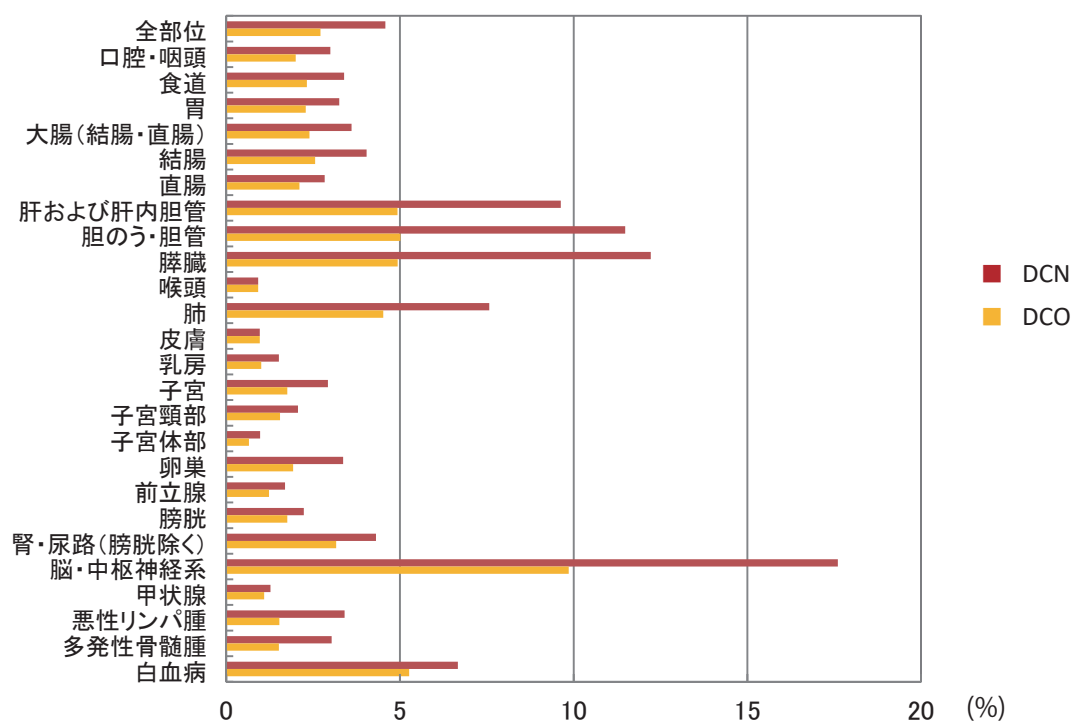


図2-1 部位別DCN割合・DCO割合

注)「子宮」は頸部、体部、および部位不明を含む。

平成25年（2013）診断症例より精度指標の一つとしてMI比（平成24年（2012）までの精度指標IM比の逆数）が採用されている。MI比<sup>\*3</sup>は全部位で0.36（上皮内がんを含むと0.31）であった。昨年は0.34、上皮内がんを含むと0.29であった。甲状腺がん、皮膚がん、子宮体がん、前立腺がん、など比較的予後良好な部位においてMI比が低かった。（図2-2、表8-A、B参照）

広島県地域がん登録は、全国がん罹患モニタリング集計2013年罹患数・率報告<sup>\*4</sup>における地域がん登録の精度基準のA基準「DCO割合が10%未満、かつDCN割合が20%未満、かつMI比が0.5以下」を達成している。

<sup>\*3</sup>MI比（mortality/incidence ratio）：がん死亡数と罹患数の比（10ページ参照）

<sup>\*4</sup>全国がん罹患モニタリング集計2013年罹患数・率報告 Monitoring of Cancer Incidence in Japan（MCIJ2013）。がん政策研究事業「都道府県がん登録データの全国集計と既存の資料の活用によるがん及びがん診療動向把握の研究」班。国立研究開発法人 国立がん研究センターがん対策情報センター 2017年3月

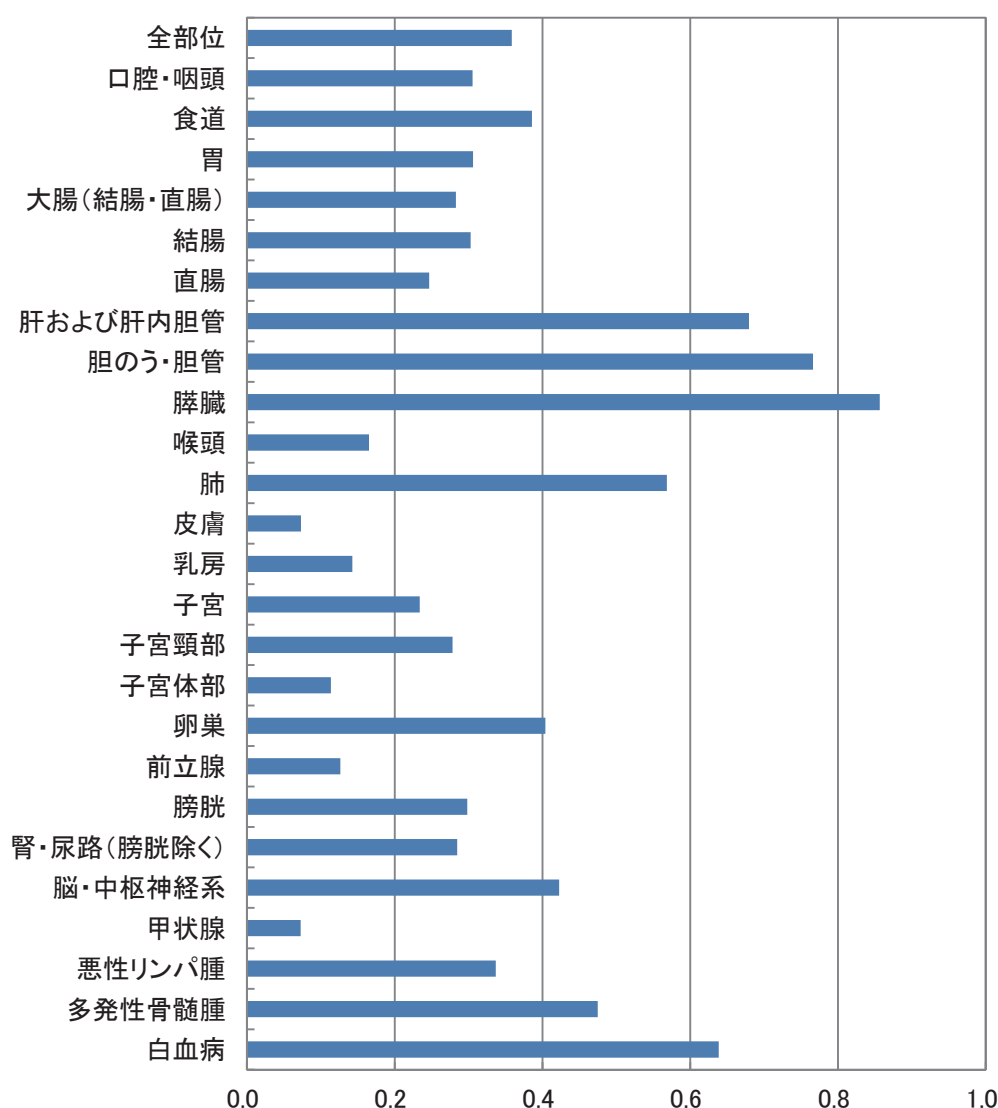


図2-2 部位別MI比

注)「子宮」は頸部、体部、および部位不明を含む。

(2) 部位別がん罹患数および罹患割合

平成26年(2014)のがん罹患数は23,091件(上皮内がんを含むと26,709件)であった。男では13,357件(上皮内がんを含むと15,201件)、女では9,734件(上皮内がんを含むと11,508件)であった。また、年齢調整罹患率(昭和60年日本人口で調整、人口10万対)は男507.9(上皮内がんを含むと582.8)、女348.8(上皮内がんを含むと445.3)であった。

がん罹患数を部位別にみると、男では胃がんが最も多く2,434件、次いで前立腺がん1,952件、肺がん1,907件の順に多かった。結腸と直腸を合わせた大腸がんは1,966件で、胃がんに次いで多かった。女では乳がんが最も多く1,967件、次いで胃がん1,194件、結腸がん1,063件の順に多かった。結腸と直腸を合わせた大腸がんは1,499件で、乳がんに次いで多かった。(図2-3、図2-4、図2-5、表1-A、B、付表1参照)

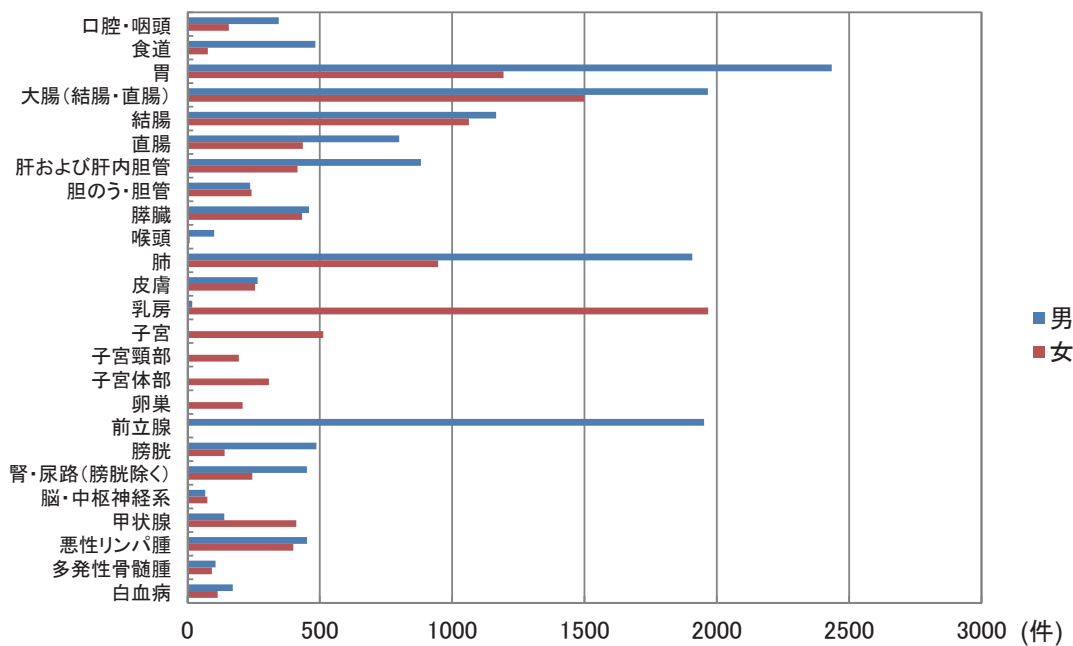


図2-3 部位別がん罹患数 (上皮内がんを除く)

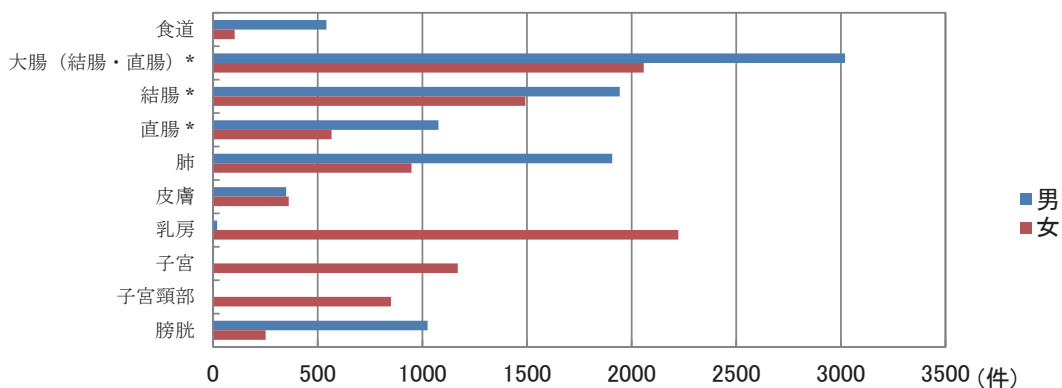


図2-4 部位別がん罹患数 (上皮内がんを含む)

\* 粘膜がんを含む。詳しくは25ページの進展度区分の定義と補足を参照のこと。

注) 「子宮」は頸部、体部、および部位不明を含む。

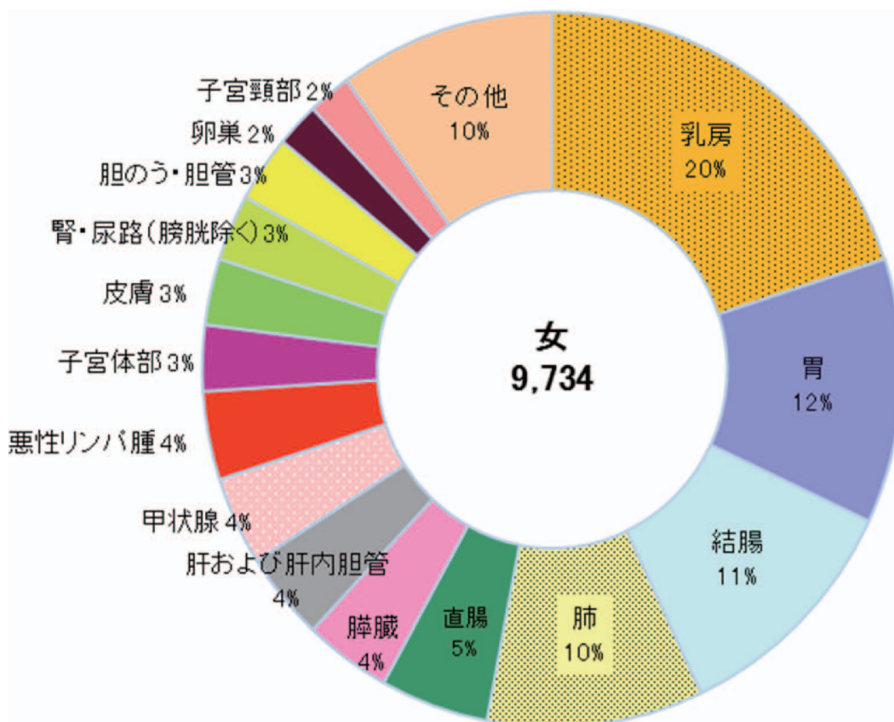
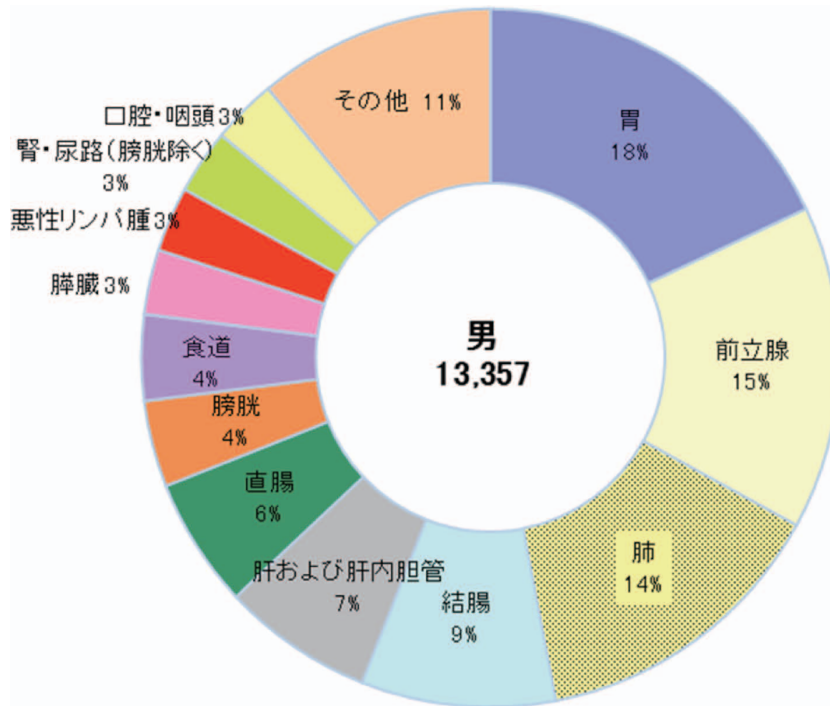


図2-5 部位別がん罹患割合（上皮内がんを除く）

\*「上皮内がん」について、詳しくは25ページの進展度区分の定義と補足を参照のこと。

### (3) 年齢階級別がん罹患率

全部位について性・年齢階級別にごん罹患率をみると、54歳までの年齢階級では男より女の罹患率が高い。これらは乳がん、子宮がん、卵巣がん、甲状腺がんの影響である。それ以上の年齢階級では女より男の罹患率が高かった。(図2-6、表3-A、B参照)

多くの部位では、40歳ごろから罹患率が高くなっているが、乳がん、子宮がん、卵巣がん、甲状腺がんでは20歳代から罹患率が高くなってきている。子宮頸がんは上皮内がんを含めると20歳から罹患率が高くなってきており、特に20~40歳代では上皮内がんの割合が多い。甲状腺がんは男女ともに10代後半より年齢とともに罹患率が高くなる。男の口腔がん、直腸がん、腎・尿路系のがんでは30代後半から罹患率が高くなっていった。脳・中枢神経系のがん、白血病は15歳未満の子どもや、15~40歳の若年層でも一定の罹患率が観察されている。

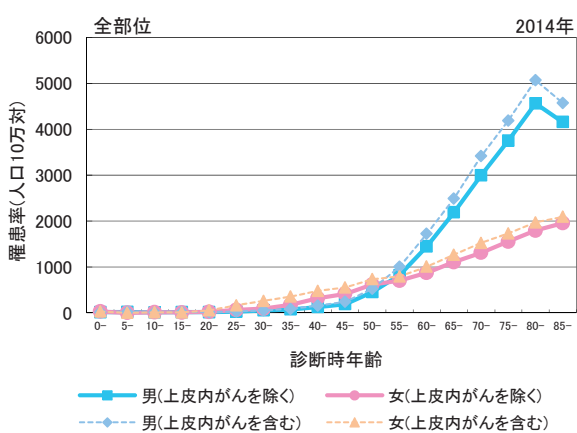


図2-6 a 年齢階級別罹患率 (人口10万対); 全部位

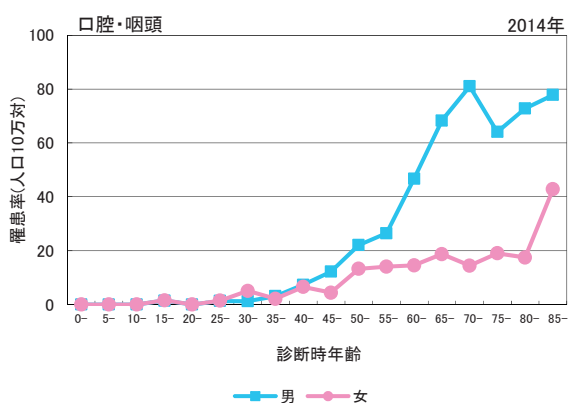


図2-6 b 年齢階級別罹患率 (人口10万対); 口腔・咽頭

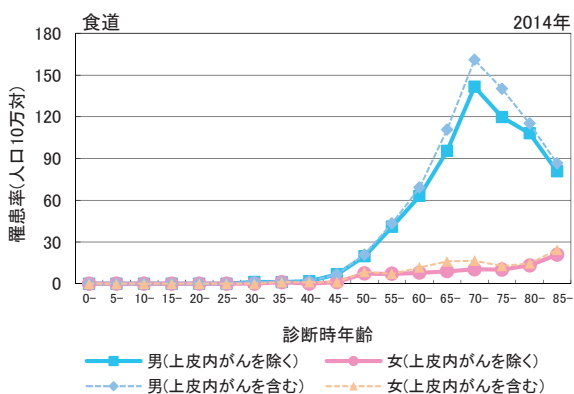


図2-6 c 年齢階級別罹患率 (人口10万対); 食道

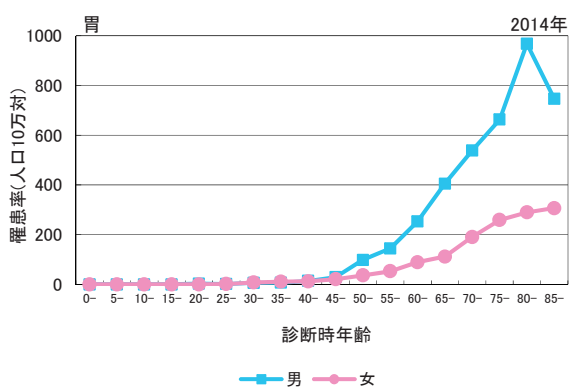


図2-6 d 年齢階級別罹患率 (人口10万対); 胃

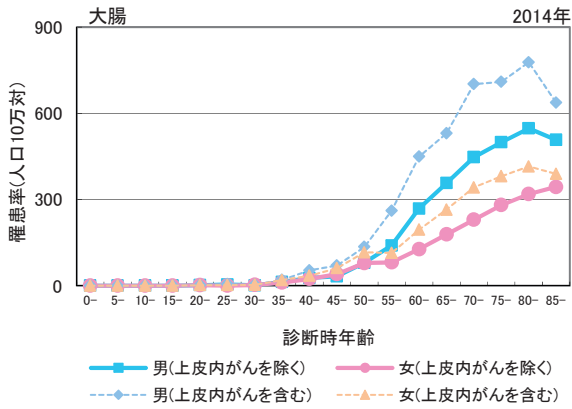


図 2 - 6 e 年齢階級別罹患率 (人口10万対); 大腸

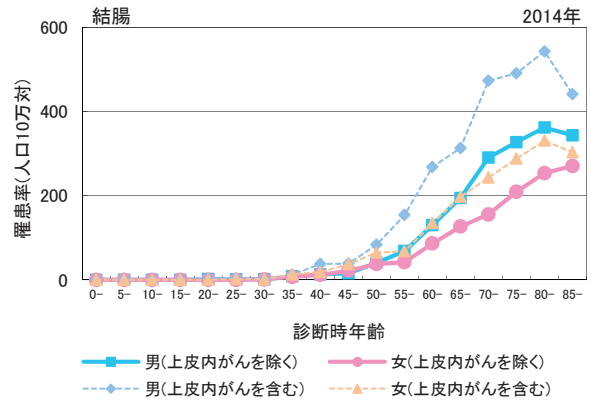


図 2 - 6 f 年齢階級別罹患率 (人口10万対); 結腸

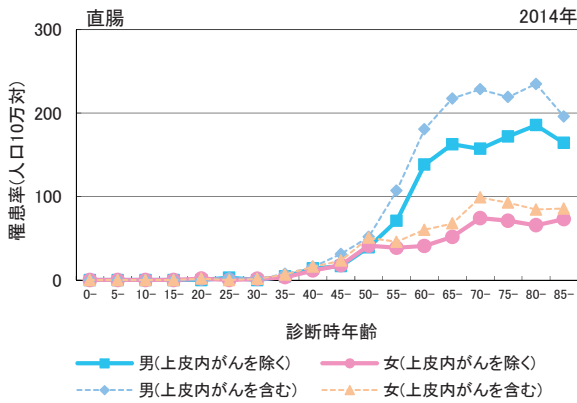


図 2 - 6 g 年齢階級別罹患率 (人口10万対); 直腸

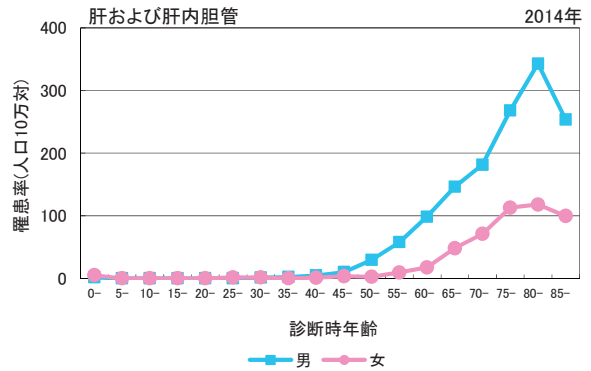


図 2 - 6 h 年齢階級別罹患率 (人口10万対); 肝および肝内胆管

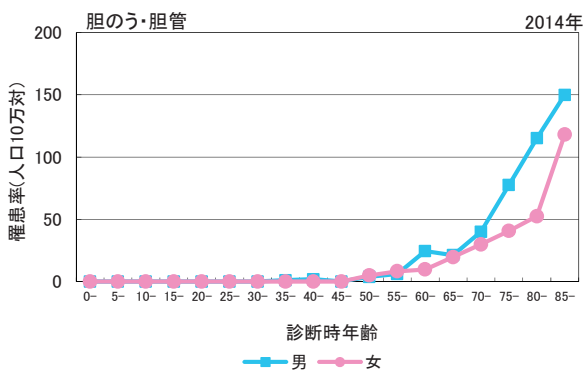


図 2 - 6 i 年齢階級別罹患率 (人口10万対); 胆のう・胆管

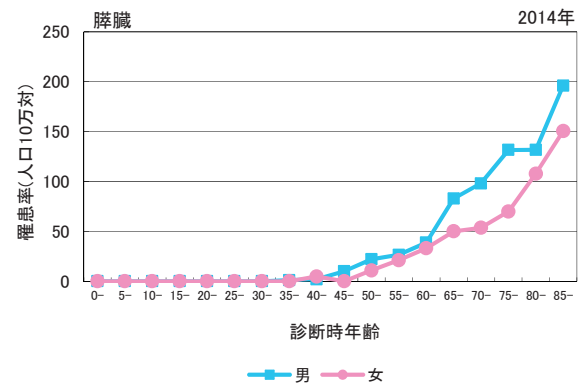


図 2 - 6 j 年齢階級別罹患率 (人口10万対); 膵臓



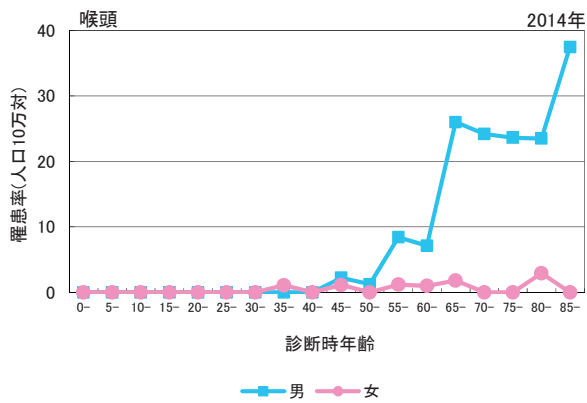


図 2-6 k 年齢階級別罹患率（人口10万対）；  
喉頭

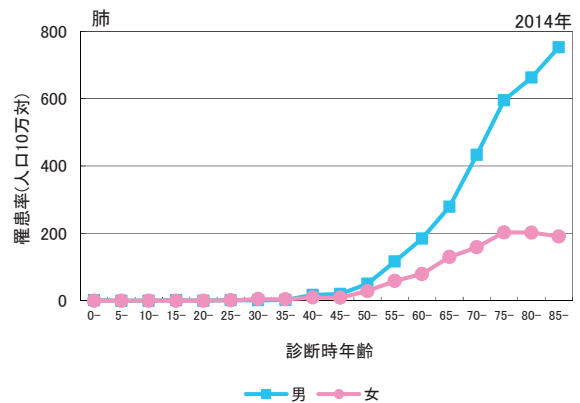


図 2-6 l 年齢階級別罹患率（人口10万対）；  
肺

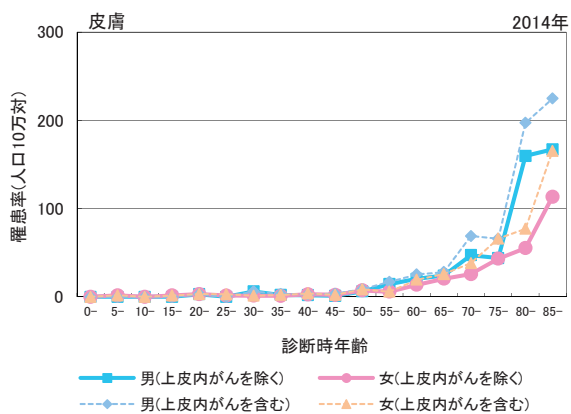


図 2-6 m 年齢階級別罹患率（人口10万対）；  
皮膚

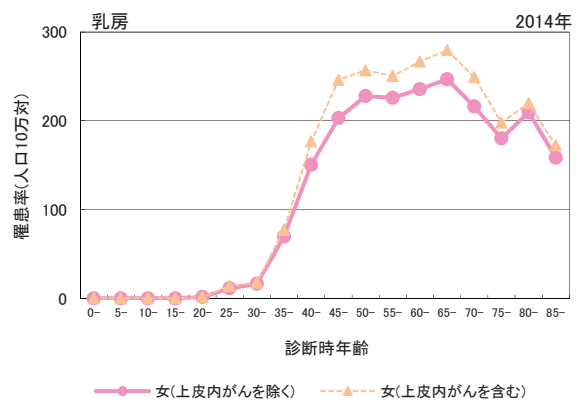


図 2-6 n 年齢階級別罹患率（人口10万対）；  
乳房

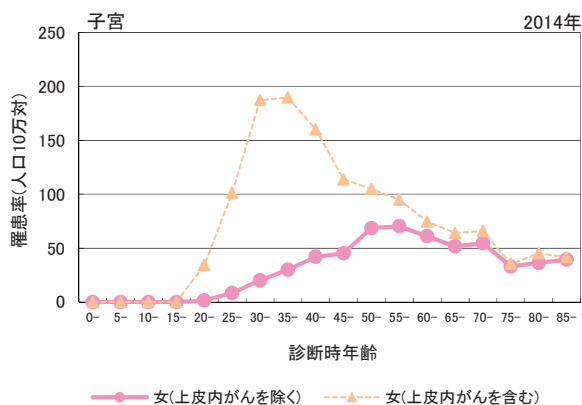


図 2-6 o 年齢階級別罹患率（人口10万対）；  
子宮

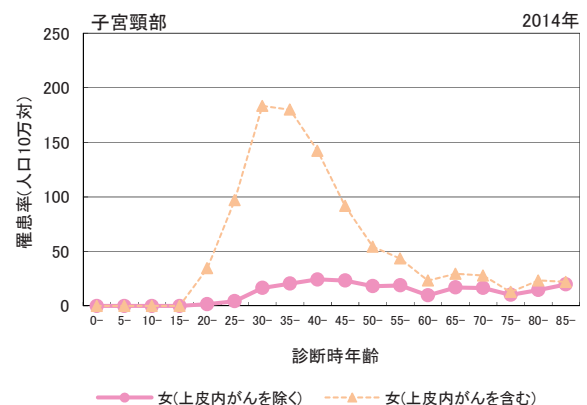


図 2-6 p 年齢階級別罹患率（人口10万対）；  
子宮頸部

注)「子宮」は、頸部、体部、および部位不明を含む。

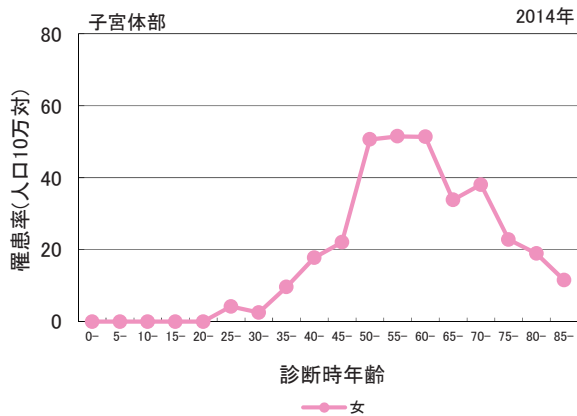


図 2-6 q 年齢階級別罹患率 (人口10万対); 子宮体部

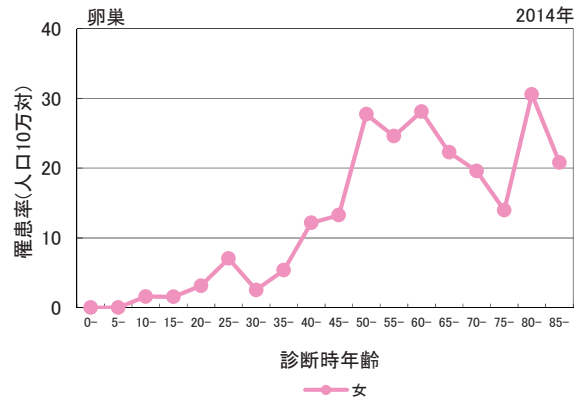


図 2-6 r 年齢階級別罹患率 (人口10万対); 卵巣

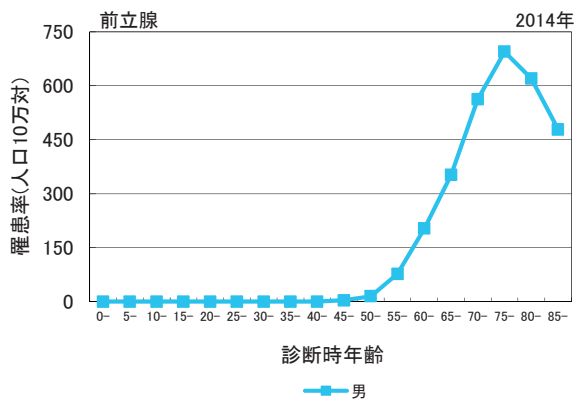


図 2-6 s 年齢階級別罹患率 (人口10万対); 前立腺

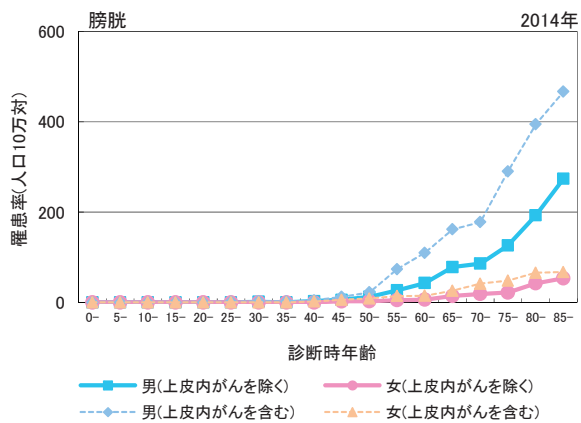


図 2-6 t 年齢階級別罹患率 (人口10万対); 膀胱

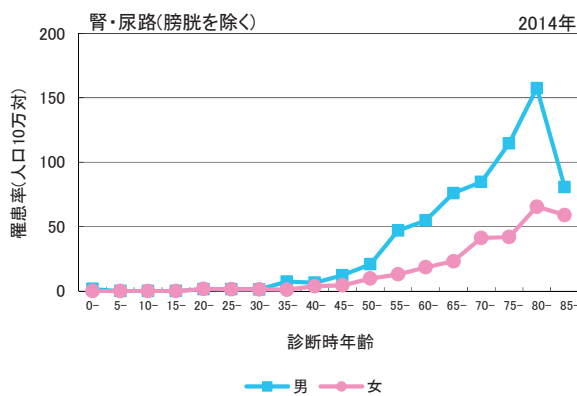


図 2-6 u 年齢階級別罹患率 (人口10万対); 腎・尿路 (膀胱を除く)

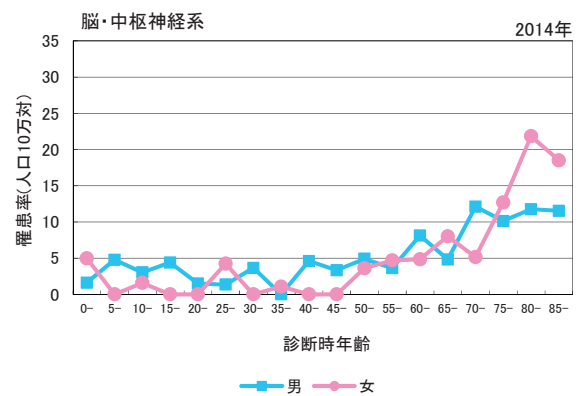


図 2-6 v 年齢階級別罹患率 (人口10万対); 脳・中枢神経系

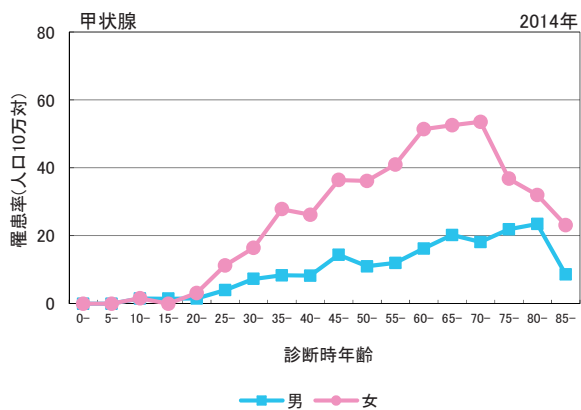


図 2-6 w 年齢階級別罹患率 (人口10万対); 甲状腺

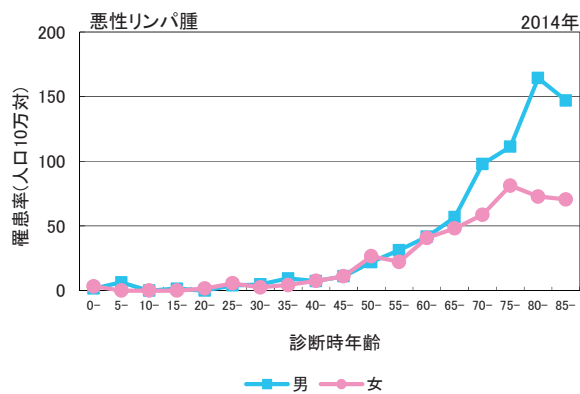


図 2-6 x 年齢階級別罹患率 (人口10万対); 悪性リンパ腫

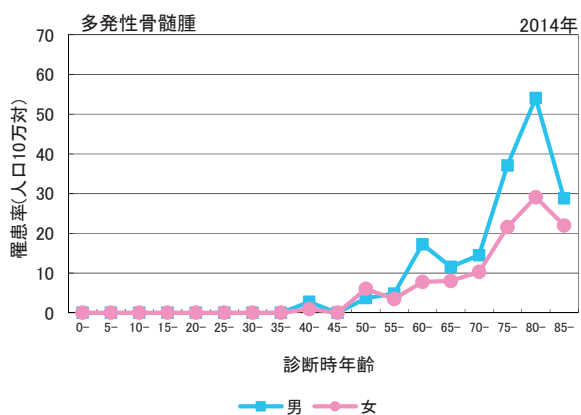


図 2-6 y 年齢階級別罹患率 (人口10万対); 多発性骨髄腫

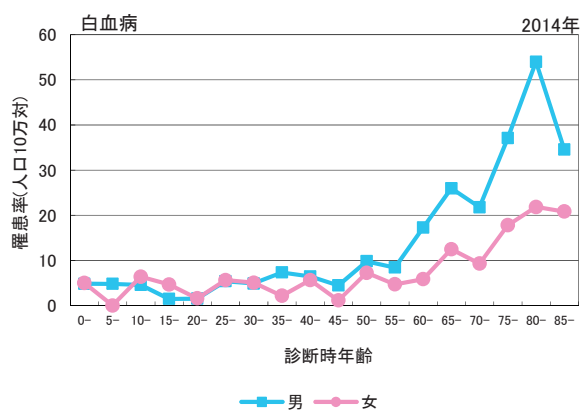


図 2-6 z 年齢階級別罹患率 (人口10万対); 白血病

#### (4) 発見経緯

DCO\*1を除いて、部位別のがんと診断されるに至った発見経緯をみると、全部位においては、その他・不明が58.8%と最も多い。これは「自覚症状あり」で受診したものを含んでいるためである。地域がん登録で「その他（自覚症状あり）」として登録されたものは、都道府県がんデータベースへのデータ移行により、すべて「不明」として集計されている。一方、新規に都道府県がんデータベースに入力されたものは「その他（自覚症状あり）」として集計されている。したがって、本報告では「自覚症状あり」で受診したものが、「その他」と「不明」とに混在していることに注意が必要である。

子宮頸がん、乳がん、胃がん、前立腺がん、甲状腺がんは、がん検診・健康診断・人間ドックでの発見割合が高かった。肝および肝内胆管がんでは56.2%が他疾患の経過観察中に発見されている。(図2-7、表4-A、B参照)

\*1DCO (death certification only)：死亡票のみで登録されたがん (10ページ参照)

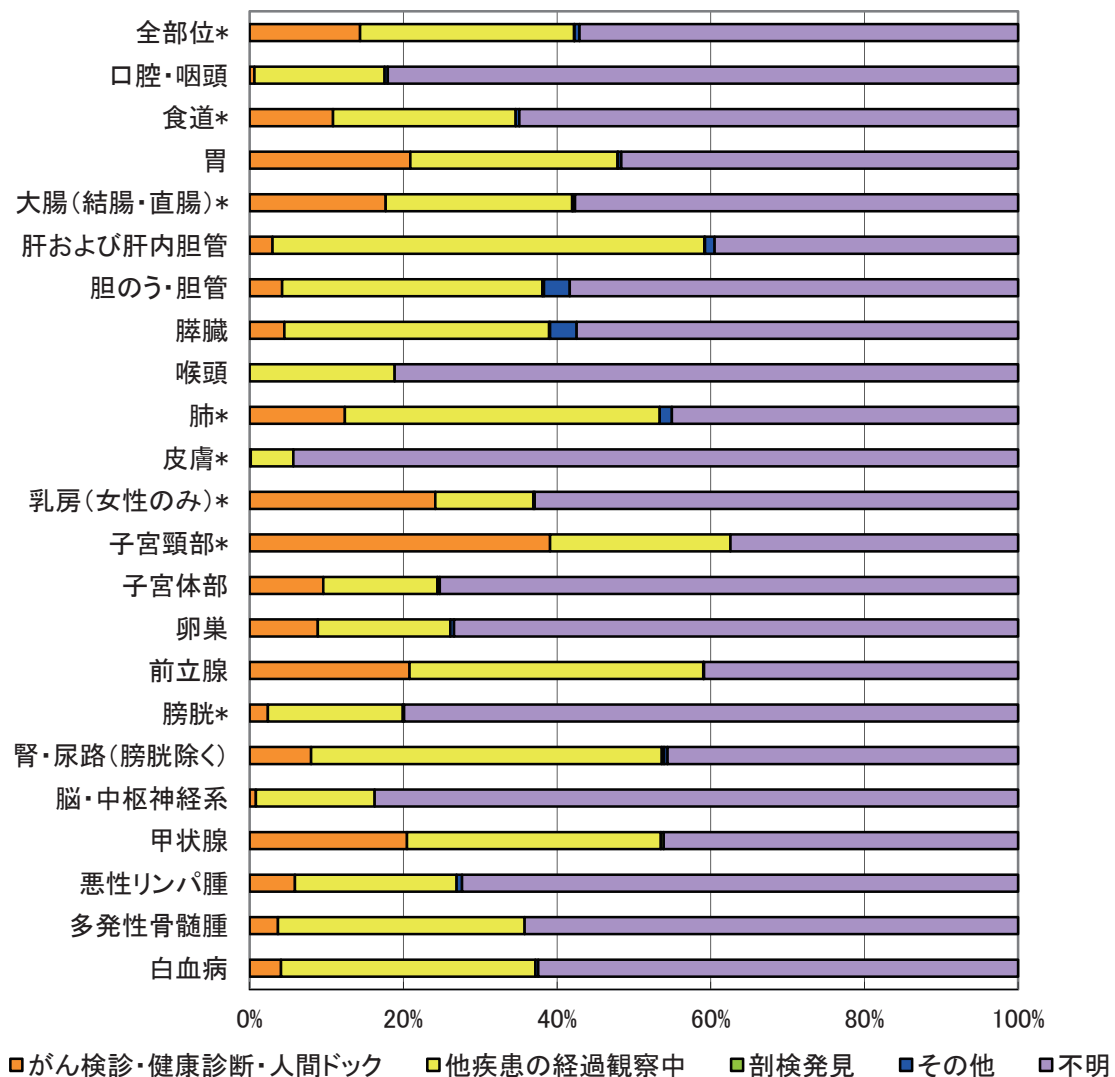


図2-7 部位別発見経緯 (DCOを除く)

\*上皮内がんを含む。詳しくは25ページの進展度区分の定義と補足を参照のこと。

(5) 進展度

進展度は、DCO\*<sup>1</sup>を除く全部位（上皮内がんを含む）で、上皮内14.1%、限局40.9%、所属リンパ節転移7.5%、隣接臓器浸潤11.5%、遠隔転移14.1%、不明11.8%であった。部位別に進展度をみると、子宮頸がんでは上皮内77.2%、膀胱がんでは上皮内51.2%、大腸（結腸と直腸）の粘膜がんが32.2%と早期発見割合が高かった。また、皮膚がん、喉頭がんでは限局割合が高く、膵臓がんや肺がん、悪性リンパ腫では遠隔転移割合が高かった。（図2-8、表5-1-A、B参照）

\*<sup>1</sup>DCO（death certification only）：死亡票のみで登録されたがん（10ページ参照）

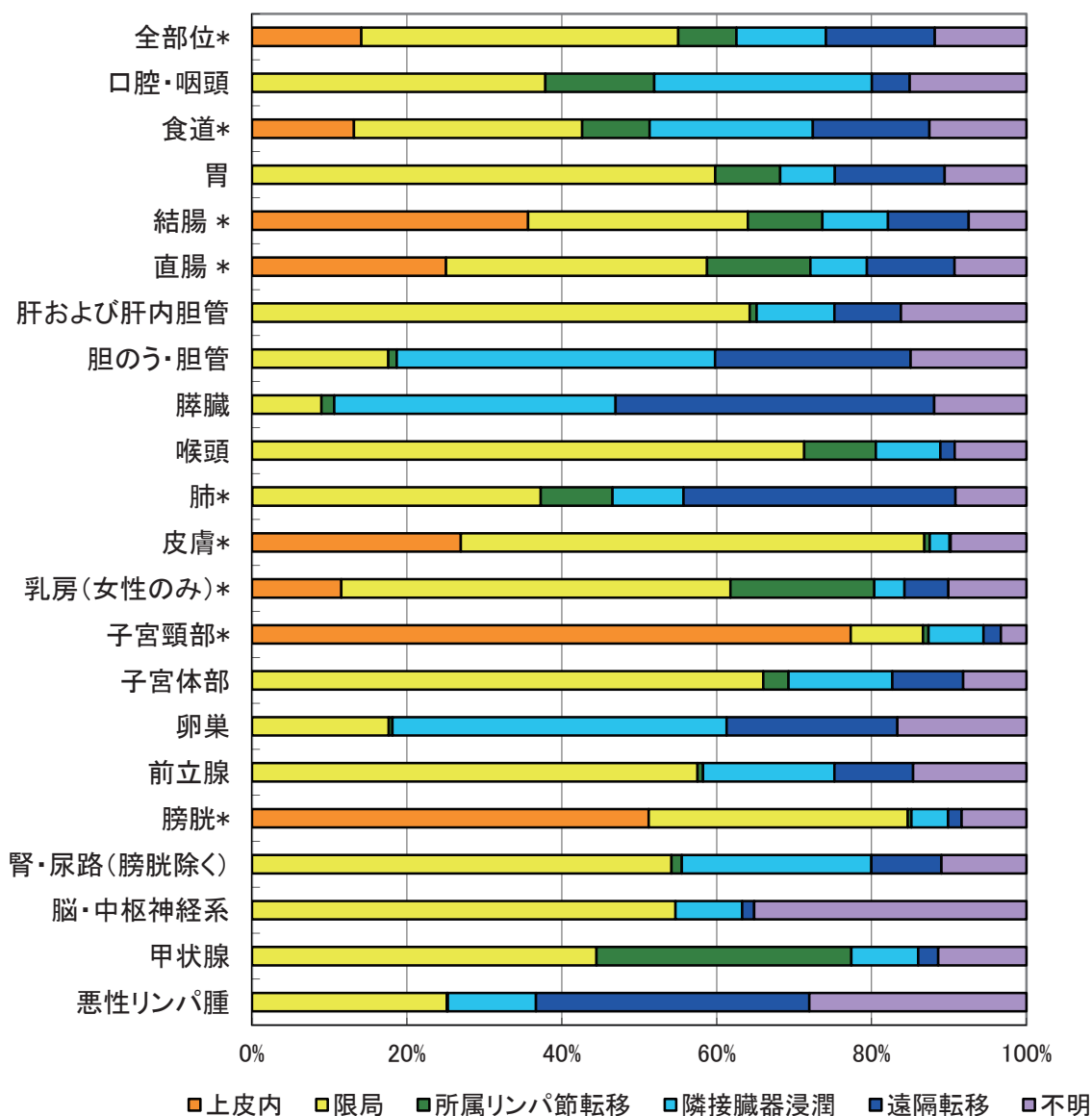


図2-8 部位別進展度（対象はDCOを除く）

\*上皮内がんを含む。詳しくは25ページの進展度区分の定義と補足を参照のこと。

## 進展度区分の定義

本定義は、SEER Summary Staging Manual 2000 を参考に、進展度の各区分の決定のために必要な基本的な考え方を説明するものです。標準的な院内がん登録を行う病院等においては、UICC TNM 悪性腫瘍の分類との対応を用いて進展度に変換することも可能です。

### 上皮内

- ・組織の基底膜下にごん細胞が入り込んでいない状態と定義します。
- ・基底膜構造をもつ、上皮組織層 (epithelial layer) に発生したがん、すなわち「癌腫」のみに適用されます。骨や筋肉の組織には基底膜がないため、上皮内肉腫という診断はありえないので、進展度「上皮内」は適用されません。「癌腫」に関する病理診断報告書に記載された以下の用語は、上皮内と同等の意味です。

前浸潤 (pre-invasive)、非侵襲性 (non-invasive)、非浸潤 (non-infiltrating)、上皮内 (intra-epithelial)、ステージ 0 (Stage 0)、導管内 (intraductal)、嚢胞内 (intracystic)、間質浸潤なし (no stromal invasion)、基底膜下への浸潤なし (no penetration below the basement membrane)

**例外** 大腸癌 (結腸癌、直腸癌) の場合は基底膜を越えていても粘膜筋板より内側 (粘膜内) にとどまっているものを上皮内とします。

### 限局

- ・がんが発生元の器官に限定して存在する状態と定義します。
- ・がんが発生元の器官内に広く浸潤又は器官内に転移しても、隣接する他の器官との境界を越える拡がりが見られなければ、「発生元の器官に限定している」とします。

### 所属リンパ節転移

- ・がんの発生元の器官と直結したリンパ路をもつリンパ節への転移が認められる状態と定義します。その器官に所属するリンパ節の範囲に関する定義は複数あります。それらを参考に、転移の認められるリンパ節が所属リンパ節の範囲なのか、それを越える遠隔のリンパ節なのかを判断します。
- ・リンパ節へのがん細胞の転移の有無は病理検査によって診断されますが、進展度・治療前の決定には、画像診断及び触診の所見も考慮して、総合的に判断します。

### 隣接臓器浸潤

- ・がんが発生元の器官と隣接する器官の境界を越えて進展した状態と定義します。
- ・隣接臓器へのがん細胞の転移の有無は病理検査によって診断されますが、進展度・治療前の決定には、画像診断及び触診の所見も考慮して、総合的に判断します。

### 遠隔転移

- ・がん細胞が発生元の器官から離れて身体他の部位に移動し、新しい病巣 (the new location) において増殖を始めている状態と定義します。
- ・遠隔転移には、リンパ行性転移及び血行性転移の他、体腔内の体液を介して拡がる播種性転移も含まれます。播種性転移には、胸膜播種、腹膜播種、髄腔内播種などがあります。
- ・がんの発生元の器官と直結したリンパ路をもたないリンパ節への転移は遠隔転移とします。

**例外** 卵巣癌の腹膜 (播種) 転移は、隣接臓器浸潤とします。

### 進展度区分の定義適用の例外

悪性リンパ腫及びカポジ肉腫については、前述の進展度区分の定義とは異なる定義を適用します。いずれも、限局、隣接臓器浸潤及び遠隔転移の3区分で進展度を評価し、上皮内及び所属リンパ節転移に相当する進展度はありません。

#### 悪性リンパ腫

限局	1つのリンパ節領域 限局性の1つのリンパ節外臓器又は部位
隣接臓器浸潤	限局と遠隔転移の定義を満たさない
遠隔転移	リンパ節外臓器のびまん性又は多発性侵襲 孤立性のリンパ節外臓器及び遠隔リンパ節侵襲

#### カポジ肉腫

限局	粘膜、皮膚、内臓のいずれか1つに病変
隣接臓器浸潤	粘膜、皮膚、内臓のいずれか2つに病変
遠隔転移	粘膜、皮膚、内臓のすべてに病変

(抜粋) 厚生労働省国立研究開発法人国立がん研究センター 全国がん登録届出マニュアル2016 2017改訂版 ダウンロード版 p.19-20

(補足) 胃の限局には粘膜がんを含む。結腸・直腸の上皮内がんにはいわゆる粘膜がん (粘膜筋板から粘膜下層への進展を伴わないもの) までを含む。子宮頸部の上皮内がんには CINⅢ (Cervical intraepithelial neoplasia, grade Ⅲ) を含む。また、進展度の「領域」とは、所属リンパ節転移と隣接臓器浸潤を合わせたものである。

(6) 受療割合

初回治療の方法について、平成25年（2013）診断から「外科的治療」、「鏡視下治療」、「内視鏡的治療」、「放射線療法」、「化学療法」、「内分泌療法」、「その他の治療」、「特異的治療なし・不明」に分けて、受けた治療の割合を求めた。平成26年（2014）診断の受療割合を部位別にみると、子宮体がん、子宮頸がん、甲状腺がん、乳がん、皮膚がんで「外科的治療」の割合が高く、腎・尿路（膀胱除く）、肺がんでは「鏡視下治療」の割合が高かった。膀胱がんは、半数以上が「内視鏡的治療」を受けていた。胃がん、結腸がん、直腸がんは約3割が「内視鏡的治療」を受けており、「外科的治療」のそれを上回っていた。（図2-9-1、図2-9-2、図2-9-3、表6-A、B参照）（表7-A、B参照）

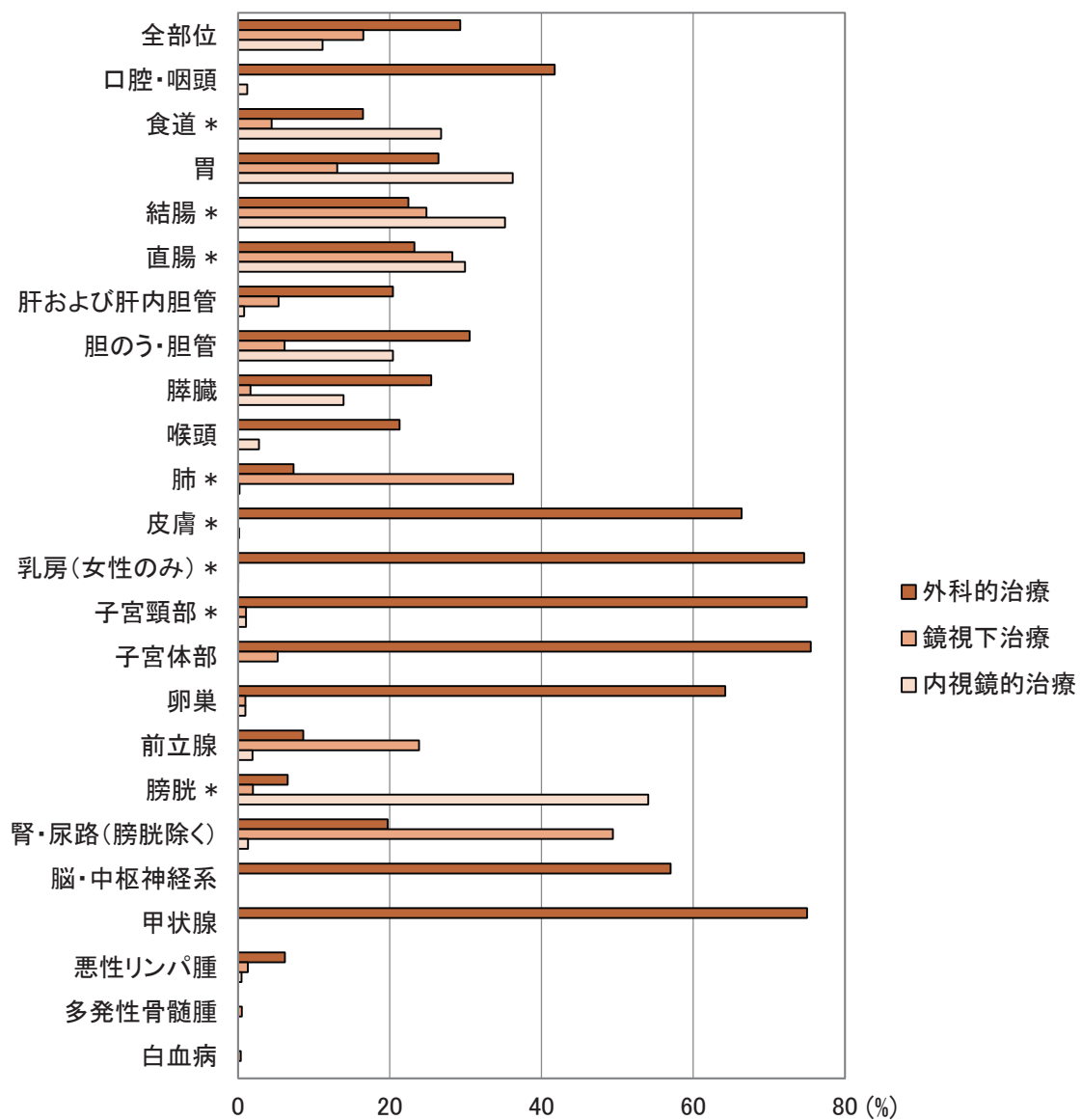


図2-9-1 観血的治療の受療割合

\* 上皮内がんを含む。詳しくは25ページの進展度区分の定義と補足を参照のこと。

喉頭がんや脳・中枢神経系のがん、口腔・咽頭がんで「放射線療法」および「化学療法」の受療割合が高かった。また白血病、卵巣がん、悪性リンパ腫、膵臓がんは、「化学療法」の受療割合が高かった。「内分泌療法」は、乳がん、前立腺がん、甲状腺がんに概ね適用されている。

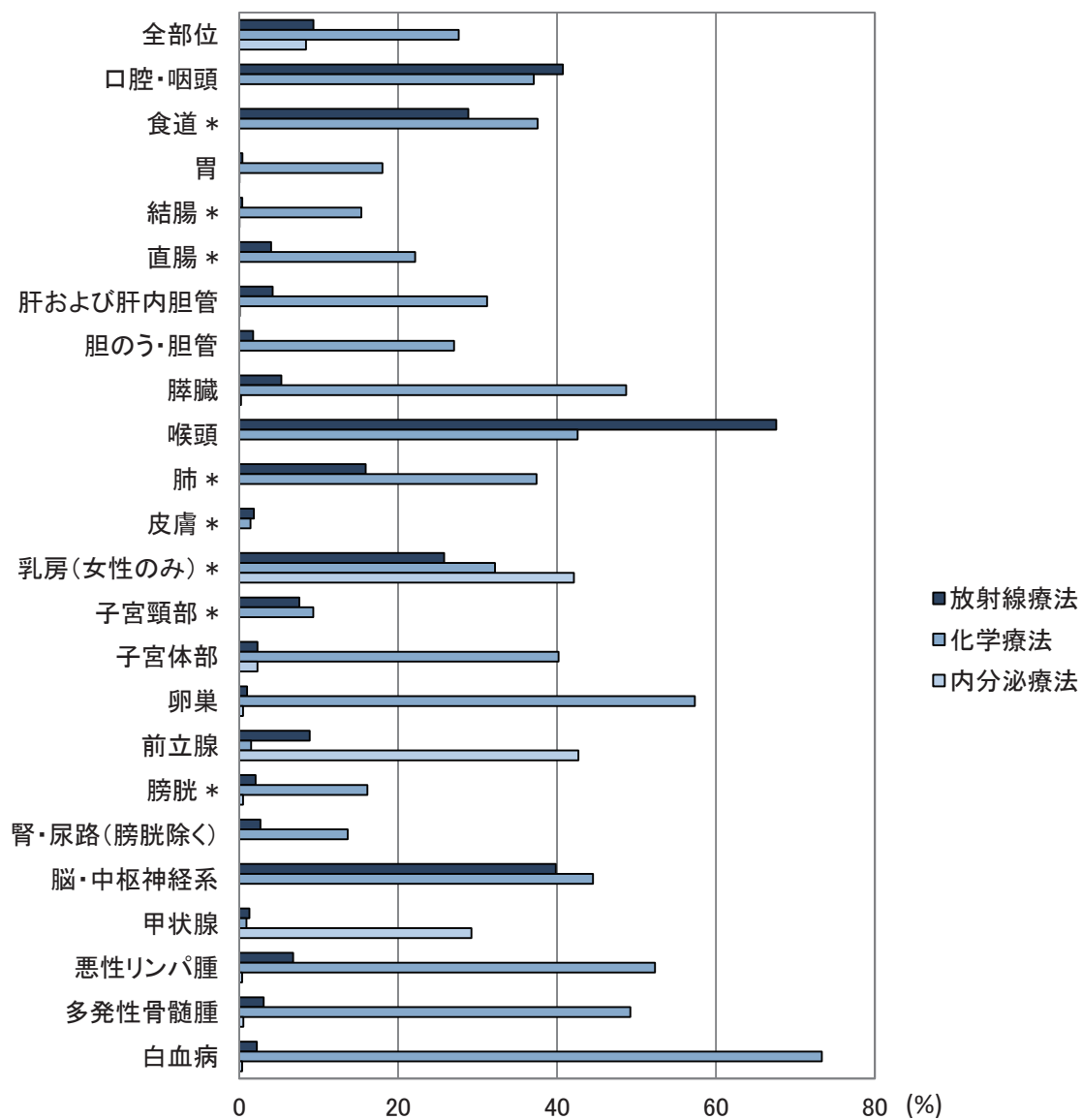


図2-9-2 放射線療法、化学療法、内分泌療法の受療割合

\*上皮内がんを含む。詳しくは25ページの進展度区分の定義と補足を参照のこと。



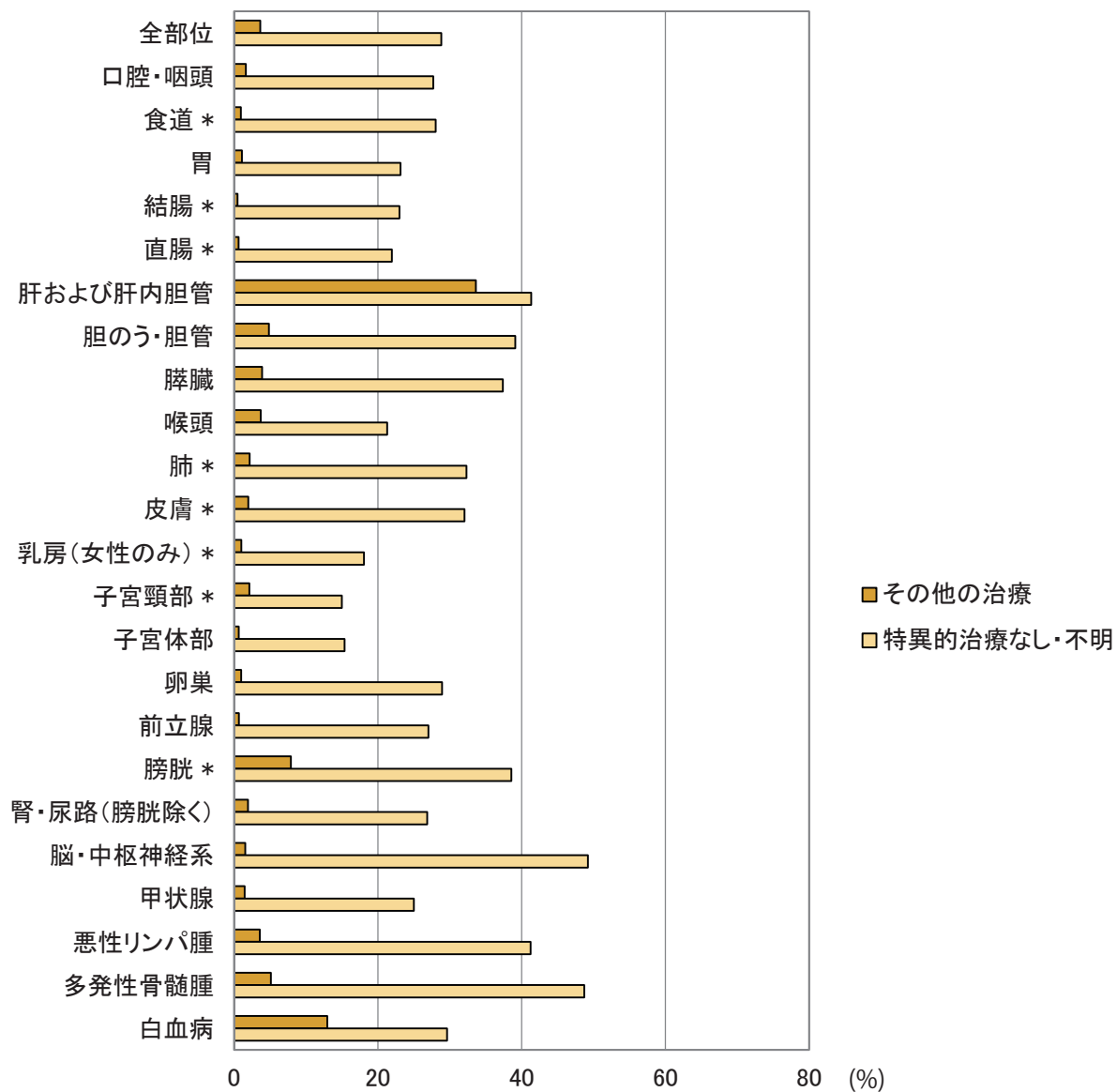
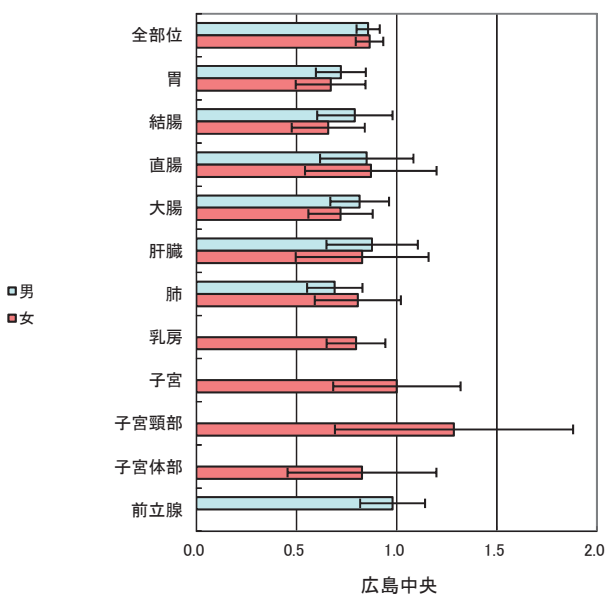
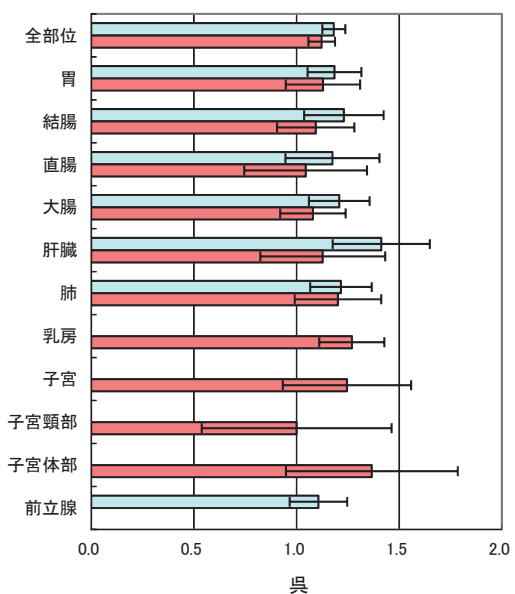
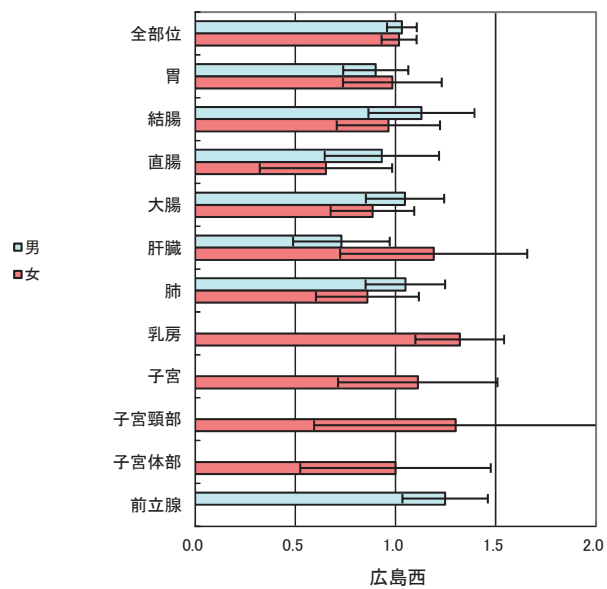
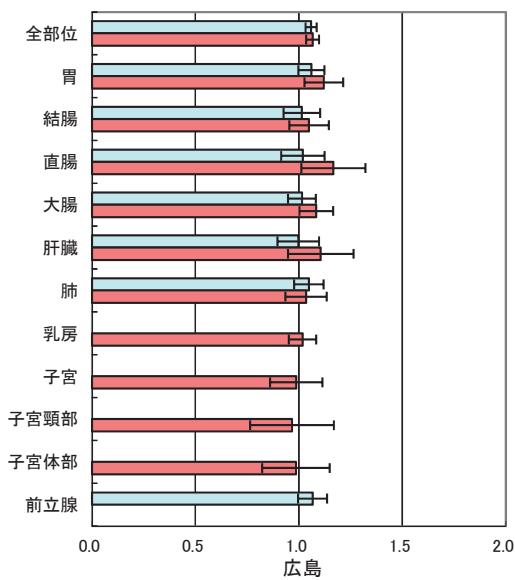


図 2-9-3 その他の治療の受療割合および、特異的治療なし・不明の割合  
 \*上皮内がんを含む。詳しくは25ページの進展度区分の定義と補足を参照のこと。

(7) 二次保健医療圏別の標準化罹患比（上皮内がんを除く）

二次保健医療圏別に広島県全域の罹患率を1として、標準化罹患比と95%信頼区間を算出した。全部位の男では呉圏域が1.18、広島圏域で1.06と高く、広島中央圏域が0.86、尾三圏域と福山・府中圏域で0.88と低かった。女では呉圏域が1.12、広島圏域で1.07と高く、広島中央圏域が0.86、福山・府中圏域が0.92、尾三圏域で0.93と低かった。部位別に見ると、男では呉圏域の肝および肝内胆管1.41、結腸1.23、肺1.22、胃1.18、広島西圏域の前立腺1.25と高く、広島中央圏域の肺0.69、胃0.72、結腸0.79、備北圏域の直腸0.70、広島西圏域の肝および肝内胆管0.73と低かった。女では広島西圏域の乳房1.32、呉圏域の乳房1.27、広島圏域の直腸1.17、胃1.12と高く、広島西圏域の直腸0.65、広島中央圏域の結腸0.66、胃0.67、尾三圏域の肝および肝内胆管0.70と低かった。（図2-10、付表4-D参照）



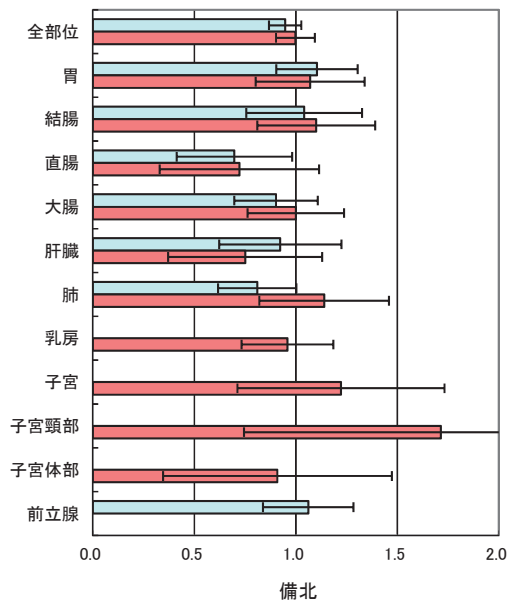
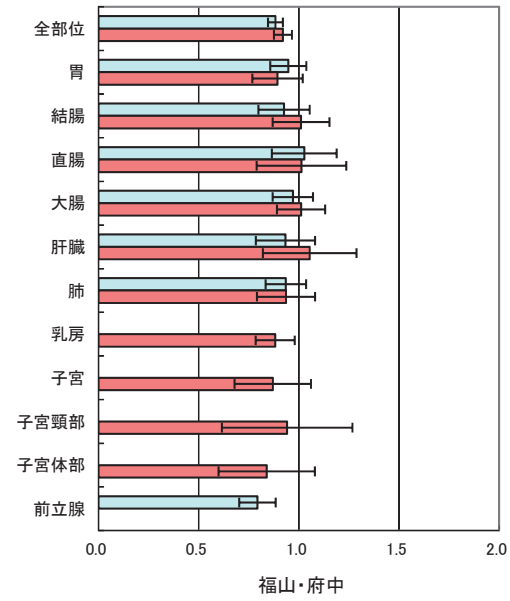
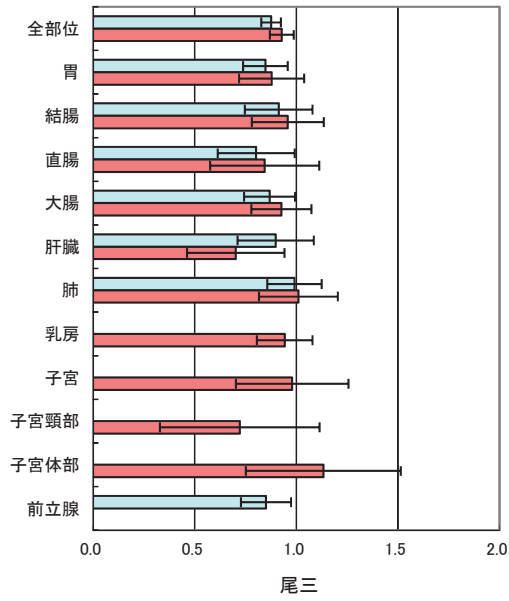


図 2-10 二次保健医療圏別の部位別標準化罹患比 (広島県の罹患率を基準とする)

\*エラーバーは95%信頼区間

注)「子宮」は頸部、体部、および部位不明を含む。

### 3. 5年相対生存率（平成21年（2009）診断）

平成21年（2009）診断患者における、全がん5年相対生存率は65.8%であった。

部位別の5年相対生存率は、前立腺がん、甲状腺がん、皮膚がん、乳がんが90%以上、子宮体がん、子宮頸がんが80%以上と高かった。また、多発性骨髄腫、食道がんが40%台、肺がん、白血病、肝および肝内胆管がん、胆のう・胆管がんが30%台、脳・中枢神経系のがんが27.7%、膵臓がんは11.0%と低くなっていた。（図3-1、図3-2、図3-3、表12参照）

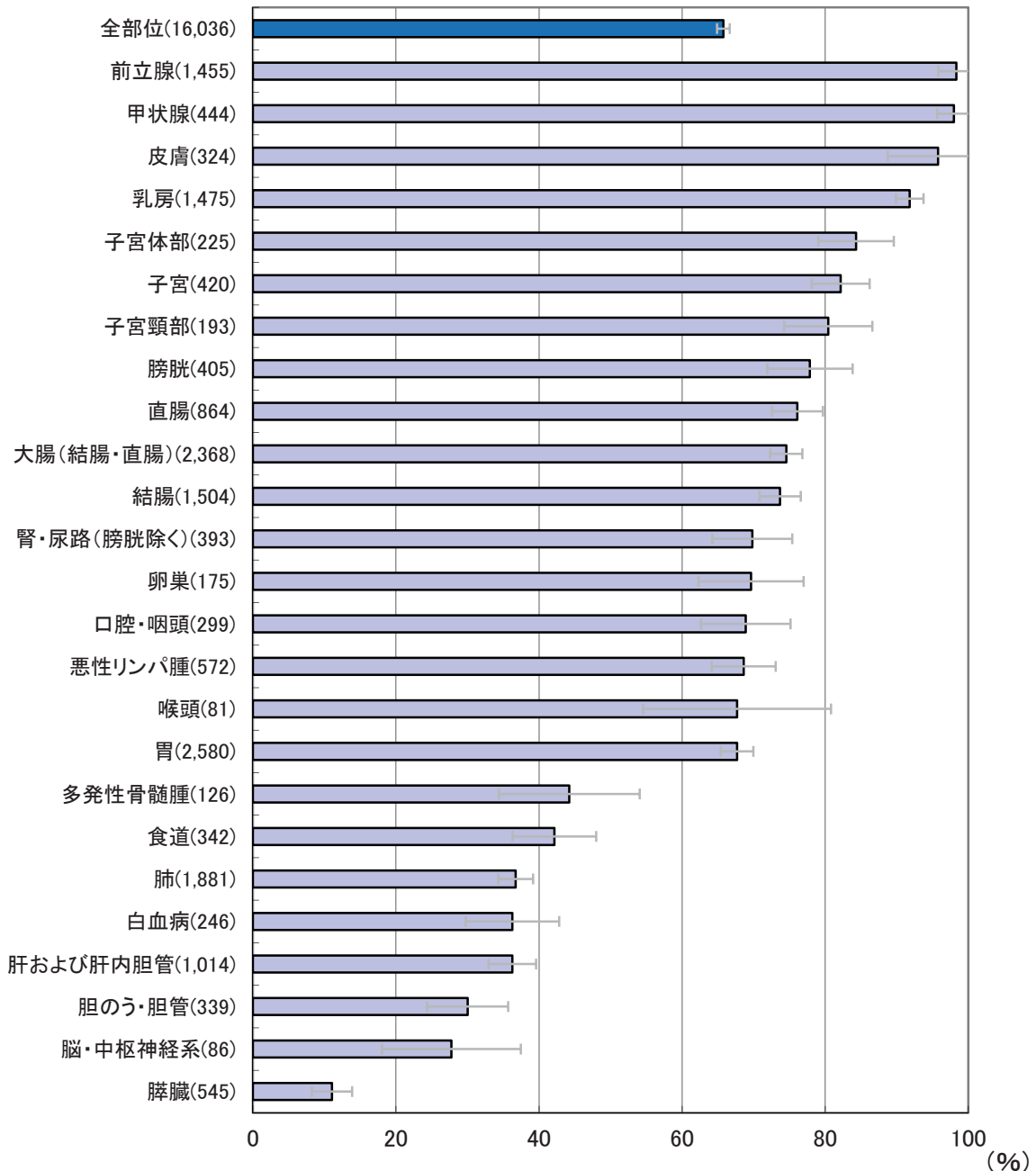


図3-1 部位別5年相対生存率

\*エラーバーは95%信頼区間

注)「子宮」は頸部、体部、および部位不明を含む。

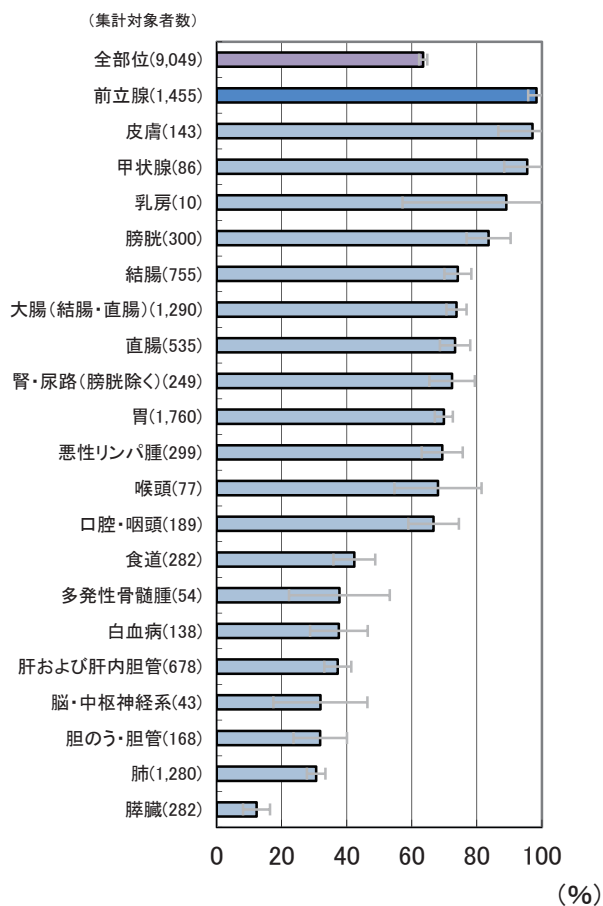


図3-2 部位別5年相対生存率(男)

\*エラーバーは95%信頼区間

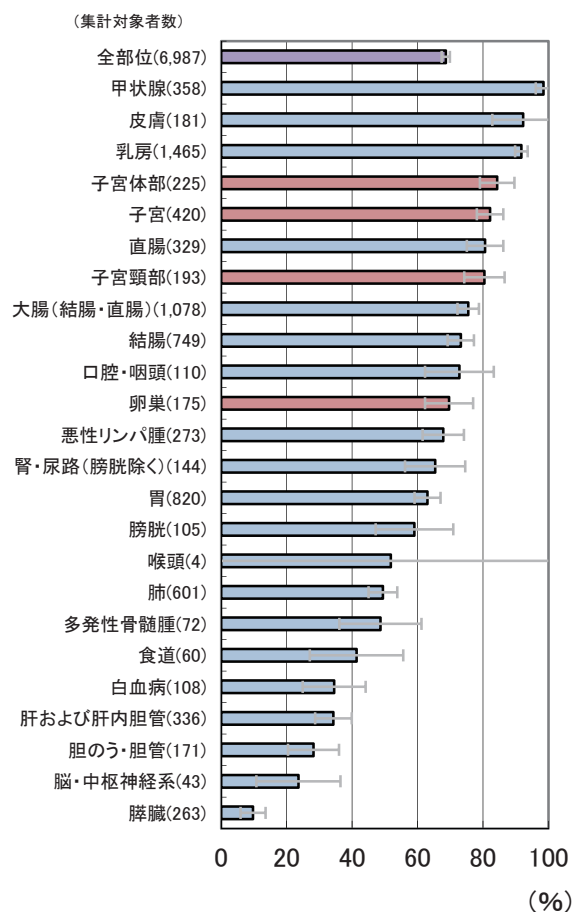


図3-3 部位別5年相対生存率(女)

\*エラーバーは95%信頼区間

注)「子宮」は、頸部、体部、および部位不明を含む。

進展度別に見ると、全部位で「限局」群の5年相対生存率は92.2%、「領域」群で60.1%、「遠隔」では15.0%であった。部位別に「限局」群の生存率を見ると、前立腺がんでは100%であり、胃がん、結腸がん、直腸がん、乳がん、子宮頸がん、子宮体がんにおいても90%以上と良好であった。肺がんにおいても「限局」群は89.1%と比較的良好であったが、肝および肝内胆管がんでは51.4%と低かった。(図3-4、表13参照)

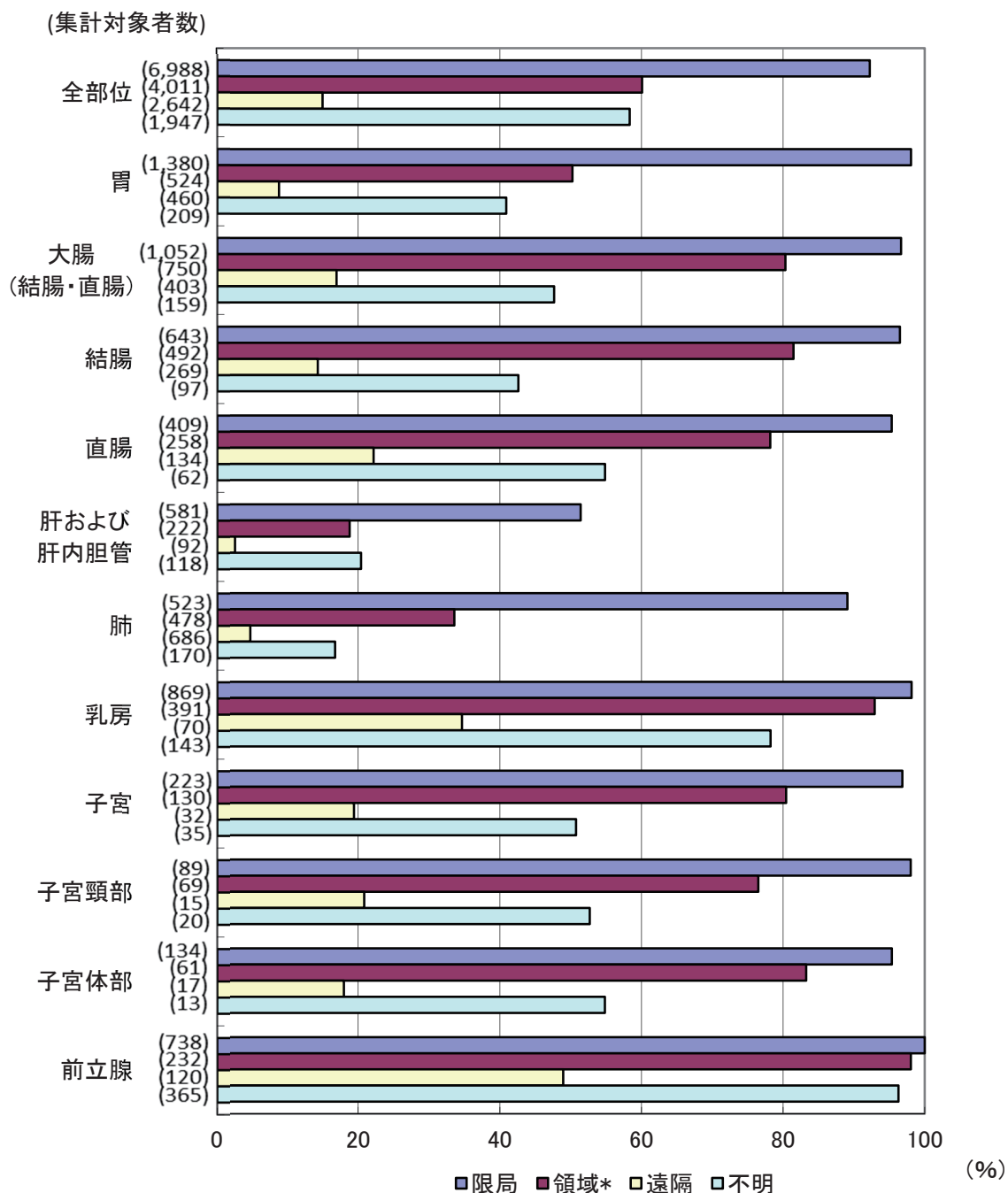


図3-4 部位別・進展度別5年相対生存率

\*領域：所属リンパ節転移もしくは隣接臓器浸潤  
注)「子宮」は頸部、体部、および部位不明を含む。

#### 4. 罹患（罹患数、年齢調整罹患率）と死亡（死亡数、年齢調整死亡率）の年次推移（平成15年（2003）～平成26年（2014））

平成25年（2013）に集約方法および罹患数計測方法が全国がん登録方式へ変更されたため、平成25年（2013）以降の罹患数と平成24年（2012）以前の罹患数と比較する場合には注意が必要である。また、平成24年（2012）以前の統計値においても、全国がん登録システムから算出された値を掲載しているため、一昨年度までの報告書で報告した値と違いが生じている。主な原因としては、一昨年度までの報告書では、DCN 症例の罹患日は死亡日として扱われていたが、全国がん登録方式への変更により DCN 症例の罹患日は遡り調査で把握された診断日と定義されたことである。

平成25年（2013）罹患数（平成30年2月報告時点）は23,953件（男13,943件、女10,010件）と平成24年（2012）罹患数から、男女とも1.14倍に増加した。増加の原因の大部分は、全国がん登録DBSで平成25年（2013）症例とそれ以前の症例の連続性が考慮されずに、重複登録が起こったことによると考えられる。それに対し、平成26年（2014）の罹患数は23,091件（男13,357件、女9,734件）に減少した。平成25年（2013）以降の症例との連続性が考慮され、前年より減少し、従来の罹患数に近づいているように見受けられる。しかし、症例によっては、診断、治療と数年を経て、がん登録情報が届けられることもあるため、重複登録が十分に解消されたとはいえない。罹患数が安定するまでには数年の観察が必要である。

死亡数は男女とも若干増加傾向が見られる。年齢調整罹患率は男では近年若干の増加傾向、女では一貫した増加傾向が見られたが平成24年（2012）に減少している。年齢調整死亡率は、男では減少傾向が見られるが、女は若干減少しているものの男に比べ減少傾向は緩やかである。（図4-1～図4-10、付表6-1～付表6-4参照）

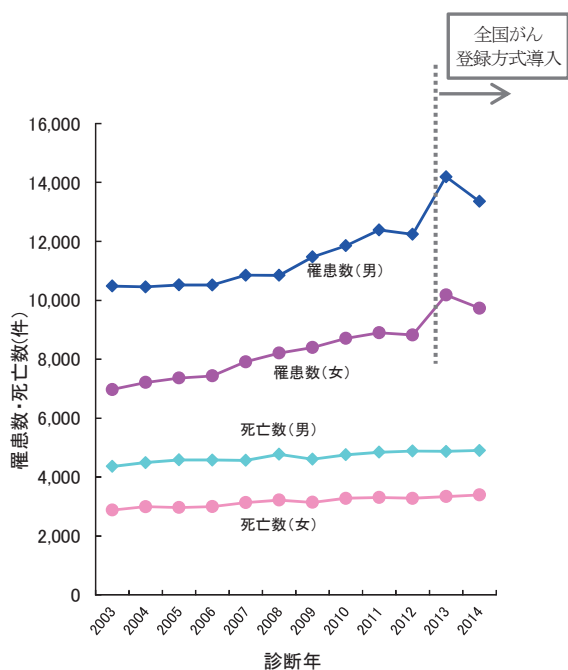


図4-1 罹患数・死亡数の年次推移

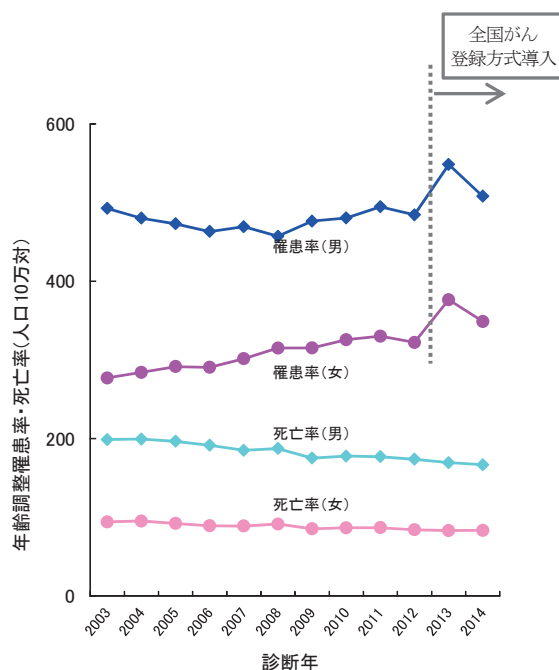


図4-2 年齢調整罹患率・死亡率の年次推移



平成24年（2012）までの罹患数の年次推移を部位別に見ると、男では肺がんで緩やかな増加傾向、前立腺がんで平成21年（2009）から増加傾向が見られたが、平成24年（2012）には減少している。肝および肝内胆管がんでは減少傾向が続いている。女では乳がんの増加が著しい。肝および肝内胆管がんで減少傾向が見られるが、それ以外では平成15年（2003）以降増加傾向が見られる。平成25年（2013）ではいずれの部位でも急激な増加が見られるが、全国がん登録方式への変更による影響が大きいと考える。平成26年（2014）では、いずれの部位も減少している。

年齢調整罹患率は、男では胃がん、肝および肝内胆管がんで減少していた。前立腺がんは平成20年（2008）まで減少していたが、平成21年（2009）から増加している。女では胃がん、肝および肝内胆管がんで減少傾向が見られる。乳がんの増加は著しい。甲状腺がんは平成23年（2011）まで増加傾向を示していた。平成25年（2013）診断症例数増加の解釈に関しては、全国がん登録方式への変更による影響が大きいと、注意が必要である。平成26年（2014）年齢調整罹患率は、平成25年（2013）の増加から大幅に減少した。特に男では全ての部位で減少している。女では乳がん、大腸がん、子宮がん、甲状腺がんでは減少したが、胃がん、肺がん、肝および肝内胆管がんは横ばいで

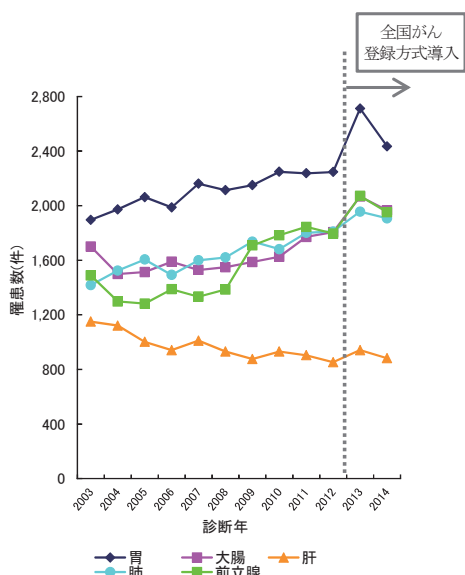


図4-3 罹患数の年次推移（男）

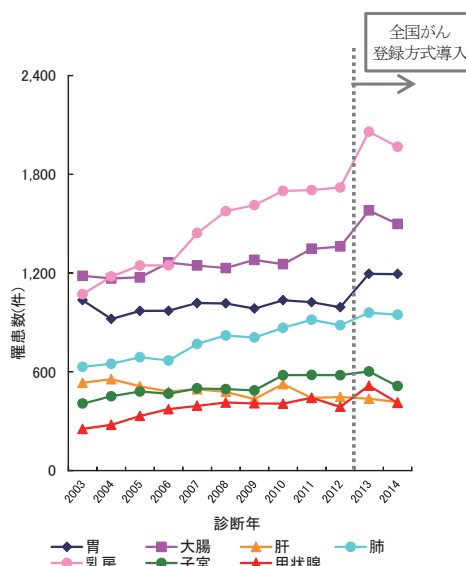


図4-4 罹患数の年次推移（女）

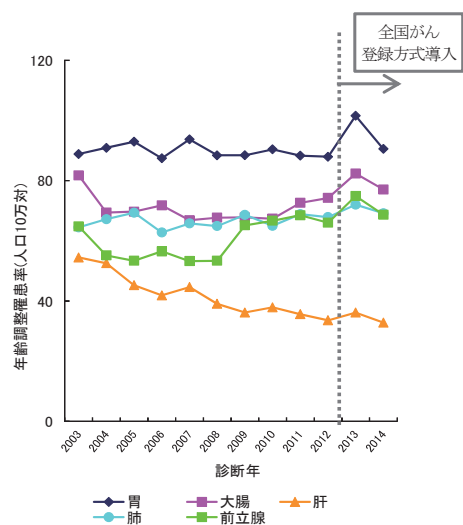


図4-5 年齢調整罹患率の年次推移（男）

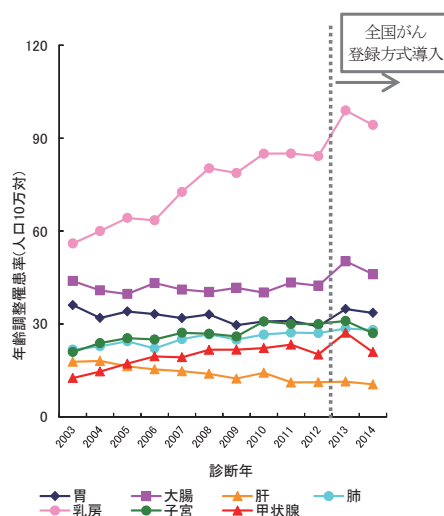


図4-6 年齢調整罹患率の年次推移（女）

あった。

死亡数は男女ともに肝および肝内胆管がんで平成21年（2009）まで減少傾向が見られていたが、平成22年（2010）に増加し、再び減少している。男では肺がん、膵臓がんは増加傾向にある。女では、大腸がん、胃がんが平成24年（2012）から増加している。膵臓がんでは登録を開始した平成15年（2003）と比較し増加傾向にある。

年齢調整死亡率では、男女ともに特に胃がん、肝および肝内胆管がんが減少しており、男では平成21年（2009）頃より肺がんも減少傾向が見られたが、近年は横ばいの傾向が続いている。女では大腸がん死亡率は緩やかに減少している。

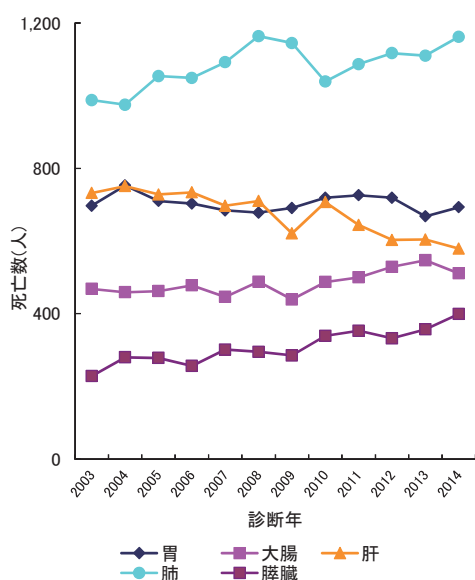


図 4-7 死亡数の年次推移（男）

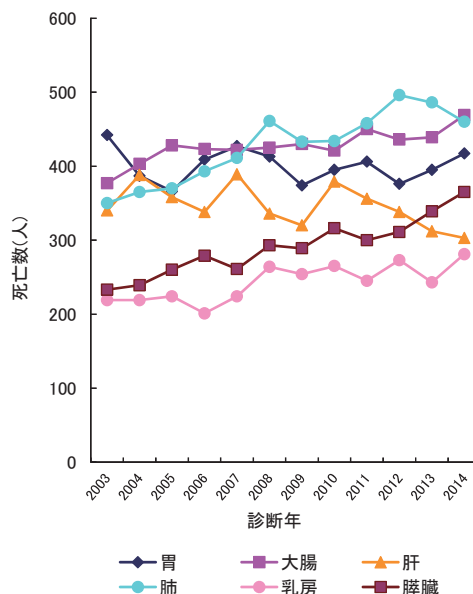


図 4-8 死亡数の年次推移（女）

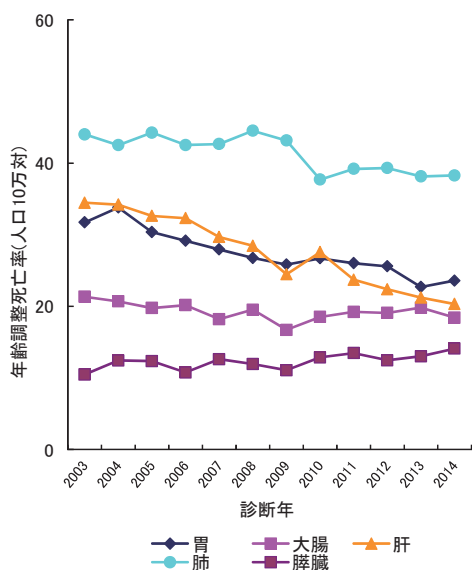


図 4-9 年齢調整死亡率の年次推移（男）

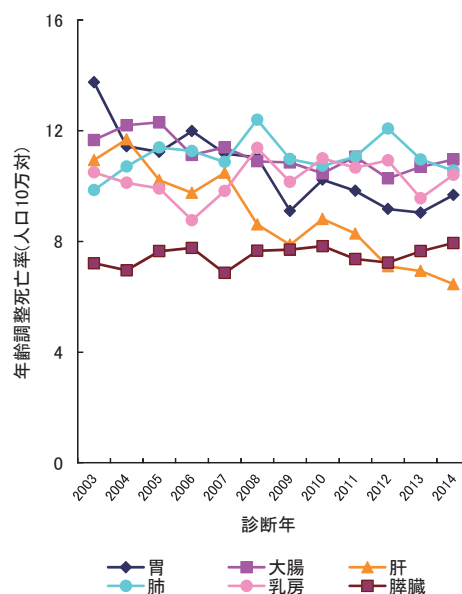


図 4-10 年齢調整死亡率の年次推移（女）

## 5. 登録精度指標の推移

広島県および全国がん罹患モニタリング集計における年齢調整罹患率と登録精度の年次推移を示す。なお、昨年度から精度指標にMI比<sup>\*3</sup>が採用されたが、経年変化を観察するため、表EではIM比を記載した。

全国と比較すると、平成16年（2004）以前は広島県のDCN<sup>\*1</sup>割合、DCO<sup>\*2</sup>割合ともに高いが、平成17年（2005）診断患者からは、DCN割合が減少し、登録の完全性が向上している。さらに平成17年（2005）診断からは遡り調査を開始したことで、DCO割合が著しく向上している。平成26年度（2014）に実施した平成24年（2012）死亡者の遡り調査では、平成28年（2016）からの全国がん登録を見据え、遡り調査の対象医療機関を例年よりも拡大したため、平成24年（2012）診断において、DCO割合が顕著に減少した。平成28年度（2016）に実施した平成25年（2013）診断からDCN割合が減少しているが、DCN症例の定義や診断日のルール変更の影響もあるため、結果の解釈には注意が必要である。全国と比較してIM比が高いのは、病理登録で外来での生検症例も得られていることが大きいと思われる。（図5）

\*1DCN（death certificate notification）：死亡票で初めて登録されたがん（10ページ参照）

\*2DCO（death certification only）：死亡票のみで登録されたがん（10ページ参照）

\*3MI比（mortality ratio/incidence）：がん死亡数と罹患数の比（10ページ参照）

表E 広島県および全国における年齢調整罹患率および登録精度の年次推移

年	年齢調整罹患率 <sup>1)</sup>				DCN(%) <sup>4)</sup>		DCO(%) <sup>4)</sup>		IM比 <sup>4)</sup>		MV(%) <sup>3)4)</sup>	
	広島県		全国 <sup>2)</sup>		広島県	全国 <sup>2)</sup>	広島県	全国 <sup>2)</sup>	広島県	全国 <sup>2)</sup>	広島県	全国 <sup>2)</sup>
	(上皮内がんを含む)	(上皮内がんを含まない)	(上皮内がんを含む)	(上皮内がんを含まない)								
2002	-	388.2	-	-	28.2	-	28.2	-	2.32	-	-	-
2003	400.4	379.6	322.3	-	27.5	25.0	27.5	19.5	2.64	1.91	70.8	72.8
2004	381.5	358.2	321.5	-	26.8	26.2	26.8	20.0	2.44	1.86	71.6	71.8
2005	414.0	380.6	328.2	310.6	18.2	21.9	9.4	17.0	2.63	1.96	94.9	73.0
2006	391.0	357.8	329.7	312.1	14.6	22.5	5.9	17.1	2.53	1.97	90.2	72.1
2007	420.6	374.1	346.5	323.6	11.3	21.5	5.4	16.2	2.43	2.01	89.7	73.6
2008	420.9	341.4	366.3	337.5	9.9	20.4	5.2	14.6	2.36	2.07	91.3	75.2
2009	439.9	378.5	374.0	342.7	8.1	20.4	5.0	14.1	2.52	2.15	88.2	75.7
2010	444.1	381.1	390.9	351.4	7.2	18.8	4.8	13.2	2.49	2.21	87.4	77.8
2011	456.1	388.6	436.8	365.8	6.7	11.5	4.1	5.6	2.53	2.31	87.4	83.5
2012	453.1	383.1	414.0	365.6	6.6	12.5	2.6	5.9	2.52	2.31	87.6	82.8
2013	532.7	441.7	412.8	361.9	4.6	8.5	2.9	5.3	2.92	2.31	89.5	83.9
2014	498.8	415.1	-	-	4.6	-	2.7	-	-	-	88.7	-

- 1) 基準人口を昭和60年（1985）日本モデル人口とした場合の年齢調整罹患率
- 2) 国立がん研究センターがん対策情報センターが発行しているMCIJ（Monitoring of Cancer Incidence in Japan）2002～2013で報告された、推計参加登録から推計された値を引用。ただし、MCIJ2002～2010の推計参加登録は、精度基準（10ページ参照）におけるB基準①「罹患患者中死亡情報のみで登録された患者」（DCO）割合<25%、あるいは、「死亡情報で初めて把握された患者」（DCN）割合<30%、かつ、②「罹患数と人口動態統計によるがん死亡数との比」（IM比） $\geq 1.5$ の両条件を満たす登録であり、MCIJ2011以降の推計参加登録は、A基準①DCO割合<10%、かつ、②DCN割合<20%、かつ、③IM比 $\geq 2.0$ の3条件を満たす登録である。
- 3) 罹患数全体における病理診断のある症例の割合
- 4) 2000～2006年は上皮内がんを含む。2007年以降は上皮内がんを含まない。

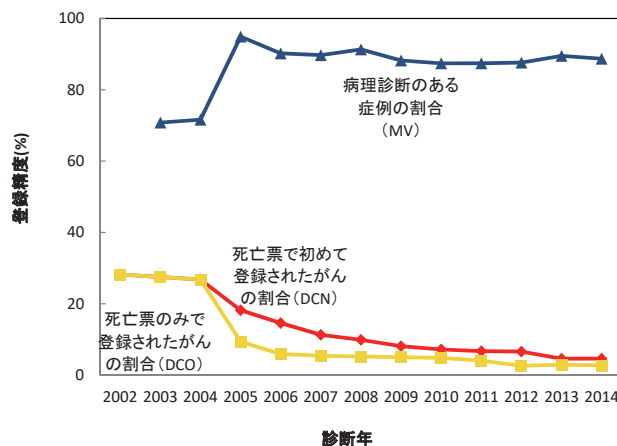


図5 広島県における登録精度の年次推移

### Ⅲ おわりに

平成26年（2014）診断分の広島県のがん登録報告書が完成いたしました。平成28（2016）年診断分からは全国がん登録がスタートしておりますので、広島県のがん登録報告書もこの平成26年（2014年）診断分と平成27年（2015年）診断分の2つのみとなりました。

さて、本報告書における5年相対生存率の記載は、平成22年（2010）集計より始めており、今回は、平成21年（2009）診断のデータです。全部位での5年相対生存率は65.8%（男性：63.5%、女性：68.6%）であり、最も高かった前立腺では98.3%、最も低かった膵臓では11.0%でした。

また、本報告書での集計においても、本県の登録精度の高さは維持されています。DCN割合は平成25年（2013）集計の4.6%と同様で、DCO割合は2.9%から2.7%へと向上しております。遡り調査の回収率の高さも反映されていることは間違いありません。本県のDCN割合、DCO割合は全国に誇る数字で、県内のがん情報を網羅的に収集できている証であり、これはひとえに日々の登録業務にあたっていただいている医療機関の皆様のご理解とご協力の賜と深謝いたします。

収集したがん登録データは、さまざまな分野で利活用され、広島県のがん対策においては、施策の立案に役立っております。

今後とも、医療機関の皆さまには、がん登録へのさらなるご理解とご協力をお願いいたします。

平成30年（2018）10月

一般社団法人広島県医師会副会長 津谷 隆史  
一般社団法人広島県医師会常任理事 山田 博康  
三宅 規之

# IV 付表 広島県標準集計表

平成26年(2014)



表1. 罹患数、罹患割合(%)、粗罹患率(人口10万対)、年齢調整罹患率(人口10万対)及び累積罹患率(人口100対) : 部位別、性別

A. 上皮内がんを除く

広島県

2014年

部位	ICD-10	罹患数		罹患割合		粗罹患率		年齢調整罹患率		世界人口		累積罹患率(0-74歳)							
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女						
		総数	総数	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女						
全部位		13,357	9,734	23,091	100.0	100.0	100.0	815.4	815.4	507.9	348.8	415.1	357.9	261.4	301.7	42.4	28.8	35.1	
口腔・咽頭	C00-C14	345	156	501	2.6	1.6	2.2	25.3	10.6	17.7	14.5	5.9	9.9	10.8	4.5	7.4	1.4	0.5	0.9
食道	C15	483	77	560	3.6	0.8	2.4	35.4	5.2	19.8	19.1	2.5	10.1	13.6	1.8	7.3	1.9	0.2	1.0
胃	C16	2,434	1,194	3,628	18.2	12.3	15.7	178.4	81.4	128.1	90.5	33.6	59.2	62.5	23.4	41.3	7.5	2.7	5.0
大腸(結腸・直腸)	C18-C20	1,966	1,499	3,465	14.7	15.4	15.0	144.1	102.2	122.4	77.0	46.0	60.2	55.0	33.0	43.2	6.8	3.9	5.3
結腸	C18	1,166	1,063	2,229	8.7	10.9	9.7	85.4	72.4	78.7	44.1	30.1	36.5	30.9	21.2	25.7	3.8	2.5	3.1
直腸	C19-C20	800	436	1,236	6.0	4.5	5.4	58.6	29.7	43.6	32.9	16.0	23.8	24.1	11.8	17.5	3.0	1.4	2.2
肝および肝内胆管	C22	882	416	1,298	6.6	4.3	5.6	64.6	28.4	45.8	32.8	10.5	20.7	22.7	7.3	14.4	2.7	0.8	1.7
胆のう・胆管	C23-C24	237	242	479	1.8	2.5	2.1	17.4	16.5	16.9	7.8	5.0	6.2	5.1	3.4	4.1	0.5	0.4	0.4
膵臓	C25	459	433	892	3.4	4.4	3.9	33.6	29.5	31.5	17.0	10.8	13.6	11.9	7.5	9.5	1.4	0.9	1.1
喉頭	C32	101	8	109	0.8	0.1	0.5	7.4	0.5	3.8	3.7	0.4	1.9	2.6	0.3	1.3	0.3	0.0	0.2
肺	C33-C34	1,907	947	2,854	14.3	9.7	12.4	139.7	64.5	100.8	69.1	28.1	46.1	47.5	19.8	32.1	5.5	2.4	3.9
皮膚	C43-C44	265	255	520	2.0	2.6	2.3	19.4	17.4	18.4	9.3	6.3	7.5	6.3	4.7	5.4	0.6	0.4	0.5
乳房	C50	18	1,967	1,985	0.1	20.2	8.6	1.3	134.1	70.1	0.7	94.3	48.8	0.5	72.6	37.4	0.1	8.0	4.1
子宮	C53-C55	-	513	-	-	5.3	-	-	35.0	-	-	27.0	-	-	21.1	-	-	2.3	-
子宮頸部	C53	-	194	-	-	2.0	-	-	13.2	-	-	11.0	-	-	8.7	-	-	0.8	-
子宮体部	C54	-	308	-	-	3.2	-	-	21.0	-	-	15.8	-	-	12.3	-	-	1.4	-
卵巣	C56	-	208	-	-	2.1	-	-	14.2	-	-	10.1	-	-	8.0	-	-	0.8	-
前立腺	C61	1,952	-	-	14.6	-	-	143.0	-	-	68.7	-	-	46.4	-	-	6.1	-	-
膀胱	C67	487	140	627	3.6	1.4	2.7	35.7	9.5	22.1	16.9	3.2	9.2	11.6	2.2	6.4	1.3	0.2	0.7
腎・尿路(膀胱除く)	C64-C66 C68	451	245	696	3.4	2.5	3.0	33.0	16.7	24.6	18.8	7.2	12.6	13.5	5.2	9.1	1.6	0.6	1.1
脳・中枢神経系	C70-C72	67	75	142	0.5	0.8	0.6	4.9	5.1	5.0	3.9	2.6	3.3	3.6	2.4	3.0	0.3	0.2	0.2
甲状腺	C73	139	411	550	1.0	4.2	2.4	10.2	28.0	19.4	7.7	20.9	14.4	6.0	16.5	11.4	0.6	1.8	1.2
悪性リンパ腫	C81-C85 C96	452	400	852	3.4	4.1	3.7	33.1	27.3	30.1	18.5	13.9	15.9	13.6	10.5	11.9	1.5	1.2	1.3
多発性骨髄腫	C88-C90	106	92	198	0.8	0.9	0.9	7.8	6.3	7.0	3.9	2.5	3.2	2.7	1.7	2.1	0.3	0.2	0.2
白血病	C91-C95	171	114	285	1.3	1.2	1.2	12.5	7.8	10.1	8.4	5.2	6.7	7.1	4.7	5.8	0.6	0.4	0.5



表1. 罹患数、罹患割合(%)、粗罹患率(人口10万対)、年齢調整罹患率(人口100対)及び累積罹患率(人口100対) : 部位別、性別

B. 上皮内がんを含む

広島県

2014年

部位	罹患数										罹患割合										粗罹患率										年齢調整罹患率										累積罹患率(0-74歳)									
	ICD-10					男					女					総数					男					女					総数					男					女					総数				
	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数														
全部位	15,201	11,508	26,709	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	1,113.9	784.3	943.1	582.8	445.3	498.8	411.7	338.2	365.8	49.1	36.3	42.1	49.1	36.3	42.1	411.7	338.2	365.8	49.1	36.3	42.1	49.1	36.3	42.1																	
食道	541	103	644	3.6	0.9	2.4	39.6	7.0	22.7	21.2	3.4	11.6	15.1	2.5	8.4	15.1	2.5	8.4	2.1	0.3	1.2	2.1	0.3	1.2	15.1	2.5	8.4	2.1	0.3	1.2	2.1	0.3	1.2																	
大腸(結腸・直腸)*1	3,020	2,058	5,078	19.9	17.9	19.0	221.3	140.3	179.3	122.7	66.4	92.5	88.5	48.0	66.9	11.1	5.8	8.3	11.1	5.8	8.3	11.1	5.8	8.3	88.5	48.0	66.9	11.1	5.8	8.3	11.1	5.8	8.3																	
結腸*1	1,943	1,492	3,435	12.8	13.0	12.9	142.4	101.7	121.3	77.7	45.5	60.4	55.5	32.5	43.2	6.9	3.9	5.3	6.9	3.9	5.3	6.9	3.9	5.3	55.5	32.5	43.2	6.9	3.9	5.3	6.9	3.9	5.3																	
直腸*1	1,077	566	1,643	7.1	4.9	6.2	78.9	38.6	58.0	45.0	20.9	32.1	33.1	15.5	23.7	4.2	1.9	3.0	4.2	1.9	3.0	4.2	1.9	3.0	33.1	15.5	23.7	4.2	1.9	3.0	4.2	1.9	3.0																	
肺	1,907	948	2,855	12.5	8.2	10.7	139.7	64.6	100.8	69.1	28.1	46.1	47.5	19.8	32.1	5.5	2.4	3.9	5.5	2.4	3.9	5.5	2.4	3.9	47.5	19.8	32.1	5.5	2.4	3.9	5.5	2.4	3.9																	
皮膚	349	361	710	2.3	3.1	2.7	25.6	24.6	25.1	12.2	8.5	10.0	8.3	6.2	7.1	0.8	0.6	0.7	0.8	0.6	0.7	0.8	0.6	0.7	8.3	6.2	7.1	0.8	0.6	0.7	0.8	0.6	0.7																	
乳房	19	2,223	2,242	0.1	19.3	8.4	1.4	151.5	79.2	0.7	107.6	55.7	0.5	83.2	42.8	0.1	9.2	4.7	0.1	9.2	4.7	0.1	9.2	4.7	0.5	83.2	42.8	0.1	9.2	4.7	0.1	9.2	4.7																	
子宮	-	1,169	-	-	10.2	-	-	79.7	-	-	80.7	-	-	65.9	-	-	6.0	-	-	6.0	-	-	6.0	-	-	65.9	-	-	6.0	-	-	6.0	-																	
子宮頸部	-	850	-	-	7.4	-	-	57.9	-	-	64.7	-	-	53.5	-	-	4.5	-	-	4.5	-	-	4.5	-	-	53.5	-	-	4.5	-	-	4.5	-																	
膀胱	1,025	251	1,276	6.7	2.2	4.8	75.1	17.1	45.1	36.9	6.9	20.2	25.4	4.8	14.1	2.8	0.6	1.6	2.8	0.6	1.6	2.8	0.6	1.6	25.4	4.8	14.1	2.8	0.6	1.6	2.8	0.6	1.6																	

\*1 粘膜がんを含む

表2. 年齢階級別罹患数、罹患割合 (%) : 部位別、性別

A. 上皮内がんを除く

広島県 2014年

Table with columns for sex (性別), site (部位), and age groups (0-4歳 to 85歳以上). Rows list various cancer types and their counts and percentages.





表3. 年齢階級別罹患率（人口10万対）：部位別、性別

B. 上皮内がんを含む

広島県 2014年

性別	部位	ICD-10	総数	0-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85歳以上	不詳	
男	全部位	C00-C96 D00-D09	15,201	17.6	20.7	12.1	16.1	18.0	30.8	56.0	86.6	159.8	241.6	525.5	1,001.9	1,722.4	2,492.2	3,417.3	4,188.5	5,089.2	4,571.5	0.0	
	食道	C15 D001	541	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	1.0	1.8	6.6	20.8	43.3	69.1	110.7	160.8	140.0	115.1	86.5	0.0	
	大腸（結腸・直腸）*1	C18-C20 D010-D012	3,020	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	5.4	2.4	19.8	53.3	69.8	134.7	261.0	448.9	530.2	701.4	709.9	777.5	637.0	0.0	
	結腸*1	C18 D010	1,943	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	2.7	1.2	12.5	37.6	38.8	83.3	153.9	268.1	312.7	472.8	490.7	542.6	441.0	0.0	
	直腸*1	C19-C20 D011-D012	1,077	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	1.2	7.3	15.6	31.0	51.4	107.0	180.8	217.5	228.5	219.2	234.9	196.0	0.0	
	肺	C33-C34 D021-D022	1,907	1.6	0.0	0.0	1.5	0.0	1.3	1.2	2.1	17.4	19.9	50.2	116.7	184.8	279.1	432.9	595.2	682.4	752.3	0.0	
	皮膚	C43-C44 D030-D049	349	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	6.1	3.1	2.8	3.3	8.6	16.8	25.4	27.9	68.9	65.8	197.3	224.8	0.0	
	乳房	C50 D05	19	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	1.2	3.0	4.8	2.4	1.7	9.4	5.8	0.0	
	膀胱	C67 D090	1,025	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	2.4	2.1	4.6	12.2	22.0	73.4	109.7	161.7	177.8	290.0	394.6	467.0	467.0	0.0	
	女	全部位	C00-C96 D00-D09	11,508	31.5	3.3	14.3	10.8	54.8	166.0	261.6	357.8	479.8	553.9	733.2	795.0	1,007.5	1,269.6	1,525.2	1,732.1	1,971.4	2,095.5	0.0
		食道	C15 D001	103	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.9	1.1	8.4	7.0	11.6	16.0	16.5	12.7	14.6	24.3	0.0
		大腸（結腸・直腸）*1	C18-C20 D010-D012	2,058	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	1.4	2.5	19.3	34.6	60.7	115.8	113.6	194.9	284.6	341.9	380.7	414.9	388.8	0.0
		結腸*1	C18 D010	1,492	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	1.3	12.9	18.7	37.5	65.1	67.9	134.8	196.9	243.0	288.0	330.5	303.2	0.0
		直腸*1	C19-C20 D011-D012	566	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	1.3	6.4	15.9	23.2	50.6	45.7	60.1	67.7	98.9	92.6	84.4	85.6	0.0
		肺	C33-C34 D021-D022	948	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	5.1	4.3	9.4	8.8	28.9	58.5	79.5	130.1	159.6	203.0	202.4	190.9	0.0
		皮膚	C43-C44 D030-D049	361	0.0	1.7	0.0	1.5	3.1	2.8	1.3	2.1	3.7	2.2	8.4	5.9	19.4	25.8	38.1	66.0	77.2	165.5	0.0
		乳房	C50 D05	2,223	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	14.1	17.7	77.1	176.8	246.0	256.8	250.6	266.7	279.8	249.2	197.9	219.9	172.4	0.0
子宮		C53-C55 D06	1,169	0.0	0.0	0.0	0.0	34.5	101.3	187.1	189.6	159.9	113.6	104.9	94.8	74.7	64.1	65.9	35.5	45.1	41.7	0.0	
子宮頸部		C53 D06	850	0.0	0.0	0.0	0.0	34.5	97.1	183.3	180.0	142.2	91.6	54.3	43.3	23.3	29.4	27.8	12.7	23.3	22.0	0.0	
膀胱		C67 D090	251	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	5.5	8.4	14.1	14.5	25.8	41.2	48.2	65.5	67.1	0.0	
総数 全部位		C00-C96 D00-D09	26,709	24.5	12.2	13.2	13.5	36.0	96.7	156.8	220.5	318.3	398.1	630.1	897.0	1,356.7	1,857.4	2,395.4	2,786.8	3,156.7	2,804.7	2,804.7	0.0
食道		C15 D001	644	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	1.1	1.4	3.9	14.6	24.9	39.7	61.5	82.9	67.3	53.0	42.1	0.0	
大腸（結腸・直腸）*1		C18-C20 D010-D012	5,078	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	3.4	2.5	19.6	44.0	65.2	125.2	186.3	319.0	392.3	507.2	522.0	553.7	459.9	0.0	
結腸*1		C18 D010	3,435	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	2.1	1.2	12.7	28.3	38.1	74.1	110.4	199.9	252.6	348.7	375.1	411.7	342.6	0.0	
直腸*1		C19-C20 D011-D012	1,643	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	1.4	1.2	6.9	15.8	27.1	51.0	75.9	119.1	139.7	158.5	147.0	142.0	117.2	0.0	
肺		C33-C34 D021-D022	2,855	0.8	0.0	0.0	0.8	0.0	1.4	3.1	3.2	13.4	14.4	39.5	87.2	131.0	201.7	285.3	371.4	378.4	351.7	0.0	
皮膚	C43-C44 D030-D049	710	0.0	0.8	0.0	0.8	3.1	1.4	3.7	2.6	3.2	2.8	8.5	11.3	22.3	26.8	52.3	65.9	123.1	182.5	0.0		
乳房	C50 D05	2,242	0.0	0.0	0.0	0.8	6.9	8.7	38.1	87.6	123.3	130.0	127.6	137.9	147.6	135.7	113.7	139.3	124.7	139.3	0.0		
膀胱	C67 D090	1,276	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	1.2	1.1	3.2	8.8	15.2	43.3	61.0	91.1	104.0	152.0	191.5	181.6	0.0		

\*1 粘膜がんを含む

表4. 発見経緯 (%) : 部位別

A. 上皮内がんを除く

広島県

2014年

部位	I0D-10	集計対象数 *1	がん検診・健康診断・ 人間ドック	他疾患の 経過観察中	剖検発見	その他	不明
全部位	C00-C96	22,279	12.9	28.2	0.1	0.7	58.1
口腔・咽頭	C00-C14	484	0.6	16.9	0.0	0.4	82.0
食道	C15	543	10.5	22.5	0.0	0.6	66.5
胃	C16	3,529	20.9	27.0	0.1	0.4	51.6
大腸 (結腸・直腸)	C18-C20	3,367	13.9	21.5	0.2	0.4	64.1
結腸	C18	2,162	13.6	23.9	0.1	0.5	61.9
直腸	C19-C20	1,205	14.3	17.3	0.3	0.2	68.0
肝および肝内胆管	C22	1,210	3.0	56.2	0.1	1.2	39.5
胆のう・胆管	C23-C24	449	4.2	33.9	0.2	3.3	58.4
膵臓	C25	839	4.5	34.4	0.1	3.5	57.4
喉頭	C32	106	0.0	18.9	0.0	0.0	81.1
肺	C33-C34	2,696	12.4	41.0	0.0	1.6	45.0
皮膚	C43-C44	514	0.2	5.4	0.0	0.0	94.4
乳房	C50	1,957	21.8	11.8	0.0	0.2	66.2
乳房 (女性のみ)	C50	1,941	22.0	11.7	0.0	0.2	66.1
子宮	C53-C55	497	11.7	13.9	0.0	0.4	74.0
子宮頸部	C53	188	15.4	11.7	0.0	0.0	72.9
子宮体部	C54	303	9.6	14.9	0.0	0.3	75.2
卵巣	C56	203	8.9	17.2	0.0	0.5	73.4
前立腺	C61	1,923	20.8	38.2	0.1	0.1	40.9
膀胱	C67	610	1.8	16.9	0.0	0.3	81.0
腎・尿路 (膀胱除く)	C64-C66 C68	662	8.0	45.6	0.3	0.5	45.6
脳・中枢神経系	C70-C72	123	0.8	15.4	0.0	0.0	83.7
甲状腺	C73	542	20.5	33.0	0.4	0.0	46.1
悪性リンパ腫	C81-C85 C96	832	5.9	21.0	0.0	0.7	72.4
多発性骨髄腫	C88-C90	190	3.7	32.1	0.0	0.0	64.2
白血病	C91-C95	269	4.1	33.1	0.0	0.4	62.5

\*1 DC0を除く総数

表4. 発見経緯 (%) : 部位別

B. 上皮内がんを含む

広島県 2014年

部位	ICD-10	集計対象数 *1	がん検診・健康診断・人間ドック	他疾患の経過観察中	剖検発見	その他	不明
全部位	C00-C96 D00-D09	25,897	14.4	27.8	0.1	0.6	57.1
食道	C15 D001	627	10.8	23.8	0.0	0.5	64.9
大腸 (結腸・直腸) *2	C18-C20 D010-D012	4,980	17.7	24.3	0.1	0.3	57.7
結腸 *2	C18 D010	3,368	17.7	26.0	0.1	0.3	55.9
直腸 *2	C19-C20 D011-D012	1,612	17.7	20.6	0.2	0.1	61.3
肺	C33-C34 D021-D022	2,697	12.4	41.0	0.0	1.6	45.1
皮膚	C43-C44 D030-D049	704	0.1	5.5	0.0	0.0	94.3
乳房	C50 D05	2,214	24.0	12.8	0.0	0.2	63.0
乳房 (女性のみ)	C50 D05	2,197	24.2	12.7	0.0	0.2	62.9
子宮	C53-C55 D06	1,153	31.1	21.2	0.0	0.2	47.4
子宮頸部	C53 D06	844	39.1	23.5	0.0	0.0	37.4
膀胱	C67 D090	1,259	2.4	17.6	0.0	0.2	79.9

\*1 D00を除く総数

\*2 粘膜がんを含む



表5-1. 進展度・総合 (%) : 部位別

A. 上皮内がんを除く

広島県

2014年

部位	I0D-10	集計対象数 *1	限局	リンパ節 転移	隣接臓器 浸潤	遠隔転移	不明	領域 *2
全部位	C00-C96	21,965	47.7	8.8	13.4	16.4	13.7	22.2
口腔・咽頭	C00-C14	491	37.9	14.1	28.1	4.9	15.1	42.2
食道	C15	547	34.0	10.1	24.3	17.4	14.3	34.4
胃	C16	3,545	59.8	8.4	7.1	14.2	10.6	15.5
大腸 (結腸・直腸)	C18-C20	3,382	44.5	16.0	11.9	15.8	11.8	27.9
結腸	C18	2,172	44.2	15.0	13.2	16.2	11.5	28.1
直腸	C19-C20	1,210	45.0	17.9	9.8	15.1	12.2	27.6
肝および肝内胆管	C22	1,234	64.3	0.9	10.0	8.6	16.2	10.9
胆のう・胆管	C23-C24	455	17.6	1.1	41.1	25.3	14.9	42.2
膵臓	C25	848	9.0	1.7	36.3	41.2	11.9	38.0
喉頭	C32	108	71.3	9.3	8.3	1.9	9.3	17.6
肺	C33-C34	2,725	37.2	9.3	9.2	35.1	9.2	18.5
皮膚	C43-C44	515	81.9	1.0	3.5	0.2	13.4	4.5
乳房	C50	1,965	56.7	20.9	4.4	6.5	11.5	25.3
乳房 (女性のみ)	C50	1,947	56.9	21.0	4.4	6.4	11.3	25.4
子宮	C53-C55	504	55.8	3.2	20.0	9.7	11.1	23.2
子宮頸部	C53	191	41.4	3.1	31.4	9.9	13.6	34.6
子宮体部	C54	306	66.0	3.3	13.4	9.2	8.2	16.7
卵巣	C56	204	17.6	0.5	43.1	22.1	16.7	43.6
前立腺	C61	1,928	57.5	0.7	17.0	10.2	14.6	17.7
膀胱	C67	616	68.7	1.0	9.7	3.6	17.0	10.7
腎・尿路 (膀胱除く)	C64-C66 C68	674	54.2	1.3	24.5	9.1	11.0	25.8
脳・中枢神経系	C70-C72	128	54.7	0.0	8.6	1.6	35.2	8.6
甲状腺	C73	544	44.5	32.9	8.6	2.6	11.4	41.5
悪性リンパ腫	C81-C85 C96	799	25.2	0.1	11.4	35.3	28.0	11.5
多発性骨髄腫	C88-C90	3	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
白血病	C91-C95	5	0.0	0.0	0.0	60.0	40.0	0.0

\*1 D00, 777 : 該当せずを除く総数

\*2 リンパ節転移+隣接臓器浸潤

表5-1. 進展度・総合 (%) : 部位別

B. 上皮内がんを含む

広島県 2014年

部位	ICD-10	集計対象数 *1	上皮内	限局	リンパ節 転移	隣接臓器 浸潤	遠隔転移	不明	領域 *2
全部位		25,583	14.1	40.9	7.5	11.5	14.1	11.8	19.1
食道	C00-C96 D00-D09 C15 D001	631	13.2	29.5	8.7	21.1	15.1	12.5	29.8
大腸 (結腸・直腸) *3	C18-C20 D010-D012	4,995	32.2	30.1	10.8	8.1	10.7	8.0	18.9
結腸 *3	C18 D010	3,378	35.6	28.4	9.6	8.5	10.4	7.5	18.1
直腸 *3	C19-C20 D011-D012	1,617	25.0	33.7	13.4	7.3	11.3	9.3	20.7
肺	C33-C34 D021-D022	2,726	0.0	37.2	9.3	9.2	35.1	9.2	18.5
皮膚	C43-C44 D030-D049	705	27.0	59.9	0.7	2.6	0.1	9.8	3.3
乳房	C50 D05	2,222	11.5	50.2	18.5	3.9	5.7	10.3	22.4
乳房 (女性のみ)	C50 D05	2,203	11.5	50.2	18.6	3.9	5.7	10.1	22.5
子宮	C53-C55 D06	1,160	56.4	24.2	1.4	8.7	4.2	5.0	10.1
子宮頸部	C53 D06	847	77.2	9.3	0.7	7.1	2.2	3.3	7.8
膀胱	C67 D090	1,265	51.2	33.4	0.5	4.7	1.7	8.4	5.2

\*1 D00、777 : 該当せずを除く総数

\*2 リンパ節転移+隣接臓器浸潤

\*3 粘膜がんを含む

表5-2. 進展度・治療前 (%) : 部位別

A. 上皮内がんを除く

広島県 2014年

部位	I0D-10	集計対象数 *1	限局	リンパ節 転移	隣接臓器 浸潤	遠隔転移	不明	領域 *2
全部位	C00-C96	21,965	47.3	8.7	13.4	16.2	14.4	22.1
口腔・咽頭	C00-C14	491	37.1	13.8	28.3	4.9	15.9	42.2
食道	C15	547	34.0	10.1	24.3	17.4	14.1	34.4
胃	C16	3,545	59.7	8.5	7.1	14.0	10.8	15.5
大腸 (結腸・直腸)	C18-C20	3,382	44.2	15.9	12.0	15.8	12.0	27.9
結腸	C18	2,172	44.0	14.8	13.2	16.2	11.7	28.0
直腸	C19-C20	1,210	44.7	17.9	9.9	15.0	12.5	27.9
肝および肝内胆管	C22	1,234	63.7	0.9	10.0	8.5	16.9	10.9
胆のう・胆管	C23-C24	455	17.8	1.1	40.9	24.8	15.4	42.0
膵臓	C25	848	8.7	1.7	36.2	40.9	12.5	37.9
喉頭	C32	108	70.4	9.3	8.3	1.9	10.2	17.6
肺	C33-C34	2,725	37.0	9.2	9.1	34.8	9.9	18.3
皮膚	C43-C44	515	81.4	1.0	3.3	0.2	14.0	4.3
乳房	C50	1,965	56.0	20.1	4.5	6.5	13.0	24.6
乳房 (女性のみ)	C50	1,947	56.1	20.2	4.5	6.4	12.8	24.7
子宮	C53-C55	504	55.0	3.0	20.0	9.7	12.3	23.0
子宮頸部	C53	191	40.3	3.1	31.4	9.9	15.2	34.6
子宮体部	C54	306	65.4	2.9	13.4	9.2	9.2	16.3
卵巣	C56	204	17.6	0.5	41.7	20.6	19.6	42.2
前立腺	C61	1,928	56.8	0.7	16.8	9.7	16.0	17.5
膀胱	C67	616	68.2	1.0	10.1	3.6	16.9	11.0
腎・尿路 (膀胱除く)	C64-C66 C68	674	53.9	1.3	24.2	8.9	11.7	25.5
脳・中枢神経系	C70-C72	128	54.7	0.0	8.6	1.6	35.2	8.6
甲状腺	C73	544	43.8	32.9	8.6	2.4	12.3	41.5
悪性リンパ腫	C81-C85 C96	799	24.9	0.1	11.4	34.9	28.7	11.5
多発性骨髄腫	C88-C90	2	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
白血病	C91-C95	5	0.0	0.0	0.0	60.0	40.0	0.0

\*1 D00、777 : 該当せずを除く総数

\*2 リンパ節転移+隣接臓器浸潤

表5-2. 進展度・治療前 (%) : 部位別

B. 上皮内がんを含む

広島県 2014年

部位	ICD-10	集計対象数 *1	上皮内	限局	リンパ節 転移	隣接臓器 浸潤	遠隔転移	不明	領域 *2
全部位	C00-C96 D00-D09	25,583	14.1	40.6	7.4	11.5	13.9	12.4	19.0
食道	C15 D001	631	13.3	29.5	8.7	21.1	15.1	12.4	29.8
大腸 (結腸・直腸) *3	C18-C20 D010-D012	4,995	32.3	30.0	10.8	8.1	10.7	8.2	18.9
結腸 *3	C18 D010	3,378	35.7	28.3	9.5	8.5	10.4	7.6	18.0
直腸 *3	C19-C20 D011-D012	1,617	25.1	33.5	13.4	7.4	11.2	9.4	20.8
肺	C33-C34 D021-D022	2,726	0.0	36.9	9.2	9.1	34.8	9.9	18.3
皮膚	C43-C44 D030-D049	705	27.0	59.4	0.7	2.4	0.1	10.4	3.1
乳房	C50 D05	2,222	11.4	49.5	17.8	4.0	5.7	11.6	21.7
乳房 (女性のみ)	C50 D05	2,203	11.5	49.6	17.9	3.9	5.7	11.4	21.8
子宮	C53-C55 D06	1,160	56.3	23.9	1.3	8.7	4.2	5.6	10.0
子宮頸部	C53 D06	847	77.1	9.1	0.7	7.1	2.2	3.8	7.8
膀胱	C67 D090	1,265	51.4	33.2	0.5	4.9	1.7	8.3	5.4

\*1 D00、777 : 該当せずを除く総数

\*2 リンパ節転移+隣接臓器浸潤

\*3 粘膜がんを含む

表5-3. 進展度・術後 (%) : 部位別

A. 上皮内がんを除く

広島県 2014年

部位	I CD-10	集計対象数 *1	限局	リンパ節 転移	隣接臓器 浸潤	遠隔転移	不明	領域 *2
全部位	C00-C96	15,671	54.3	10.1	12.3	5.9	17.4	22.4
口腔・咽頭	C00-C14	298	44.3	9.1	18.8	3.0	24.8	27.9
食道	C15	327	43.7	10.7	19.0	4.9	21.7	29.7
胃	C16	3,008	66.7	9.0	7.0	6.5	10.8	16.0
大腸 (結腸・直腸)	C18-C20	3,101	46.9	16.8	12.3	12.3	11.7	29.1
結腸	C18	1,999	46.3	15.6	13.5	13.0	11.6	29.1
直腸	C19-C20	1,102	47.9	19.1	10.1	11.1	11.9	29.1
肝および肝内胆管	C22	585	61.9	0.5	6.2	1.7	29.7	6.7
胆のう・胆管	C23-C24	294	21.4	0.7	49.7	10.5	17.7	50.3
膵臓	C25	414	13.5	2.2	48.8	15.7	19.8	51.0
喉頭	C32	40	45.0	15.0	10.0	2.5	27.5	25.0
肺	C33-C34	1,363	61.8	9.5	7.3	4.2	17.2	16.9
皮膚	C43-C44	474	81.6	1.1	3.2	0.2	13.9	4.2
乳房	C50	1,732	60.1	20.7	3.8	1.3	14.1	24.5
乳房 (女性のみ)	C50	1,717	60.2	20.8	3.8	1.3	13.9	24.6
子宮	C53-C55	413	63.9	3.6	14.3	4.1	14.0	17.9
子宮頸部	C53	126	57.1	4.8	17.5	0.8	19.8	22.2
子宮体部	C54	282	68.1	3.2	13.1	5.7	9.9	16.3
卵巣	C56	172	20.3	0.6	43.6	13.4	22.1	44.2
前立腺	C61	1,005	52.8	0.5	14.4	0.9	31.3	14.9
膀胱	C67	565	72.0	0.9	8.1	2.1	16.8	9.0
腎・尿路 (膀胱除く)	C64-C66 C68	566	57.8	0.7	26.0	3.2	12.4	26.7
脳・中枢神経系	C70-C72	102	53.9	0.0	9.8	2.0	34.3	9.8
甲状腺	C73	508	43.3	34.4	7.9	1.8	12.6	42.3
悪性リンパ腫	C81-C85 C96	201	15.9	0.0	6.5	3.5	74.1	6.5
多発性骨髄腫	C88-C90	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
白血病	C91-C95	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

\*1 D00、660 : 手術なし・術前治療後、777 : 該当せずを除く総数

\*2 リンパ節転移+隣接臓器浸潤

表5-3. 進展度・術後 (%) : 部位別

B. 上皮内がんを含む

広島県 2014年

部位	ICD-10	集計対象数 *1	上皮内	限局	リンパ節 転移	隣接臓器 浸潤	遠隔転移	不明	領域 *2
全部位	C00-C96 D00-D09	19,156	18.1	44.5	8.3	10.0	4.8	14.3	18.3
食道	C15 D001	400	18.0	35.8	8.8	15.5	4.0	18.0	24.3
大腸 (結腸・直腸) *3	C18-C20 D010-D012	4,714	34.1	30.8	11.1	8.1	8.1	7.8	19.2
結腸 *3	C18 D010	3,205	37.5	28.9	9.7	8.4	8.1	7.3	18.2
直腸 *3	C19-C20 D011-D012	1,509	26.8	35.0	13.9	7.4	8.1	8.8	21.3
肺	C33-C34 D021-D022	1,364	0.1	61.7	9.5	7.3	4.2	17.2	16.9
皮膚	C43-C44 D030-D049	649	26.8	59.6	0.8	2.3	0.2	10.3	3.1
乳房	C50 D05	1,975	12.1	52.7	18.1	3.3	1.2	12.6	21.5
乳房 (女性のみ)	C50 D05	1,959	12.1	52.8	18.2	3.3	1.2	12.4	21.5
子宮	C53-C55 D06	1,027	59.4	25.7	1.5	5.7	1.7	6.0	7.2
子宮頸部	C53 D06	740	82.4	9.7	0.8	3.0	0.1	3.9	3.8
膀胱	C67 D090	1,192	52.5	34.1	0.4	3.9	1.0	8.1	4.3

\*1 D00、660 : 手術なし・術前治療後、777 : 該当せずを除く総数

\*2 リンパ節転移+隣接臓器浸潤

\*3 粘膜がんを含む

表6. 受療割合 (%) : 部位別

A. 上皮内がんを除く

広島県 2014年

部位	I0D-10	集計対象数 *1	外科的 治療	鏡視下 治療	内視鏡的 治療	放射線 療法	化学 療法	内分泌 療法	その他 の治療	特異的治療なし ・不明
全部位	C00-C96	22,465	29.3	16.5	11.2	9.3	27.6	8.4	3.6	28.8
口腔・咽頭	C00-C14	491	41.8	0.0	1.2	40.7	37.1	0.0	1.6	27.7
食道	C15	547	18.8	5.1	21.6	33.1	43.1	0.0	1.1	26.5
胃	C16	3,545	26.4	13.1	36.2	0.4	18.0	0.0	1.1	23.2
大腸 (結腸・直腸)	C18-C20	3,382	32.7	36.9	13.3	2.3	25.9	0.0	0.7	23.8
結腸	C18	2,172	34.1	36.8	12.6	0.6	23.9	0.0	0.6	24.7
直腸	C19-C20	1,210	30.2	37.0	14.7	5.4	29.6	0.0	0.7	22.3
肝および肝内胆管	C22	1,234	20.4	5.3	0.8	4.2	31.2	0.1	33.6	41.3
胆のう・胆管	C23-C24	455	30.5	6.2	20.4	1.8	27.0	0.0	4.8	39.1
膵臓	C25	848	25.5	1.7	13.9	5.3	48.7	0.2	3.9	37.4
喉頭	C32	108	21.3	0.0	2.8	67.6	42.6	0.0	3.7	21.3
肺	C33-C34	2,725	7.3	36.3	0.2	15.9	37.4	0.0	2.2	32.3
皮膚	C43-C44	515	67.2	0.0	0.2	2.5	1.9	0.0	2.1	31.1
乳房	C50	1,965	72.7	0.1	0.1	25.0	36.1	44.9	1.0	19.2
乳房 (女性のみの)	C50	1,947	73.0	0.1	0.1	25.2	36.3	45.0	1.0	19.0
子宮	C53-C55	504	64.5	3.6	0.2	14.1	40.1	1.4	0.4	19.8
子宮頸部	C53	191	49.2	1.0	0.5	33.5	41.4	0.0	0.0	22.0
子宮体部	C54	306	75.5	5.2	0.0	2.3	40.2	2.3	0.7	15.4
卵巣	C56	204	64.2	1.0	1.0	1.0	57.4	0.5	1.0	28.9
前立腺	C61	1,928	8.6	23.9	1.9	8.9	1.5	42.7	0.7	27.0
膀胱	C67	616	9.9	3.7	55.2	4.2	21.9	0.5	7.5	36.0
腎・尿路 (膀胱除く)	C64-C66 C68	674	19.7	49.4	1.3	2.7	13.6	0.0	1.9	26.9
脳・中枢神経系	C70-C72	128	57.0	0.0	0.0	39.8	44.5	0.0	1.6	49.2
甲状腺	C73	544	75.0	0.0	0.0	1.3	0.9	29.2	1.5	25.0
悪性リンパ腫	C81-C85 C96	839	6.2	1.3	0.5	6.8	52.3	0.4	3.6	41.2
多発性骨髄腫	C88-C90	195	0.0	0.5	0.0	3.1	49.2	0.5	5.1	48.7
白血病	C91-C95	270	0.0	0.4	0.0	2.2	73.3	0.4	13.0	29.6

\*1 D00を除く総数

重複を含むため合計は100%にならない



表6. 受療割合(%) : 部位別

B. 上皮内がんを含む

広島県 2014年

部位	ICD-10	集計対象数 *1	外科的 治療	鏡下 治療	内視鏡的 治療	放射線 療法	化学 療法	内分泌 療法	その他 の治療	特異的治療なし ・不明
全部位	C00-C96 D00-D09	26,083	29.0	14.6	15.9	8.4	24.1	7.4	3.5	28.1
食道	C15 D001	631	16.5	4.4	26.8	28.8	37.6	0.0	1.0	28.1
大腸(結腸・直腸) *2	C18-C20 D010-D012	4,995	22.7	25.9	33.5	1.6	17.6	0.0	0.5	22.7
結腸 *2	C18 D010	3,378	22.5	24.8	35.2	0.4	15.4	0.0	0.5	23.0
直腸 *2	C19-C20 D011-D012	1,617	23.3	28.3	29.9	4.0	22.1	0.0	0.6	22.0
肺	C33-C34 D021-D022	2,726	7.3	36.3	0.2	15.9	37.4	0.0	2.2	32.3
皮膚	C43-C44 D030-D049	705	66.4	0.0	0.1	1.8	1.4	0.0	2.0	32.1
乳房	C50 D05	2,222	74.4	0.0	0.0	25.6	32.0	42.0	1.0	18.3
乳房(女性のみ)	C50 D05	2,203	74.6	0.0	0.0	25.8	32.2	42.1	1.0	18.1
子宮	C53-C55 D06	1,160	74.7	2.2	0.8	6.1	17.4	0.6	1.7	15.9
子宮頸部	C53 D06	847	75.0	1.1	1.1	7.6	9.3	0.0	2.1	15.0
膀胱	C67 D090	1,265	6.6	2.0	54.1	2.1	16.1	0.5	7.9	38.6

\*1 D00を除く総数

\*2 粘膜がんを含む

重複を含むため合計は100%にならない

表7. 観血的治療の範囲 (%) : 部位別  
A. 上皮内がんを除く

広島県 2014年

部位	ICD-10	外科・鏡視下 ・内視鏡治療数 *1	原発巣切除	姑息的な観血的治療	不明
全部位	C00-C96	12, 229	84.6	13.9	1.5
口腔・咽頭	C00-C14	211	77.7	21.3	0.9
食道	C15	244	79.9	18.9	1.2
胃	C16	2, 563	87.8	10.2	2.0
大腸 (結腸・直腸)	C18-C20	2, 563	82.3	16.5	1.2
結腸	C18	1, 654	82.0	16.7	1.3
直腸	C19-C20	909	82.8	16.2	1.0
肝および肝内胆管	C22	326	88.7	9.8	1.5
胆のう・胆管	C23-C24	237	57.8	41.4	0.8
膵臓	C25	328	56.4	42.7	0.9
喉頭	C32	26	73.1	26.9	0.0
肺	C33-C34	1, 089	91.1	7.8	1.1
皮膚	C43-C44	347	96.3	3.7	0.0
乳房	C50	1, 431	92.9	4.3	2.7
乳房 (女性ののみ)	C50	1, 423	93.0	4.3	2.7
子宮	C53-C55	341	89.1	10.3	0.6
子宮頸部	C53	96	88.5	10.4	1.0
子宮体部	C54	245	89.4	10.2	0.4
卵巣	C56	132	58.3	38.6	3.0
前立腺	C61	660	88.6	10.0	1.4
膀胱	C67	387	76.7	21.4	1.8
腎・尿路 (膀胱除く)	C64-C66 C68	470	90.2	9.4	0.4
脳・中枢神経系	C70-C72	73	27.4	67.1	5.5
甲状腺	C73	408	92.6	6.6	0.7
悪性リンパ腫	C81-C85 C96	65	41.5	58.5	0.0
多発性骨髄腫	C88-C90	1	0.0	100.0	0.0
白血病	C91-C95	1	100.0	0.0	0.0

\*1 外科的、鏡視下、内視鏡的治療のいずれかが 1 : あり

表7. 観血的治療の範囲 (%) : 部位別

B. 上皮内がんを含む

広島県

2014年

部位	ICD-10	外科・鏡視下 ・内視鏡治療数 *1	原発巣切除	姑息的な観血的治療	不明
全部位	C00-C96 D00-D09	14,934	86.7	11.9	1.4
食道	C15 D001	295	82.0	16.9	1.0
大腸 (結腸・直腸) *2	C18-C20 D010-D012	3,850	87.4	11.5	1.1
結腸 *2	C18 D010	2,619	87.7	11.1	1.2
直腸 *2	C19-C20 D011-D012	1,231	86.8	12.4	0.8
肺	C33-C34 D021-D022	1,090	91.1	7.8	1.1
皮膚	C43-C44 D030-D049	469	96.8	3.2	0.0
乳房	C50 D05	1,655	93.1	4.4	2.5
乳房 (女性のみ)	C50 D05	1,646	93.1	4.3	2.6
子宮	C53-C55 D06	896	93.8	5.6	0.7
子宮頸部	C53 D06	651	95.4	3.8	0.8
膀胱	C67 D090	753	84.5	13.3	2.3

\*1 外科的、鏡視下、内視鏡的治療のいずれかが 1 : あり

\*2 粘膜がんを含む

表8. 精度指標 : 部位別、性別

A. 上皮内がんを除く

部位	ICD-10	死亡/罹患比 (MI比)		死亡情報で初めて把握された症例 DCN (%)		死亡情報のみの症例 DCO (%)		病理学的裏付けのある症例 MV (%)		組織学的裏付けのある症例 HV (%)					
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
		総数	総数	男	女	男	女	男	女	男	女				
全部位	C00-C96	0.37	0.35	0.36	6.0	4.6	2.0	3.7	2.7	89.6	87.4	88.7	86.6	84.5	85.7
口腔・咽頭	C00-C14	0.30	0.33	0.31	6.4	3.0	1.2	3.8	2.0	95.9	90.4	94.2	94.8	90.4	93.4
食道	C15	0.36	0.53	0.39	5.2	3.4	2.5	1.3	2.3	94.8	92.2	94.5	94.6	92.2	94.3
胃	C16	0.28	0.35	0.31	5.3	3.3	1.5	3.9	2.3	97.0	93.7	95.9	97.0	93.6	95.8
大腸 (結腸・直腸)	C18-C20	0.26	0.31	0.28	5.2	3.6	1.6	3.5	2.4	95.8	91.4	93.9	95.8	91.3	93.8
結腸	C18	0.29	0.32	0.30	5.8	4.0	1.5	3.7	2.6	95.2	90.2	92.8	95.1	90.0	92.7
直腸	C19-C20	0.22	0.30	0.25	3.7	2.8	1.6	3.0	2.1	96.8	94.3	95.9	96.8	94.3	95.9
肝および肝内胆管	C22	0.66	0.73	0.68	14.4	9.6	3.1	8.9	4.9	50.7	38.5	46.8	50.2	37.7	46.2
胆のう・胆管	C23-C24	0.72	0.81	0.77	16.5	11.5	2.5	7.4	5.0	81.0	65.7	73.3	67.1	54.1	60.5
膵臓	C25	0.87	0.84	0.86	15.0	12.2	2.6	7.4	4.9	69.7	61.4	65.7	57.1	47.8	52.6
喉頭	C32	0.15	0.38	0.17	0.0	0.9	1.0	0.0	0.9	94.1	87.5	93.6	94.1	87.5	93.6
肺	C33-C34	0.61	0.49	0.57	6.8	7.6	4.0	5.6	4.5	83.3	80.3	82.3	71.6	70.1	71.1
皮膚	C43-C44	0.06	0.08	0.07	1.2	1.0	0.8	1.2	1.0	99.2	98.8	99.0	99.2	98.8	99.0
乳房	C50	0.11	0.14	0.14	0.0	1.5	0.0	1.0	1.0	88.9	96.8	96.8	88.9	96.6	96.6
子宮	C53-C55	-	0.23	0.23	-	2.9	-	1.8	1.8	-	94.5	94.5	-	93.2	93.2
子宮頸部	C53	-	0.28	0.28	-	2.1	-	1.5	1.5	-	95.9	95.9	-	92.3	92.3
子宮体部	C54	-	0.11	0.11	-	1.0	-	0.6	0.6	-	97.1	97.1	-	97.1	97.1
卵巣	C56	-	0.40	0.40	-	3.4	-	1.9	1.9	-	92.8	92.8	-	86.1	86.1
前立腺	C61	0.13	-	0.13	1.7	1.7	1.2	-	1.2	95.2	-	95.2	95.2	-	95.2
膀胱	C67	0.29	0.34	0.30	6.4	2.2	1.0	4.3	1.8	95.7	88.6	94.1	92.8	84.3	90.9
腎・尿路 (膀胱除く)	C64-C66 C68	0.27	0.31	0.28	9.8	4.3	0.9	7.3	3.2	90.9	80.8	87.4	88.0	76.3	83.9
脳・中枢神経系	C70-C72	0.43	0.41	0.42	25.3	17.6	6.0	13.3	9.9	80.6	60.0	69.7	80.6	58.7	69.0
甲状腺	C73	0.12	0.06	0.07	1.5	1.3	0.7	1.2	1.1	99.3	97.8	98.2	94.2	94.2	94.2
悪性リンパ腫	C81-C85 C96	0.36	0.31	0.34	3.5	3.4	1.8	1.3	1.5	94.7	92.8	93.8	92.7	90.5	91.7
多発性骨髄腫	C88-C90	0.42	0.54	0.47	5.4	3.0	0.0	3.3	1.5	93.4	92.4	92.9	92.5	90.2	91.4
白血病	C91-C95	0.66	0.61	0.64	7.0	6.7	4.1	7.0	5.3	98.2	97.4	97.9	86.5	85.1	86.0

表8. 精度指標 : 部位別、性別

B. 上皮内がんを含む

広島県 2014年

部位	ICD-10			死亡/罹患比 (MI比)			死亡情報で初めて把握された症例 DCN (%)			死亡情報のみの症例 DCO (%)			病理学的裏付けのある症例 MV (%)			組織学的裏付けのある症例 HV (%)		
	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数
全部位	0.32	0.29	0.31	3.1	5.0	4.0	1.8	3.1	2.3	90.9	89.4	90.2	88.1	86.8	87.6			
食道	0.32	0.40	0.34	2.8	3.9	3.0	2.2	1.0	2.0	95.4	94.2	95.2	95.2	94.2	95.0			
大腸 (結腸・直腸) *1	0.17	0.23	0.19	1.6	3.8	2.5	1.0	2.5	1.6	97.3	93.7	95.8	97.2	93.6	95.8			
結腸 *1	0.17	0.23	0.20	1.4	4.2	2.6	0.9	2.6	1.7	97.1	93.0	95.3	97.0	92.9	95.2			
直腸 *1	0.16	0.23	0.19	1.8	2.8	2.1	1.2	2.3	1.6	97.6	95.6	96.9	97.6	95.6	96.9			
肺	0.61	0.49	0.57	6.8	9.2	7.6	4.0	5.6	4.5	83.3	80.3	82.3	71.6	70.1	71.1			
皮膚	0.05	0.06	0.05	0.6	0.8	0.7	0.6	0.8	0.7	99.4	99.2	99.3	99.4	99.2	99.3			
乳房	0.11	0.13	0.13	0.0	1.3	1.3	0.0	0.9	0.9	89.5	97.2	97.1	89.5	96.8	96.7			
子宮	-	0.10	0.10	-	1.3	1.3	-	0.8	0.8	-	97.6	97.6	-	96.8	96.8			
子宮頸部	-	0.06	0.06	-	0.5	0.5	-	0.4	0.4	-	99.1	99.1	-	98.0	98.0			
膀胱	0.14	0.19	0.15	0.5	3.6	1.1	0.5	2.4	0.9	98.0	93.6	97.1	95.7	91.2	94.8			

\*1 粘膜がんを含む

表9. 死亡数、死亡割合(%)、粗死亡率(人口10万対)、年齢調整死亡率(人口10万対)及び累積死亡率(人口100対) : 部位別、性別 広島県 2014年

部位	ICD-10	死亡数												死亡割合						粗死亡率						年齢調整死亡率						累積死亡率(0-74歳)					
		男						女						男			女			男			女			男			女								
		総数	男	女	割合	調整	累積	総数	男	女	割合	調整	累積	総数	男	女	割合	調整	累積	総数	男	女	割合	調整	累積	総数	男	女	割合	調整	累積						
全部位	C00-C97	8,295	4,901	3,394	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	296.8	166.6	83.3	118.6	112.9	58.7	81.9	11.7	6.0	8.7	11.7	6.0	8.7	11.7	6.0	8.7	11.7	6.0	8.7								
口腔・咽頭	C00-C14	153	102	51	2.1	1.5	1.8	7.6	3.5	5.5	3.7	1.0	2.3	2.6	0.8	1.6	0.3	0.1	0.2	0.3	0.1	0.2	0.3	0.1	0.2	0.3	0.1	0.2	0.3								
食道	C15	216	175	41	3.6	1.2	2.6	13.0	2.8	7.7	6.6	1.3	3.7	4.6	0.9	2.6	0.6	0.1	0.3	0.6	0.1	0.3	0.6	0.1	0.3	0.6	0.1	0.3	0.6								
胃	C16	1,110	693	417	14.1	12.3	13.4	51.4	28.8	39.7	23.6	9.7	15.7	16.0	6.7	10.8	1.7	0.6	1.2	1.7	0.6	1.2	1.7	0.6	1.2	1.7	0.6	1.2	1.7								
大腸(結腸・直腸)	C18-C20	980	511	469	10.4	13.8	11.8	37.9	32.4	35.1	18.4	11.0	14.3	12.6	7.7	10.0	1.4	0.8	1.1	1.4	0.8	1.1	1.4	0.8	1.1	1.4	0.8	1.1	1.4								
結腸	C18	675	335	340	6.8	10.0	8.1	24.9	23.5	24.1	11.5	7.6	9.3	7.7	5.3	6.4	0.8	0.5	0.7	0.8	0.5	0.7	0.8	0.5	0.7	0.8	0.5	0.7	0.8								
直腸	C19-C20	305	176	129	3.6	3.8	3.7	13.1	8.9	10.9	6.9	3.4	5.0	4.9	2.4	3.6	0.6	0.2	0.4	0.6	0.2	0.4	0.6	0.2	0.4	0.6	0.2	0.4	0.6								
肝および肝内胆管	C22	882	579	303	11.8	8.9	10.6	43.0	20.9	31.6	20.3	6.5	12.6	13.6	4.2	8.4	1.4	0.4	0.9	1.4	0.4	0.9	1.4	0.4	0.9	1.4	0.4	0.9	1.4	0.4							
胆のう・胆管	C23-C24	367	170	197	3.5	5.8	4.4	12.6	13.6	13.1	5.3	3.6	4.3	3.6	2.4	2.9	0.3	0.2	0.3	0.3	0.2	0.3	0.3	0.2	0.3	0.3	0.2	0.3	0.3	0.2							
膵臓	C25	764	399	365	8.1	10.8	9.2	29.6	25.2	27.3	14.1	7.9	10.7	9.7	5.4	7.4	1.1	0.6	0.8	1.1	0.6	0.8	1.1	0.6	0.8	1.1	0.6	0.8	1.1	0.6							
喉頭	C32	18	15	3	0.3	0.1	0.2	1.1	0.2	0.6	0.6	0.1	0.3	0.4	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
肺	C33-C34	1,622	1,162	460	23.7	13.6	19.6	86.2	31.8	58.0	38.3	10.6	22.4	25.4	7.3	15.1	2.6	0.8	1.7	2.6	0.8	1.7	2.6	0.8	1.7	2.6	0.8	1.7	2.6	0.8							
皮膚	C43-C44	38	17	21	0.3	0.6	0.5	1.3	1.5	1.4	0.6	0.4	0.5	0.4	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
乳房	C50	283	2	281	0.0	8.3	3.4	0.1	19.4	10.1	0.1	10.4	5.5	0.1	7.8	4.1	0.0	0.8	0.4	0.0	0.8	0.4	0.0	0.8	0.4	0.0	0.8	0.4	0.0	0.8							
子宮	C53-C55	-	-	120	-	3.5	-	-	8.3	-	-	4.2	-	-	3.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
子宮頸部	C53	-	-	54	-	1.6	-	-	3.7	-	-	2.3	-	-	1.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
子宮体部	C54	-	-	35	-	1.0	-	-	2.4	-	-	1.1	-	-	0.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
卵巣	C56	-	-	84	-	2.5	-	-	5.8	-	-	2.7	-	-	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
前立腺	C61	-	247	-	5.0	-	-	18.3	-	-	6.8	-	-	4.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
膀胱	C67	187	140	47	2.9	1.4	2.3	10.4	3.2	6.7	4.1	0.8	2.2	2.7	0.6	1.4	0.2	0.0	0.1	0.2	0.0	0.1	0.2	0.0	0.1	0.2	0.0	0.1	0.2	0.0							
腎・尿路(膀胱除く)	C64-C66 C68	198	121	77	2.5	2.3	2.4	9.0	5.3	7.1	4.1	1.4	2.6	2.7	0.9	1.7	0.3	0.1	0.2	0.3	0.1	0.2	0.3	0.1	0.2	0.3	0.1	0.2	0.3	0.1							
脳・中枢神経系	C70-C72	60	29	31	0.6	0.9	0.7	2.2	2.1	2.1	1.5	1.1	1.3	1.2	0.8	1.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1							
甲状腺	C73	40	16	24	0.3	0.7	0.5	1.2	1.7	1.4	0.6	0.4	0.5	0.4	0.3	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
悪性リンパ腫	C81-C85 C96	287	162	125	3.3	3.7	3.5	12.0	8.6	10.3	5.1	2.9	3.7	3.3	2.1	2.5	0.3	0.2	0.2	0.3	0.2	0.2	0.3	0.2	0.2	0.3	0.2	0.2	0.3	0.2							
多発性骨髄腫	C88-C90	94	44	50	0.9	1.5	1.1	3.3	3.5	3.4	1.3	1.2	1.2	0.7	0.8	0.7	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0							
白血病	C91-C95	182	113	69	2.3	2.0	2.2	8.4	4.8	6.5	4.2	1.8	2.9	3.1	1.3	2.1	0.3	0.1	0.2	0.3	0.1	0.2	0.3	0.1	0.2	0.3	0.1	0.2	0.3	0.1							







表12. 5年相対生存率(%) : 部位別、性別

広島県 2009年

部位	男				女				総数	
	ICD-10	集計対象数 *1	5年相対生存率	標準誤差	集計対象数 *1	5年相対生存率	標準誤差	集計対象数 *1	5年相対生存率	標準誤差
全部位		9,049	63.5	0.6	6,987	68.6	0.6	16,036	65.8	0.5
口腔・咽頭	C00-C06	189	66.7	4.0	110	72.8	5.3	299	68.9	3.2
食道	C15	282	42.3	3.3	60	41.4	7.3	342	42.1	3.0
胃	C16	1,760	69.9	1.4	820	63.0	2.0	2,580	67.7	1.2
大腸(結腸・直腸)	C18-C20	1,290	73.8	1.6	1,078	75.5	1.7	2,368	74.6	1.1
結腸	C18	755	74.1	2.1	749	73.2	2.1	1,504	73.7	1.5
直腸	C19-C20	535	73.3	2.4	329	80.6	2.8	864	76.1	1.8
肝および肝内胆管	C22	678	37.2	2.1	336	34.3	2.9	1,014	36.3	1.7
胆のう・胆管	C23-C24	168	31.8	4.2	171	28.2	4.0	339	30.0	2.9
膵臓	C25	282	12.3	2.1	263	9.8	1.9	545	11.0	1.4
喉頭	C32	77	68.0	6.8	4	51.8	33.5	81	67.7	6.7
肺	C33-C34	1,280	30.6	1.5	601	49.4	2.2	1,881	36.7	1.2
皮膚	C43-C44	143	97.1	5.4	181	92.3	4.8	324	95.8	3.6
乳房	C50	10	89.1	16.3	1,465	91.7	1.0	1,475	91.8	1.0
子宮	C53-C55	-	-	-	420	82.2	2.1	420	82.2	2.1
子宮頸部	C53	-	-	-	193	80.4	3.1	193	80.4	3.1
子宮体部	C54	-	-	-	225	84.3	2.7	225	84.3	2.7
卵巣	C56	-	-	-	175	69.6	3.8	175	69.6	3.8
前立腺	C61	1,455	98.3	1.3	-	-	-	1,455	98.3	1.3
膀胱	C67	300	83.6	3.4	105	59.0	6.0	405	77.9	3.0
腎・尿路(膀胱除く)	C64-C66 C68	249	72.4	3.6	144	65.4	4.7	393	69.8	2.8
脳・中枢神経系	C70-C72	43	31.9	7.4	43	23.6	6.6	86	27.7	5.0
甲状腺	C73	86	95.5	3.6	358	98.5	1.2	444	98.0	1.2
悪性リンパ腫	C81-C85 C96	299	69.4	3.2	273	67.8	3.2	572	68.6	2.3
多発性骨髄腫	C88-C90	54	37.7	7.9	72	48.7	6.4	126	44.2	5.0
白血病	C91-C95	138	37.6	4.5	108	34.6	4.9	246	36.3	3.3

\*1 D00、上皮内、診断時年齢100歳以上、第2がん以降を除く

表13. 5年相対生存率 (%) : 主要部位別、性別、進展度・総合

広島県

2009年

部位	ICD-10	進展度・総合				男				女				総数			
		集計対象数 *1	5年相対生存率	標準誤差	標準誤差	集計対象数 *1	5年相対生存率	標準誤差	標準誤差	集計対象数 *1	5年相対生存率	標準誤差	標準誤差	集計対象数 *1	5年相対生存率	標準誤差	標準誤差
全部位	C00-C96	3,881	92.0	0.8	0.8	3,107	92.5	0.7	0.7	6,988	92.2	0.6	0.6	6,988	92.2	0.6	0.6
		664	68.6	2.2	2.2	802	84.3	1.6	1.6	1,466	77.3	1.3	1.3	1,466	77.3	1.3	1.3
		1,445	47.1	1.5	1.5	1,100	53.7	1.7	1.7	2,545	50.0	1.1	1.1	2,545	50.0	1.1	1.1
		1,649	14.4	0.9	0.9	993	15.9	1.2	1.2	2,642	15.0	0.8	0.8	2,642	15.0	0.8	0.8
		1,175	61.7	1.8	1.8	772	53.3	2.1	2.1	1,947	58.3	1.4	1.4	1,947	58.3	1.4	1.4
		9,049	63.5	0.6	0.6	6,987	68.6	0.6	0.6	16,036	65.8	0.5	0.5	16,036	65.8	0.5	0.5
		2,109	53.9	1.3	1.3	1,902	66.7	1.2	1.2	4,011	60.1	0.9	0.9	4,011	60.1	0.9	0.9
胃	C16	985	98.5	1.5	1.5	395	95.8	2.2	2.2	1,380	98.1	1.2	1.2	1,380	98.1	1.2	1.2
		176	64.2	4.4	4.4	86	57.4	6.2	6.2	262	62.0	3.6	3.6	262	62.0	3.6	3.6
		151	35.1	4.4	4.4	111	42.8	5.2	5.2	262	38.5	3.4	3.4	262	38.5	3.4	3.4
		310	9.6	1.8	1.8	150	7.3	2.2	2.2	460	8.8	1.4	1.4	460	8.8	1.4	1.4
		134	42.2	5.3	5.3	75	38.1	7.4	7.4	209	40.9	4.3	4.3	209	40.9	4.3	4.3
		1,760	69.9	1.4	1.4	820	63.0	2.0	2.0	2,580	67.7	1.2	1.2	2,580	67.7	1.2	1.2
		327	50.9	3.2	3.2	197	49.2	4.0	4.0	524	50.3	2.5	2.5	524	50.3	2.5	2.5
大腸 (結腸・直腸)	C18-C20	600	95.2	1.9	1.9	452	97.7	1.9	1.9	1,052	96.7	1.3	1.3	1,052	96.7	1.3	1.3
		231	83.2	3.5	3.5	205	90.2	3.3	3.3	436	86.5	2.4	2.4	436	86.5	2.4	2.4
		146	73.1	4.7	4.7	168	70.6	4.5	4.5	314	71.7	3.3	3.3	314	71.7	3.3	3.3
		227	16.6	2.7	2.7	176	17.3	3.0	3.0	403	16.9	2.0	2.0	403	16.9	2.0	2.0
		86	50.8	6.5	6.5	73	43.1	6.7	6.7	159	47.7	4.7	4.7	159	47.7	4.7	4.7
		1,290	73.8	1.6	1.6	1,078	75.5	1.7	1.7	2,368	74.6	1.1	1.1	2,368	74.6	1.1	1.1
		377	79.3	2.8	2.8	373	81.4	2.8	2.8	750	80.3	2.0	2.0	750	80.3	2.0	2.0
結腸	C18	341	97.0	2.5	2.5	302	95.9	2.4	2.4	643	96.5	1.8	1.8	643	96.5	1.8	1.8
		123	88.3	4.6	4.6	140	90.7	3.9	3.9	263	89.6	3.0	3.0	263	89.6	3.0	3.0
		100	76.7	5.7	5.7	129	68.3	5.3	5.3	229	71.9	3.9	3.9	229	71.9	3.9	3.9
		139	12.7	3.1	3.1	130	15.9	3.4	3.4	269	14.3	2.3	2.3	269	14.3	2.3	2.3
		52	44.6	8.5	8.5	45	37.8	8.7	8.7	97	42.6	6.1	6.1	97	42.6	6.1	6.1
		755	74.1	2.1	2.1	749	73.2	2.1	2.1	1,504	73.7	1.5	1.5	1,504	73.7	1.5	1.5
		223	83.1	3.6	3.6	269	80.1	3.3	3.3	492	81.5	2.5	2.5	492	81.5	2.5	2.5
直腸	C19-C20	259	91.9	2.8	2.8	150	99.8	2.7	2.7	409	95.3	2.0	2.0	409	95.3	2.0	2.0
		108	77.4	5.3	5.3	65	88.1	6.1	6.1	173	81.7	4.0	4.0	173	81.7	4.0	4.0
		46	65.6	8.1	8.1	39	75.0	8.8	8.8	85	71.1	6.0	6.0	85	71.1	6.0	6.0
		88	22.6	4.7	4.7	46	21.4	6.4	6.4	134	22.2	3.8	3.8	134	22.2	3.8	3.8
		34	57.5	9.9	9.9	28	51.0	10.5	10.5	62	54.9	7.2	7.2	62	54.9	7.2	7.2
		535	73.3	2.4	2.4	329	80.6	2.8	2.8	864	76.1	1.8	1.8	864	76.1	1.8	1.8
		154	73.8	4.4	4.4	104	84.8	5.1	5.1	258	78.2	3.4	3.4	258	78.2	3.4	3.4
肝および肝内胆管	C22	379	53.0	3.0	3.0	202	48.4	3.9	3.9	581	51.4	2.4	2.4	581	51.4	2.4	2.4
		7	0.0	0.0	0.0	7	0.0	0.0	0.0	14	0.0	0.0	0.0	14	0.0	0.0	0.0
		154	24.3	3.8	3.8	54	8.3	4.0	4.0	208	20.1	3.0	3.0	208	20.1	3.0	3.0
		64	3.5	2.5	2.5	28	0.0	0.0	0.0	92	2.6	1.8	1.8	92	2.6	1.8	1.8
		73	16.3	4.8	4.8	45	27.3	7.6	7.6	118	20.4	4.2	4.2	118	20.4	4.2	4.2
		678	37.2	2.1	2.1	336	34.3	2.9	2.9	1,014	36.3	1.7	1.7	1,014	36.3	1.7	1.7
		161	23.2	3.7	3.7	61	7.3	3.5	3.5	222	18.8	2.9	2.9	222	18.8	2.9	2.9
肺	C33-C34	295	83.1	3.2	3.2	228	96.0	2.3	2.3	523	89.1	2.1	2.1	523	89.1	2.1	2.1
		116	39.9	5.0	5.0	42	37.0	8.1	8.1	158	39.1	4.3	4.3	158	39.1	4.3	4.3
		234	26.4	3.2	3.2	86	42.3	5.8	5.8	320	30.8	2.9	2.9	320	30.8	2.9	2.9
		503	4.6	1.0	1.0	183	5.3	1.7	1.7	686	4.8	0.9	0.9	686	4.8	0.9	0.9
		113	14.0	3.8	3.8	57	22.0	6.3	6.3	170	16.7	3.3	3.3	170	16.7	3.3	3.3
		1,280	30.6	1.5	1.5	601	49.4	2.2	2.2	1,881	36.7	1.2	1.2	1,881	36.7	1.2	1.2
		350	30.9	2.8	2.8	128	40.6	4.7	4.7	478	33.6	2.4	2.4	478	33.6	2.4	2.4

表13. 5年相対生存率 (%) : 主要部位別、性別、進展度・総合

広島県

2009年

部位	ICD-10	進展度・総合				男				女				総数			
		集計対象数 *1	5年相対生存率	標準誤差	集計対象数 *1	5年相対生存率	標準誤差	集計対象数 *1	5年相対生存率	標準誤差	集計対象数 *1	5年相対生存率	標準誤差	集計対象数 *1	5年相対生存率	標準誤差	
乳房	C50	限局	7	90.3	17.2	862	98.1	1.0	869	98.2	1.0						
		所り	1	100.0	0.0	290	96.1	1.7	291	96.2	1.7						
		隣接	2	53.6	47.2	98	82.0	5.1	100	81.8	5.1						
		遠隔	0	0.0	0.0	70	34.6	5.9	70	34.6	5.9						
		不明	0	0.0	0.0	143	78.2	4.1	143	78.2	4.1						
合計	10	89.1	16.3	1,465	91.7	1.0	1,475	91.8	1.0								
領域	3	70.6	34.5	388	93.0	1.8	391	92.9	1.8								
子宮	C53-C55	限局	-	-	-	223	96.8	1.6	223	96.8	1.6						
		所り	-	-	-	12	59.3	14.7	12	59.3	14.7						
		隣接	-	-	-	118	82.5	4.0	118	82.5	4.0						
		遠隔	-	-	-	32	19.4	7.2	32	19.4	7.2						
		不明	-	-	-	35	50.8	8.9	35	50.8	8.9						
合計	-	-	-	420	82.2	2.1	420	82.2	2.1								
領域	-	-	-	130	80.4	3.9	130	80.4	3.9								
子宮頸部	C53	限局	-	-	-	89	98.0	1.6	89	98.0	1.6						
		所り	-	-	-	9	44.9	16.8	9	44.9	16.8						
		隣接	-	-	-	60	81.3	6.1	60	81.3	6.1						
		遠隔	-	-	-	15	20.9	11.0	15	20.9	11.0						
		不明	-	-	-	20	52.7	11.9	20	52.7	11.9						
合計	-	-	-	193	80.4	3.1	193	80.4	3.1								
領域	-	-	-	69	76.5	5.9	69	76.5	5.9								
子宮体部	C54	限局	-	-	-	134	95.4	2.5	134	95.4	2.5						
		所り	-	-	-	3	100.0	0.0	3	100.0	0.0						
		隣接	-	-	-	58	82.3	5.3	58	82.3	5.3						
		遠隔	-	-	-	17	18.0	9.5	17	18.0	9.5						
		不明	-	-	-	13	54.8	14.2	13	54.8	14.2						
合計	-	-	-	225	84.3	2.7	225	84.3	2.7								
領域	-	-	-	61	83.3	5.1	61	83.3	5.1								
前立腺	C61	限局	738	100.0	1.4	-	-	738	100.0	1.4							
		所り	10	88.3	15.9	-	-	10	88.3	15.9							
		隣接	222	97.8	3.0	-	-	222	97.8	3.0							
		遠隔	120	48.9	5.8	-	-	120	48.9	5.8							
		不明	365	96.3	2.8	-	-	365	96.3	2.8							
合計	1,455	98.3	1.3	-	-	1,455	98.3	1.3									
領域	232	98.0	2.9	-	-	232	98.0	2.9									

\*1 D00、上皮内、診断時年齢100歳以上、第2がん以降を除く

所り：所属リンパ節転移、隣接：隣接臓器浸潤、遠隔：遠隔転移、領域：所属リンパ節転移＋隣接臓器浸潤



付表1. がん罹患数及び罹患率 : 詳細部位別、性別

広島県

2014年

部位	ICD-10	罹患数		罹患割合(%)			粗罹患率 (人口10万対)			年齢調整罹患率(人口10万対)						累積罹患率(0-74歳) (人口100対)			
										日本人口			世界人口						
		男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数
上皮下内がん																			
全部位	D00-D09	1,844	1,774	3,618	13.8	18.2	15.7	135.1	120.9	127.8	74.9	96.5	83.7	53.8	76.9	64.0	6.7	7.5	7.0
口腔、食道および胃	D00	83	44	127	0.6	0.5	0.5	6.1	3.0	4.5	3.2	1.5	2.3	2.3	1.1	1.7	0.3	0.2	0.2
食道	D001	58	26	84	0.4	0.3	0.4	4.2	1.8	3.0	2.2	0.9	1.5	1.5	0.7	1.1	0.2	0.1	0.2
その他および部位不明の消化器	D01	1,075	574	1,649	8.0	5.9	7.1	78.8	39.1	58.2	46.5	20.9	32.9	34.1	15.4	24.2	4.4	1.9	3.1
結腸	D010	777	429	1,206	5.8	4.4	5.2	56.9	29.2	42.6	33.6	15.4	23.9	24.6	11.3	17.6	3.1	1.4	2.2
直腸S状結腸移行部	D011	58	36	94	0.4	0.4	0.4	4.2	2.5	3.3	2.3	1.6	1.9	1.7	1.2	1.4	0.2	0.1	0.2
直腸	D012	219	94	313	1.6	1.0	1.4	16.0	6.4	11.1	9.8	3.4	6.4	7.3	2.5	4.8	0.9	0.3	0.6
中耳および呼吸器系	D02	16	2	18	0.1	0.0	0.1	1.2	0.1	0.6	0.6	0.1	0.4	0.5	0.1	0.3	0.1	0.0	0.0
気管	D021	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
気管支および肺	D022	0	1	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
上皮下内黒色腫	D03	5	7	12	0.0	0.1	0.1	0.4	0.5	0.4	0.2	0.4	0.3	0.2	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0
皮膚のその他	D04	79	99	178	0.6	1.0	0.8	5.8	6.7	6.3	2.6	1.8	2.2	1.7	1.2	1.4	0.2	0.1	0.1
乳房	D05	1	256	257	0.0	2.6	1.1	0.1	17.4	9.1	0.0	13.4	6.9	0.0	10.5	5.4	0.0	1.2	0.6
子宮頸部	D06	-	656	656	-	6.7	2.8	-	44.7	23.2	-	53.7	26.6	-	44.8	22.2	-	3.7	1.8
その他および部位不明の生殖器	D07	11	13	24	0.1	0.1	0.1	0.8	0.9	0.8	0.3	0.6	0.5	0.2	0.5	0.3	0.0	0.0	0.0
その他および部位不明	D09	574	123	697	4.3	1.3	3.0	42.1	8.4	24.6	21.4	4.1	11.8	14.8	2.9	8.3	1.7	0.4	1.0
膀胱	D090	538	111	649	4.0	1.1	2.8	39.4	7.6	22.9	20.0	3.7	11.0	13.8	2.6	7.7	1.6	0.3	0.9
良性腫瘍																			
髄膜	D32	61	126	187	0.5	1.3	0.8	4.5	8.6	6.6	2.6	5.0	3.8	2.1	3.7	2.9	0.2	0.4	0.3
脳および中枢神経系	D33	21	19	40	0.2	0.2	0.2	1.5	1.3	1.4	1.4	1.1	1.3	1.4	1.0	1.2	0.1	0.1	0.1
下垂体、頭蓋咽頭管、松果体	D352-D354	42	45	87	0.3	0.5	0.4	3.1	3.1	3.1	1.9	2.6	2.2	1.5	2.3	1.9	0.2	0.2	0.2
性状不詳または不明の腫瘍																			
髄膜	D42	10	19	29	0.1	0.2	0.1	0.7	1.3	1.0	0.5	0.8	0.6	0.4	0.5	0.5	0.0	0.1	0.1
脳および中枢神経系	D43	16	19	35	0.1	0.2	0.2	1.2	1.3	1.2	1.1	0.9	1.0	1.0	0.8	0.9	0.1	0.1	0.1
下垂体、頭蓋咽頭管、松果体	D443-D445	5	5	10	0.0	0.1	0.0	0.4	0.3	0.4	0.3	0.2	0.3	0.4	0.2	0.3	0.0	0.0	0.0
真正赤血球増多症	D45	10	3	13	0.1	0.0	0.1	0.7	0.2	0.5	0.5	0.1	0.3	0.4	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0
骨髄異形成症候群	D46	177	93	270	1.3	1.0	1.2	13.0	6.3	9.5	6.7	2.1	4.2	4.6	1.5	2.9	0.5	0.1	0.3
慢性骨増殖性疾患他	D47	33	21	54	0.2	0.2	0.2	2.4	1.4	1.9	1.5	1.1	1.3	1.1	0.9	1.0	0.1	0.1	0.1



付表2. がん死亡数及び死亡率 : 詳細部位別、性別

広島県

2014年

部位	ICD-10	死亡数		死亡割合(%)			粗死亡率 (人口10万対)			年齢調整死亡率(人口10万対)						累積死亡率(0-74歳) (人口100対)			
		男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	日本人口			世界人口			男	女	総数
											男	女	総数	男	女	総数			
良性腫瘍																			
髄膜	D32	5	3	8	0.1	0.1	0.1	0.4	0.2	0.3	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
脳および中枢神経系	D33	0	1	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他および部位不明の内分泌腺	D35	0	1	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
性状不詳または不明の腫瘍																			
髄膜	D42	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
脳および中枢神経系	D43	15	32	47	0.3	0.9	0.6	1.1	2.2	1.7	0.5	0.7	0.6	0.4	0.6	0.5	0.0	0.0	0.0
内分泌腺	D44	2	2	4	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
真正赤血球増多症	D45	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
骨髄異形成症候群	D46	45	41	86	0.9	1.2	1.0	3.3	2.8	3.1	1.3	0.6	0.8	0.9	0.3	0.6	0.1	0.0	0.0
リンパ組織、造血組織および関連組織	D47	2	2	4	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0

付表3. 受療割合詳細 (%) : 部位別

A. 上皮内がんを除く

広島県 2014年

部位	ICD-10	集計対象数*1	手術のみ	内視鏡のみ	手術 +内視鏡	放射線のみ	放射線のみ +薬物療法のみ	放射線 +薬物	薬物 +その他	手術/内視鏡 +放射線 +その他	手術/内視鏡 +放射線 +その他	他の組合せ	治療なし		
														22,465	25.6
全部位	C00-C96	22,465	25.6	8.4	1.3	1.6	11.3	3.7	1.4	0.8	14.6	0.4	3.1	1.7	28.8
口腔・咽頭	C00-C14	491	23.8	0.8	0.0	6.7	2.2	21.6	0.0	4.5	5.3	0.8	7.7	21.0	27.7
食道	C15	547	6.9	18.1	0.5	5.9	4.2	20.3	0.0	0.4	12.1	0.2	6.4	19.0	26.5
胃	C16	3,545	24.5	32.8	3.0	0.1	5.9	0.2	0.1	0.0	11.5	0.2	0.1	3.4	23.2
大腸(結腸・直腸)	C18-C20	3,382	39.7	7.8	4.3	0.2	2.0	0.2	0.1	0.3	21.9	0.1	1.5	3.3	23.8
結腸	C18	2,172	42.3	6.7	4.5	0.0	1.3	0.1	0.0	0.2	21.9	0.0	0.2	4.9	24.7
直腸	C19-C20	1,210	34.9	9.8	4.0	0.6	3.3	0.4	0.1	0.5	21.7	0.2	3.9	8.6	22.3
肝および肝内胆管	C22	1,234	20.9	0.2	0.0	0.7	5.2	1.3	19.0	0.2	1.5	1.0	0.2	17.7	41.3
胆のう・胆管	C23-C24	455	21.3	12.3	1.5	0.2	10.1	0.2	0.7	0.2	14.5	0.9	0.9	24.6	39.1
膵臓	C25	848	7.9	6.5	0.7	0.5	23.2	2.2	0.7	0.6	20.4	0.2	1.9	14.2	37.4
喉頭	C32	108	8.3	0.9	0.0	18.5	0.9	34.3	0.0	5.6	0.0	0.0	7.4	94.4	21.3
肺	C33-C34	2,725	28.1	0.1	0.1	4.8	15.3	10.1	0.5	0.3	10.8	0.0	0.7	5.2	32.3
皮膚	C43-C44	515	63.9	0.2	0.0	1.0	0.4	0.4	0.0	1.2	0.8	1.0	0.0	20.2	31.1
乳房	C50	1,965	12.3	0.1	0.0	0.3	7.5	0.7	0.1	3.2	36.4	0.2	20.4	5.2	19.2
乳房(女性のみに)	C50	1,947	12.3	0.1	0.0	0.3	7.4	0.7	0.1	3.2	36.5	0.2	20.5	5.3	19.0
子宮	C53-C55	504	36.1	0.0	0.2	3.8	2.8	7.5	0.0	0.8	28.4	0.0	2.0	20.0	19.8
子宮頸部	C53	191	28.8	0.0	0.5	7.9	2.1	19.4	0.0	1.0	14.7	0.0	5.2	52.4	22.0
子宮体部	C54	306	41.5	0.0	0.0	1.3	3.3	0.3	0.0	0.7	37.6	0.0	0.0	33.0	15.4
卵巣	C56	204	13.7	0.0	0.0	0.5	7.4	0.0	0.0	0.0	50.0	0.5	0.5	49.5	28.9
前立腺	C61	1,928	27.1	1.3	0.0	2.2	31.3	6.1	0.2	0.1	5.1	0.2	0.5	5.5	27.0
膀胱	C67	616	2.8	29.7	2.4	0.5	1.8	0.3	0.0	1.0	17.4	6.7	2.4	16.6	36.0
腎・尿路(膀胱除く)	C64-C66 C68	674	59.6	0.6	0.3	0.1	4.5	1.2	0.0	0.4	6.8	0.7	0.9	15.7	26.9
脳・中枢神経系	C70-C72	128	11.7	0.0	0.0	0.8	0.0	2.3	0.0	3.1	8.6	0.0	33.6	79.7	49.2
甲状腺	C73	544	44.3	0.0	0.0	0.2	0.6	0.0	0.0	0.0	28.5	1.1	1.1	18.8	25.0
悪性リンパ腫	C81-C85 C96	839	3.6	0.1	0.0	1.8	43.7	3.6	1.8	0.6	2.7	0.0	0.6	13.3	41.2
多発性骨髄腫	C88-C90	195	0.5	0.0	0.0	1.5	44.1	1.5	4.1	0.0	0.0	0.0	0.0	52.3	48.7
白血病	C91-C95	270	0.0	0.0	0.0	0.0	60.7	1.9	10.4	0.0	0.4	0.0	0.0	39.3	29.6

\*1 D00を除く総数



付表3. 受療割合詳細 (%) : 部位別

## B. 上皮内がんを含む

## 広島県

2014年

部位	ICD-10	集計対象数 *1	手術のみ	内視鏡のみ	手術 +内視鏡	放射線のみ	放射線のみ +薬物療法のみ	放射線 +薬物	薬物 +その他	手術/内視鏡 +放射線 +その他	手術/内視鏡 +放射線 +その他	手術/内視鏡 +放射線 +その他	他の組合せ	治療なし
全部位	C00-C96 D00-D09	26,083	25.7	13.1	1.2	1.4	9.8	3.2	1.2	0.8	12.9	0.5	1.6	28.1
食道	C15 D001	631	6.0	23.6	0.6	5.1	3.6	17.7	0.0	0.3	10.5	0.2	16.5	28.1
大腸 (結腸・直腸) *2	C18-C20 D010-D012	4,995	28.1	29.5	3.1	0.1	1.4	0.2	0.0	0.2	14.8	0.1	2.2	22.7
結腸 *2	C18 D010	3,378	28.7	31.2	3.1	0.0	0.9	0.1	0.0	0.1	14.1	0.1	3.1	23.0
直腸 *2	C19-C20 D011-D012	1,617	27.1	26.0	3.2	0.4	2.5	0.3	0.1	0.4	16.3	0.2	6.4	22.0
肺	C33-C34 D021-D022	2,726	28.1	0.1	0.1	4.8	15.3	10.1	0.5	0.3	10.7	0.0	5.2	32.3
皮膚	C43-C44 D030-D049	705	63.8	0.1	0.0	0.7	0.3	0.3	0.0	0.9	0.6	0.9	15.0	32.1
乳房	C50 D05	2,222	16.5	0.0	0.0	0.2	6.7	0.7	0.1	5.0	33.2	0.1	4.7	18.3
乳房 (女性のみに)	C50 D05	2,203	16.5	0.0	0.0	0.2	6.6	0.7	0.1	5.0	33.3	0.1	4.8	18.1
子宮	C53-C55 D06	1,160	62.7	0.7	0.1	1.6	1.2	3.3	0.0	0.3	12.3	0.2	10.1	15.9
子宮頸部	C53 D06	847	70.8	0.9	0.1	1.8	0.5	4.4	0.0	0.2	3.3	0.2	13.7	15.0
膀胱	C67 D090	1,265	2.5	33.7	1.3	0.2	0.9	0.2	0.0	0.5	14.0	6.0	9.4	38.6

\*1 D00を除く総数

\*2 粘膜がんを含む

付表4. 医療圏別、保健所別罹患数 : 部位別、性別

A. 上皮内がんを除く

広島県

2014年

医療圏/保健所	全部位 000-096		胃 C16		大腸(結腸・直腸) C18-C20		結腸 C18		直腸 C19-C20		肝および胆内胆管 C22		肺 C33-C34		乳房 C50		子宮 053-055		子宮頸部 C53		子宮体部 054		前立腺 061																											
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女																										
広島県	13,357	9,734	23,091	2,434	1,194	3,628	1,966	1,499	3,465	1,166	1,063	2,229	800	436	1,236	882	416	1,298	1,907	947	2,854	18	1,967	1,985	513	0	0	0	0	0	194	308	0	0	0	1,952	0													
医療圏不定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
広島	6,452	4,470	10,522	1,100	558	1,698	867	685	1,552	506	468	974	361	217	578	376	188	564	843	412	1,255	8	909	917	234	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88					
広島西	741	517	1,258	118	61	179	111	69	180	70	54	124	41	15	56	35	25	60	107	43	150	1	136	137	30	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13			
呉	1,711	1,154	2,865	314	149	463	256	176	432	129	284	101	47	148	137	53	190	253	378	125	378	1	245	246	61	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18			
広島中央	843	605	1,448	129	57	186	119	77	196	68	50	118	51	27	78	57	24	81	96	54	150	1	114	115	38	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18			
尾三	1,284	957	2,241	229	116	345	185	151	336	116	113	229	69	38	107	88	33	121	210	104	314	6	182	188	48	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13			
福山・府中	2,184	1,611	3,795	427	192	619	354	273	627	200	194	394	154	79	233	153	78	231	330	160	490	1	312	313	80	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32			
備北	542	420	962	117	61	178	74	69	142	51	55	106	23	13	36	36	15	51	68	49	117	0	69	69	22	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12				
保健所不定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
広島市	5,190	3,888	9,078	936	476	1,412	770	580	1,350	459	390	849	311	190	501	323	164	487	720	380	1,080	8	809	817	212	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88
福山市	1,910	1,423	3,333	371	170	541	308	246	554	174	171	345	134	75	209	131	68	199	296	138	434	1	272	273	72	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28
呉市	1,495	1,028	2,523	273	127	400	224	152	376	136	111	247	88	41	129	127	44	171	212	110	322	1	223	224	54	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
東部	1,558	1,145	2,703	285	138	423	231	178	409	142	136	278	89	42	131	110	43	153	244	126	370	6	222	223	56	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17		
西部	1,819	1,225	3,044	323	165	488	240	196	438	136	150	286	104	48	152	98	58	156	271	110	381	1	258	259	59	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20		
西部東	843	605	1,448	129	57	186	119	77	196	68	50	118	51	27	78	57	24	81	96	54	150	1	114	115	38	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18		
北部	542	420	962	117	61	178	74	69	142	51	55	106	23	13	36	36	15	51	68	49	117	0	69	69	22	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	

付表4. 医療圏別、保健所別罹患数 : 部位別、性別

B. 上皮内がんを含む

広島県

2014年

医療圏/保健所	全部位		大腸(結腸・直腸)*1		結腸*1		直腸*1		肺		乳房		子宮		子宮頸部					
	C00-C96 D00-D09		C18-C20 D010-D012		C18 D010		C19-C20 D011-D012		C33-C34 D021-D022		C50 D05		C53-C55 D06		C53 D06					
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
広島県	15,201	11,508	26,709	3,020	2,058	5,078	1,943	1,492	3,435	1,077	566	1,643	1,907	948	2,855	19	2,223	2,242	1,169	850
医療圏不定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広島	7,030	5,415	12,445	1,468	994	2,462	956	706	1,662	512	288	800	843	412	1,255	8	1,052	1,060	584	438
広島西	836	596	1,432	174	94	268	119	76	195	55	18	73	107	43	150	1	150	151	50	33
呉	1,941	1,327	3,268	407	263	670	263	198	461	144	65	209	253	125	378	1	261	262	99	56
広島中央	943	700	1,643	165	97	262	105	68	173	60	29	89	96	55	151	1	128	129	72	52
尾三	1,444	1,087	2,531	254	191	445	160	139	299	94	52	146	210	104	314	6	197	203	92	57
福山・府中	2,383	1,873	4,256	434	323	757	249	230	479	185	93	278	330	160	490	2	353	355	216	168
備北	624	510	1,134	118	96	214	91	75	166	27	21	48	68	49	117	0	82	82	56	46
保健所不定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広島市	6,042	4,721	10,763	1,297	851	2,148	848	602	1,450	449	249	698	720	360	1,080	8	933	941	533	404
福山市	2,076	1,659	3,735	375	286	661	215	200	415	160	86	246	296	138	434	2	311	313	198	154
呉市	1,688	1,181	2,869	350	223	573	228	167	395	122	56	178	212	110	322	1	238	239	92	54
東部	1,751	1,301	3,052	313	228	541	194	169	363	119	59	178	244	126	370	6	239	245	110	71
西部	2,077	1,436	3,513	402	277	679	262	211	473	140	66	206	271	110	381	1	292	293	108	69
西部東	943	700	1,643	165	97	262	105	68	173	60	29	89	96	55	151	1	128	129	72	52
北部	624	510	1,134	118	96	214	91	75	166	27	21	48	68	49	117	0	82	82	56	46

\*1 粘膜がんを含む

付表4-C1 標準化死亡比(全国との比較) 部位別、性別

2014年

部位	ICD-10	男			女		
		死亡数	標準化死亡比	(95%信頼区間)	死亡数	標準化死亡比	(95%信頼区間)
全部位	C00-C97	4,901	0.99	(0.96 - 1.02)	3,394	0.95	(0.92 - 0.99)
食道	C15	175	0.81	(0.69 - 0.93)	41	0.89	(0.62 - 1.17)
胃	C16	693	0.97	(0.90 - 1.04)	417	1.06	(0.96 - 1.16)
結腸	C18	335	0.90	(0.80 - 0.99)	340	0.84	(0.75 - 0.93)
直腸	C19-C20	176	0.81	(0.69 - 0.92)	129	0.99	(0.82 - 1.16)
肝および肝内胆管	C22	579	1.34	(1.23 - 1.45)	303	1.23	(1.09 - 1.37)
胆のう・胆管	C23-C24	170	0.83	(0.70 - 0.95)	197	0.90	(0.77 - 1.03)
膵臓	C25	399	1.08	(0.97 - 1.18)	365	1.00	(0.90 - 1.11)
肺	C33-C34	1,162	0.98	(0.92 - 1.03)	460	0.92	(0.84 - 1.01)
乳房	C50	2	1.17	(-0.45 - 2.79)	281	0.92	(0.81 - 1.03)
子宮	C53-C55	0			120	0.81	(0.66 - 0.95)
卵巣	C56	0			84	0.75	(0.59 - 0.91)
前立腺	C61	247	0.93	(0.82 - 1.05)	0		
膀胱	C67	140	1.15	(0.96 - 1.34)	47	0.79	(0.56 - 1.01)
悪性リンパ腫	C81-C85, C96	162	1.11	(0.94 - 1.28)	125	1.03	(0.85 - 1.21)
白血病	C91-C95	113	1.03	(0.84 - 1.22)	69	0.89	(0.68 - 1.10)

付表4-D 二次保健医療圏別標準化罹患比(広島県との比較) : 部位別、性別

2014年

医療圏	部位	ICD-10	男		女	
			罹患数	標準化罹患比(95%信頼区間)	罹患数	標準化罹患比(95%信頼区間)
広島	全部位	C00-C96	6,052	1.06 ( 1.03 - 1.09 )	4,470	1.07 ( 1.04 - 1.10 )
	胃	C16	1,100	1.06 ( 1.00 - 1.12 )	558	1.12 ( 1.03 - 1.21 )
	結腸	C18	506	1.01 ( 0.93 - 1.10 )	468	1.05 ( 0.95 - 1.14 )
	直腸	C19-C20	361	1.02 ( 0.91 - 1.12 )	217	1.17 ( 1.01 - 1.32 )
	大腸(結腸・直腸)	C18-C20	867	1.02 ( 0.95 - 1.08 )	685	1.08 ( 1.00 - 1.17 )
	肝および肝内胆管	C22	376	1.00 ( 0.90 - 1.10 )	188	1.11 ( 0.95 - 1.26 )
	肺	C33-C34	843	1.05 ( 0.98 - 1.12 )	412	1.04 ( 0.94 - 1.14 )
	乳房	C50	8	1.00 ( 0.31 - 1.69 )	909	1.02 ( 0.95 - 1.08 )
	子宮	C53-C55			234	0.99 ( 0.86 - 1.11 )
	子宮頸部	C53			88	0.97 ( 0.76 - 1.17 )
	子宮体部	C54			140	0.99 ( 0.82 - 1.15 )
前立腺	C61	885	1.07 ( 1.00 - 1.14 )			
広島西	全部位	C00-C96	741	1.03 ( 0.96 - 1.11 )	517	1.02 ( 0.93 - 1.11 )
	胃	C16	118	0.90 ( 0.74 - 1.06 )	61	0.98 ( 0.74 - 1.23 )
	結腸	C18	70	1.13 ( 0.86 - 1.39 )	54	0.96 ( 0.71 - 1.22 )
	直腸	C19-C20	41	0.93 ( 0.65 - 1.22 )	15	0.65 ( 0.32 - 0.98 )
	大腸(結腸・直腸)	C18-C20	111	1.05 ( 0.85 - 1.24 )	69	0.88 ( 0.68 - 1.09 )
	肝および肝内胆管	C22	35	0.73 ( 0.49 - 0.97 )	25	1.19 ( 0.72 - 1.66 )
	肺	C33-C34	107	1.05 ( 0.85 - 1.25 )	43	0.86 ( 0.60 - 1.12 )
	乳房	C50	1	1.00 ( -0.96 - 2.96 )	136	1.32 ( 1.10 - 1.54 )
	子宮	C53-C55			30	1.11 ( 0.71 - 1.51 )
	子宮頸部	C53			13	1.30 ( 0.59 - 2.01 )
	子宮体部	C54			17	1.00 ( 0.52 - 1.48 )
前立腺	C61	131	1.25 ( 1.03 - 1.46 )			
呉	全部位	C00-C96	1,711	1.18 ( 1.13 - 1.24 )	1,154	1.12 ( 1.06 - 1.19 )
	胃	C16	314	1.18 ( 1.05 - 1.32 )	149	1.13 ( 0.95 - 1.31 )
	結腸	C18	155	1.23 ( 1.04 - 1.42 )	129	1.09 ( 0.90 - 1.28 )
	直腸	C19-C20	101	1.17 ( 0.95 - 1.40 )	47	1.04 ( 0.75 - 1.34 )
	大腸(結腸・直腸)	C18-C20	256	1.21 ( 1.06 - 1.36 )	176	1.08 ( 0.92 - 1.24 )
	肝および肝内胆管	C22	137	1.41 ( 1.18 - 1.65 )	53	1.13 ( 0.82 - 1.43 )
	肺	C33-C34	253	1.22 ( 1.07 - 1.37 )	125	1.20 ( 0.99 - 1.41 )
	乳房	C50	1	0.50 ( -0.48 - 1.48 )	245	1.27 ( 1.11 - 1.43 )
	子宮	C53-C55			61	1.24 ( 0.93 - 1.56 )
	子宮頸部	C53			18	1.00 ( 0.54 - 1.46 )
	子宮体部	C54			41	1.37 ( 0.95 - 1.79 )
前立腺	C61	239	1.11 ( 0.97 - 1.25 )			
広島中央	全部位	C00-C96	843	0.86 ( 0.80 - 0.91 )	605	0.86 ( 0.80 - 0.93 )
	胃	C16	129	0.72 ( 0.60 - 0.85 )	57	0.67 ( 0.50 - 0.84 )
	結腸	C18	68	0.79 ( 0.60 - 0.98 )	50	0.66 ( 0.48 - 0.84 )
	直腸	C19-C20	51	0.85 ( 0.62 - 1.08 )	27	0.87 ( 0.54 - 1.20 )
	大腸(結腸・直腸)	C18-C20	119	0.82 ( 0.67 - 0.96 )	77	0.72 ( 0.56 - 0.88 )
	肝および肝内胆管	C22	57	0.88 ( 0.65 - 1.10 )	24	0.83 ( 0.50 - 1.16 )
	肺	C33-C34	96	0.69 ( 0.55 - 0.83 )	54	0.81 ( 0.59 - 1.02 )
	乳房	C50	1	1.00 ( -0.96 - 2.96 )	114	0.80 ( 0.65 - 0.94 )
	子宮	C53-C55			38	1.00 ( 0.68 - 1.32 )
	子宮頸部	C53			18	1.29 ( 0.69 - 1.88 )
	子宮体部	C54			19	0.83 ( 0.45 - 1.20 )
前立腺	C61	140	0.98 ( 0.82 - 1.14 )			
尾三	全部位	C00-C96	1,284	0.88 ( 0.83 - 0.92 )	957	0.93 ( 0.87 - 0.99 )
	胃	C16	229	0.85 ( 0.74 - 0.96 )	116	0.88 ( 0.72 - 1.04 )
	結腸	C18	116	0.91 ( 0.75 - 1.08 )	113	0.96 ( 0.78 - 1.13 )
	直腸	C19-C20	69	0.80 ( 0.61 - 0.99 )	38	0.84 ( 0.58 - 1.11 )
	大腸(結腸・直腸)	C18-C20	185	0.87 ( 0.74 - 0.99 )	151	0.93 ( 0.78 - 1.07 )
	肝および肝内胆管	C22	88	0.90 ( 0.71 - 1.09 )	33	0.70 ( 0.46 - 0.94 )
	肺	C33-C34	210	0.99 ( 0.86 - 1.12 )	104	1.01 ( 0.82 - 1.20 )
	乳房	C50	6	3.00 ( 0.60 - 5.40 )	182	0.94 ( 0.81 - 1.08 )
	子宮	C53-C55			48	0.98 ( 0.70 - 1.26 )
	子宮頸部	C53			13	0.72 ( 0.33 - 1.11 )
	子宮体部	C54			34	1.13 ( 0.75 - 1.51 )
前立腺	C61	183	0.85 ( 0.73 - 0.97 )			
福山・府中	全部位	C00-C96	2,184	0.88 ( 0.85 - 0.92 )	1,611	0.92 ( 0.88 - 0.97 )
	胃	C16	427	0.95 ( 0.86 - 1.04 )	192	0.89 ( 0.77 - 1.02 )
	結腸	C18	200	0.93 ( 0.80 - 1.05 )	194	1.01 ( 0.87 - 1.15 )
	直腸	C19-C20	154	1.03 ( 0.86 - 1.19 )	79	1.01 ( 0.79 - 1.24 )
	大腸(結腸・直腸)	C18-C20	354	0.97 ( 0.87 - 1.07 )	273	1.01 ( 0.89 - 1.13 )
	肝および肝内胆管	C22	153	0.93 ( 0.79 - 1.08 )	78	1.05 ( 0.82 - 1.29 )
	肺	C33-C34	330	0.93 ( 0.83 - 1.04 )	160	0.94 ( 0.79 - 1.08 )
	乳房	C50	1	0.33 ( -0.32 - 0.99 )	312	0.88 ( 0.78 - 0.98 )
	子宮	C53-C55			80	0.87 ( 0.68 - 1.06 )
	子宮頸部	C53			32	0.94 ( 0.62 - 1.27 )
	子宮体部	C54			47	0.84 ( 0.60 - 1.08 )
前立腺	C61	287	0.79 ( 0.70 - 0.88 )			
備北	全部位	C00-C96	542	0.95 ( 0.87 - 1.03 )	420	1.00 ( 0.90 - 1.09 )
	胃	C16	117	1.10 ( 0.90 - 1.30 )	61	1.07 ( 0.80 - 1.34 )
	結腸	C18	51	1.04 ( 0.76 - 1.33 )	55	1.10 ( 0.81 - 1.39 )
	直腸	C19-C20	23	0.70 ( 0.41 - 0.98 )	13	0.72 ( 0.33 - 1.11 )
	大腸(結腸・直腸)	C18-C20	74	0.90 ( 0.70 - 1.11 )	68	1.00 ( 0.76 - 1.24 )
	肝および肝内胆管	C22	36	0.92 ( 0.62 - 1.22 )	15	0.75 ( 0.37 - 1.13 )
	肺	C33-C34	68	0.81 ( 0.62 - 1.00 )	49	1.14 ( 0.82 - 1.46 )
	乳房	C50	0	0.00 ( 0.00 - 0.00 )	69	0.96 ( 0.73 - 1.18 )
	子宮	C53-C55			22	1.22 ( 0.71 - 1.73 )
	子宮頸部	C53			12	1.71 ( 0.74 - 2.68 )
	子宮体部	C54			10	0.91 ( 0.35 - 1.47 )
前立腺	C61	87	1.06 ( 0.84 - 1.28 )			

N. A. = 算出不可

付表5. 市区町村別罹患数 : 部位別、性別

A. 上皮内がんを除く

広島県

2014年

市区町村	全部位 600-696		胃 C16		大腸(結腸・直腸) C18-C20		結腸 C18		直腸 C19-C20		肝および肝内胆管 C22		肺 C33-C34		乳房 C50		子宮 653-655		子宮頸部 C53		子宮体部 654		前立腺 C61																				
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女																			
	総数	総数	総数	総数	総数	総数	総数	総数	総数	総数	総数	総数	総数	総数	総数	総数	総数	総数	総数	総数	総数	総数	総数	総数																			
広島県	13,357	9,724	23,081	2,434	1,194	3,628	1,966	1,499	3,465	1,166	1,063	2,229	800	436	1,236	882	416	1,298	1,907	947	2,854	18	1,967	1,955	513	308	0	0	194	0	0	0	0	0	0	0							
広島県内市区町村不定																																											
広島市	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
広島市中区	596	501	1,097	105	70	175	90	76	174	56	56	112	42	20	62	37	19	56	89	42	131	0	110	110	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
広島市東区	516	402	918	94	43	137	78	55	133	46	40	86	32	15	47	34	16	50	63	48	111	1	82	83	21	9	9	82	48	11	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
広島市南区	661	497	1,158	135	72	207	93	80	173	60	50	110	33	30	63	59	16	75	88	47	135	2	106	108	28	11	11	17	81	17	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
広島市西区	806	574	1,380	137	67	204	117	75	192	67	47	114	50	28	78	53	29	82	98	50	148	1	117	118	28	11	11	118	132	15	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
広島市安佐南区	904	679	1,583	166	78	244	141	103	244	88	69	157	53	34	87	39	24	63	139	54	193	3	155	155	38	13	25	133	25	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1				
広島市安佐北区	743	550	1,293	138	71	209	107	83	190	61	53	114	46	30	76	43	19	62	92	71	163	3	114	117	15	5	9	121	9	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
広島市安芸区	356	245	601	69	27	96	46	43	89	32	32	64	14	11	25	22	13	35	57	18	75	0	38	38	20	6	13	39	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3		
広島市佐伯区	608	439	1,047	92	47	139	90	65	155	49	42	92	41	22	63	36	28	64	94	30	124	1	87	88	35	17	17	93	17	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
呉市	1,495	1,028	2,523	273	127	400	224	152	376	136	111	247	88	41	129	127	44	171	212	110	322	1	223	224	54	16	16	211	36	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	
竹原市	167	95	262	30	12	42	26	12	38	16	9	25	10	3	13	12	3	15	19	7	26	0	12	12	9	4	4	23	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5		
三原市	457	332	809	74	38	112	56	64	120	33	47	80	23	17	40	35	10	45	76	38	114	3	68	71	17	6	10	67	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
尾道市	754	560	1,314	141	72	213	120	82	202	76	61	137	44	21	65	51	21	72	122	60	182	3	108	111	30	6	24	108	24	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
福山市	1,910	1,423	3,333	371	170	541	308	246	554	174	171	345	134	75	209	131	68	199	296	138	434	1	272	273	72	28	43	259	43	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28
府中市	217	149	366	43	19	62	35	19	54	22	17	39	13	2	15	19	8	27	28	20	48	0	32	32	7	3	4	20	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
三次市	326	253	579	71	31	102	44	49	93	30	38	68	14	11	25	25	11	36	46	31	77	0	41	41	14	6	8	53	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	
庄原市	216	167	383	46	30	76	30	19	49	21	17	38	9	2	11	11	4	15	22	18	40	0	28	28	8	6	34	8	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	
大竹市	154	92	246	21	18	39	26	16	42	17	12	29	9	4	13	8	5	13	19	5	24	1	20	21	3	2	30	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
東広島市	627	462	1,089	91	38	129	85	61	146	47	38	85	38	23	61	41	18	59	69	43	112	1	90	91	26	12	13	107	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
廿日市市	587	425	1,012	97	43	140	85	53	138	53	42	95	32	11	43	27	20	47	88	38	126	0	116	116	27	11	16	101	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
安芸高田市	194	124	318	31	22	53	16	22	38	8	16	24	8	6	14	8	4	12	35	10	45	0	17	17	2	0	37	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
江田島市	216	126	342	41	22	63	32	24	56	19	18	37	13	6	19	10	9	19	41	15	56	0	22	22	7	2	5	28	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
安芸郡府中町	226	145	371	51	16	67	32	24	56	10	18	37	13	6	19	14	7	21	27	13	40	0	29	29	7	2	37	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
安芸郡海田町	114	79	193	31	15	46	7	14	21	1	10	11	6	4	10	7	4	8	13	11	24	0	21	21	5	1	14	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
安芸郡熊野町	105	92	197	17	6	23	9	15	24	6	12	18	3	3	6	4	4	8	13	11	24	0	21	21	5	2	12	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
安芸郡坂町	58	44	102	6	9	15	8	10	18	2	8	10	6	2	8	4	0	4	11	6	17	0	7	7	2	0	6	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
山県郡安芸太田町	59	27	86	12	2	14	4	7	11	1	6	7	3	1	4	7	0	7	6	2	8	0	5	5	1	0	14	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
山県郡北広島町	106	71	177	16	12	28	21	13	34	10	8	18	11	5	16	9	5	14	10	4	14	0	11	11	2	0	16	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
山県郡大内上島町	49	48	97	8	7	15	8	4	12	5	3	8	3	1	4	3	7	8	4	12	0	12	12	3	1	2	10	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
世羅郡世羅町	73	45	118	14	6	20	9	5	14	7	5	12	2	0	2	2	2	4	12	6	18	0	6	6	1	1	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
神石郡神石町	57	39	96	13	3	16	11	8	19	4	6	10	7	2	9	3	2	5	6	2	8	0	8	8	1	1	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

付表5. 市区町村別罹患数 : 部位別、性別

B. 上皮内がんを含む

広島県 2014年

市区町村	全部位		大腸(結腸・直腸)*1		結腸*1		直腸*1		肺		乳房		子宮		子宮頸部					
	000-036 D00-009		C18-C20 D010-D012		C18 D010		C19-C20 D011-D012		C33-C34 D021-D022		C50 D05		C53-C55 D06		C53 D06					
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
広島県	15,201	11,508	26,709	3,020	2,068	5,078	1,943	1,492	3,435	1,077	566	1,643	1,907	948	2,855	19	2,223	2,242	1,169	850
広島県内市区町村不定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広島市	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広島市 中区	706	611	1,317	168	118	286	106	89	195	62	29	91	89	42	131	0	123	123	68	52
広島市 東区	587	488	1,075	116	82	198	71	63	134	45	19	64	63	48	111	1	97	98	54	42
広島市 南区	762	601	1,363	148	106	254	98	74	172	50	32	82	88	47	135	2	126	128	70	53
広島市 西区	942	715	1,657	201	127	328	138	85	223	63	42	105	98	50	148	1	133	134	86	69
広島市 安佐南区	1,072	831	1,903	249	145	394	174	98	272	75	47	122	139	54	193	0	176	176	110	85
広島市 安佐北区	885	666	1,551	203	125	328	128	86	214	75	39	114	92	71	163	3	130	133	45	35
広島市 安芸区	402	290	692	71	57	128	45	44	89	26	13	39	57	18	75	0	48	48	37	23
広島市 佐伯区	686	518	1,204	141	91	232	88	63	151	53	28	81	94	30	124	1	100	101	63	45
呉市	1,688	1,181	2,869	350	223	573	228	167	395	122	56	178	212	110	322	1	238	239	92	54
竹原市	190	111	301	38	17	55	25	14	39	13	3	16	19	8	27	0	16	16	12	7
三原市	515	393	908	90	75	165	58	54	112	32	21	53	76	38	114	3	74	77	31	20
尾道市	840	639	1,479	151	106	257	93	76	169	58	30	88	122	60	182	3	116	119	58	34
福山市	2,076	1,659	3,735	375	266	661	215	200	415	160	86	246	296	138	434	2	311	313	198	154
府中市	245	172	417	45	27	72	28	24	52	17	3	20	28	20	48	0	34	34	17	13
三次市	374	309	683	76	69	145	59	52	111	17	17	34	46	31	77	0	47	47	35	27
庄原市	250	201	451	42	27	69	32	23	55	10	4	14	22	18	40	0	35	35	21	19
大竹市	178	105	283	41	21	62	30	17	47	11	4	15	19	5	24	1	21	22	7	6
東広島市	703	537	1,240	119	76	195	75	51	126	44	25	69	69	43	112	1	100	101	55	41
廿日市市	658	491	1,149	133	73	206	89	59	148	44	14	58	88	38	126	0	129	129	43	27
安芸高田市	233	153	386	38	35	73	26	25	51	12	10	22	35	10	45	0	20	20	9	7
江田島市	253	146	399	57	40	97	35	31	66	22	9	31	41	15	56	0	23	23	7	2
安芸郡 府中町	250	169	419	50	31	81	37	23	60	13	8	21	27	13	40	0	36	36	12	7
安芸郡 海田町	131	93	224	15	16	31	8	10	18	7	6	13	21	6	27	0	13	13	9	7
安芸郡 熊野町	123	103	226	21	20	41	16	17	33	5	3	8	13	11	24	0	22	22	7	4
安芸郡 坂町	65	52	117	12	12	24	4	9	13	8	3	11	11	6	17	0	11	11	3	1
山県郡 安芸太田町	72	33	105	11	8	19	5	7	12	6	1	7	6	2	8	0	6	6	2	1
山県郡 北広島町	114	91	205	24	21	45	12	13	25	12	8	20	10	4	14	0	11	11	9	7
豊田郡 大崎上島町	50	52	102	8	4	12	5	3	8	3	1	4	8	4	12	0	12	12	5	4
世羅郡 世羅町	89	55	144	13	10	23	9	9	18	4	1	5	12	6	18	0	7	7	3	3
神石郡 神石高原町	62	42	104	14	10	24	6	6	12	8	4	12	6	2	8	0	8	8	1	1

\*1 粘膜がんを含む

付表6-1 罹患数の年次推移

			2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
男	全部位	C00-C96	10,482	10,455	10,522	10,516	10,849	10,844	11,473	11,851	12,385	12,240	14,191	13,357
	胃	C16	1,896	1,972	2,062	1,987	2,161	2,113	2,150	2,248	2,237	2,247	2,712	2,434
	大腸	C18-C20	1,699	1,499	1,513	1,589	1,529	1,549	1,587	1,626	1,771	1,806	2,067	1,966
	肝	C22	1,150	1,121	1,002	941	1,011	931	876	931	904	853	941	882
	肺	C33-C34	1,418	1,524	1,605	1,492	1,600	1,620	1,737	1,681	1,801	1,810	1,956	1,907
	前立腺	C61	1,488	1,298	1,282	1,387	1,333	1,385	1,709	1,783	1,844	1,795	2,071	1,952
女	全部位	C00-C96	6,971	7,211	7,362	7,432	7,913	8,210	8,399	8,709	8,896	8,823	10,181	9,734
	胃	C16	1,035	921	970	971	1,018	1,015	984	1,035	1,023	992	1,195	1,194
	大腸	C18-C20	1,183	1,167	1,174	1,263	1,246	1,230	1,280	1,254	1,347	1,361	1,580	1,499
	肝	C22	533	555	511	480	494	478	434	525	441	447	436	416
	肺	C33-C34	630	648	688	669	769	821	808	867	916	883	959	947
	乳房	C50	1,072	1,179	1,245	1,247	1,443	1,576	1,612	1,699	1,704	1,720	2,059	1,967
	子宮	C53-C55	407	451	480	467	499	495	487	579	581	579	602	513
	甲状腺	C73	253	278	332	373	393	413	408	406	442	387	516	411

付表6-2 年齢調整罹患率の年次推移

			2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
男	全部位	C00-C96	492.5	480.1	472.9	463.2	469.3	457.0	476.4	480.4	494.6	484.4	548.3	507.9
	胃	C16	88.8	90.9	92.9	87.4	93.7	88.4	88.4	90.4	88.3	88.0	101.6	90.5
	大腸	C18-C20	81.8	69.4	69.7	71.8	66.8	67.7	67.8	67.3	72.6	74.2	82.4	77.0
	肝	C22	54.5	52.5	45.2	41.9	44.6	39.0	36.2	37.9	35.6	33.6	36.1	32.8
	肺	C33-C34	64.5	67.2	69.3	62.8	65.8	64.9	68.6	65.0	68.8	67.9	72.0	69.1
	前立腺	C61	64.8	55.2	53.4	56.5	53.2	53.4	65.1	66.7	68.5	66.0	74.9	68.7
女	全部位	C00-C96	276.9	284.2	291.4	290.5	301.5	314.9	315.2	325.6	330.1	322.1	376.3	348.8
	胃	C16	36.1	31.9	34.0	33.2	31.9	33.1	29.6	30.8	31.0	29.3	34.9	33.6
	大腸	C18-C20	43.9	40.8	39.7	43.2	41.1	40.3	41.7	40.1	43.3	42.3	50.2	46.0
	肝	C22	17.8	18.1	16.3	15.4	14.7	13.9	12.4	14.2	11.1	11.2	11.4	10.5
	肺	C33-C34	21.7	22.8	24.4	22.1	25.1	26.7	24.9	26.6	27.2	27.0	28.5	28.1
	乳房	C50	56.0	60.0	64.2	63.5	72.6	80.2	78.7	85.0	85.0	84.2	98.9	94.3
	子宮	C53-C55	20.9	23.8	25.4	25.0	27.2	26.8	26.0	30.8	30.0	30.0	31.0	27.0
	甲状腺	C73	12.6	14.7	17.2	19.5	19.3	21.7	21.7	22.2	23.3	20.1	27.2	20.9

付表6-3 死亡数の年次推移

			2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
男	全部位	C00-C97	4,362	4,493	4,583	4,580	4,568	4,774	4,607	4,758	4,843	4,885	4,872	4,901
	胃	C16	697	753	710	703	684	678	691	719	726	719	668	693
	大腸	C18-C20	468	459	462	478	446	488	439	487	500	529	547	511
	肝	C22	732	751	728	734	697	710	621	707	644	603	604	579
	肺	C33-C34	988	975	1,054	1,049	1,092	1,164	1,145	1,039	1,087	1,117	1,110	1,162
	膵臓	C25	228	280	278	256	301	295	285	339	353	332	357	399
女	全部位	C00-C97	2,878	2,993	2,968	3,000	3,134	3,220	3,142	3,278	3,308	3,281	3,340	3,394
	胃	C16	442	387	366	409	427	413	374	395	406	376	395	417
	大腸	C18-C20	377	403	428	423	422	425	430	421	450	436	439	469
	肝	C22	340	388	358	338	389	336	320	379	356	338	312	303
	肺	C33-C34	350	365	370	393	411	461	433	434	458	496	486	460
	膵臓	C25	233	239	260	279	261	293	289	316	300	311	339	365
	乳房	C50	219	219	224	201	224	264	254	265	245	273	243	281

付表6-4 年齢調整死亡率の年次推移

			2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
男	全部位	C00-C97	198.6	199.2	196.5	191.3	185.0	187.2	175.0	177.6	176.8	173.6	169.3	166.6
	胃	C16	31.7	33.8	30.4	29.2	27.9	26.7	25.8	26.7	26.0	25.6	22.7	23.6
	大腸	C18-C20	21.3	20.7	19.8	20.2	18.2	19.5	16.7	18.5	19.2	19.1	19.8	18.4
	肝	C22	34.5	34.2	32.6	32.3	29.7	28.5	24.5	27.6	23.7	22.4	21.2	20.3
	肺	C33-C34	44.0	42.5	44.3	42.5	42.7	44.5	43.2	37.7	39.2	39.3	38.1	38.3
	膵臓	C25	10.5	12.4	12.3	10.8	12.6	11.9	11.1	12.9	13.5	12.5	13.0	14.1
女	全部位	C00-C97	93.9	95.0	92.0	89.0	88.7	91.2	85.1	86.5	86.6	83.9	82.9	83.3
	胃	C16	13.8	11.4	11.2	12.0	11.2	11.0	9.1	10.2	9.8	9.2	9.0	9.7
	大腸	C18-C20	11.7	12.2	12.3	11.1	11.4	10.9	10.9	10.5	11.1	10.3	10.7	11.0
	肝	C22	10.9	11.7	10.2	9.8	10.5	8.6	7.9	8.8	8.3	7.1	6.9	6.5
	肺	C33-C34	9.9	10.7	11.4	11.3	10.9	12.4	11.0	10.7	11.1	12.1	11.0	10.6
	膵臓	C25	7.2	7.0	7.6	7.8	6.9	7.7	7.7	7.8	7.4	7.2	7.6	7.9
	乳房	C50	10.5	10.1	9.9	8.8	9.8	11.4	10.1	11.0	10.7	10.9	9.6	10.4

2003-2013年は2018年2月19日確定データ 2014年は2018年3月2日確定データ





## V 参 考 资 料

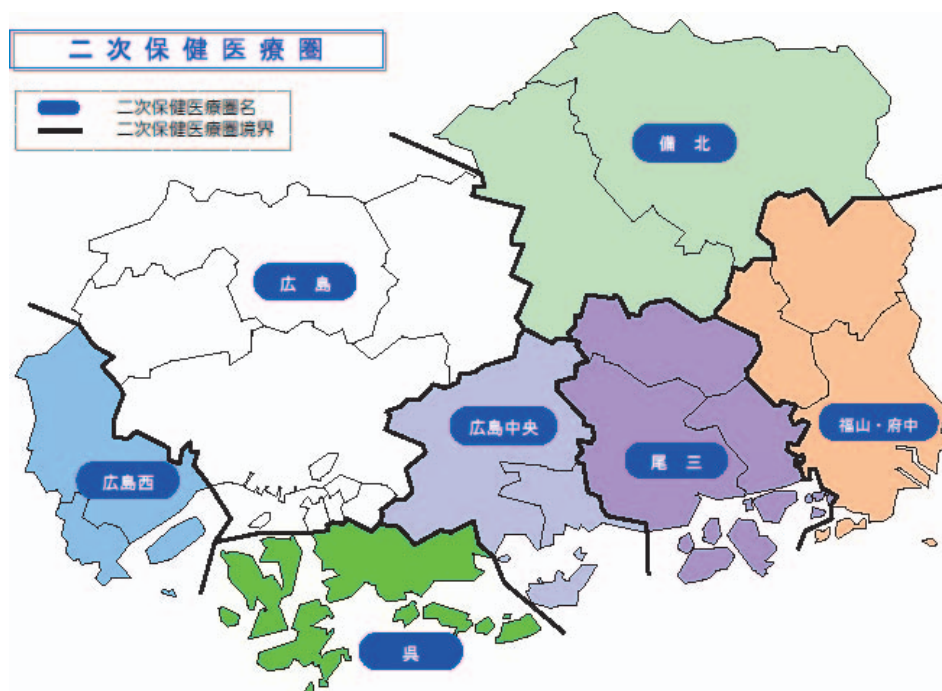


## 1. 二次保健医療圏

地域における基本的な保健医療体制の整備から、全県的な高度専門医療の確保まで、それぞれに必要なとされる機能の効果的・効率的な整備促進と医療資源の有効活用を図るため、以下の圏域が設定されている。

- ①市町を単位とする「一次保健医療圏」
- ②保健医療の基本単位としての「二次保健医療圏」
- ③全県を単位とする「三次保健医療圏」

本報告書では、二次保健医療圏を単位として死亡数、罹患数、標準化死亡比、標準化罹患比を算出している。



広島県の二次保健医療圏

### 各二次保健医療圏の市町名

広島	広島市、安芸高田市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸太田町、北広島町
広島西	大竹市、廿日市市
呉	呉市、江田島市
広島中央	東広島市、竹原市、大崎上島町
尾三	三原市、尾道市、世羅町
福山・府中	福山市、府中市、神石高原町
備北	三次市、庄原市

2. 広島県地域がん登録届出票

(1) 届出票 (平成18年まで)

秘

広島県がん登録届出票

\* 欄は記入しないでください。

\* 受付 年 月 日 \* 受付No

\* 受付年月日

この届出票は退院時に作成してください。

\* 受付No

ふりがな		性別	年齢	生年月日
入院患者氏名		男・女		1 明治
カルテ番号 (貴院のもの)				2 大正
現住所		市	区	
		郡	町	丁目

H

臨床診断名	
① 部位 (詳細は要領参考)	左・右・両側・不明 (左右臓器がある場合は該当するものに○印)
② 原発・再発	原発・局所再発・遠隔転移* (原発部位: )・不明 ※今回登録する‘がん’が転移がんの場合は上記( )内に原発部位を記入
③ 診断年月日 (がんの診断が確定した日付)	診断年月日 西暦 年 月 日 ※初発(原発)がんの診断が貴院の場合は貴院での診断年月日を記入 ※原発がんの診断が他施設の場合は他施設での診断年月日および施設名を記入 ※局所再発および遠隔転移の場合は原発がんの診断年月日を、不明の場合は貴院でがんを診断した年月日を記入 他施設名 ( )
④ 受診動機 (診断契機)	(受診までの経過で該当するすべてに○印) 1 任意の受診 2 制度による検診 3 任意の健康診断 4 検診での要精査 5 自科でフォロー中 6 他病の医療施設、自施設他の診療科からの紹介 7 剖検 8 その他( ) * 受診の際の自覚症状 a 有 b 無
診断根拠	(該当するすべてに○印) 1 病理組織診断 2 細胞診 3 手術所見 4 内視鏡 5 画像診断 6 臨床所見 7 剖検 8 腫瘍マーカー 9 その他( )
病理組織診断名	(病理検査を行った場合はその診断名を記入してください。)
⑤ 進行度	(該当するすべてに○印) 1 早期がん 2 上皮内がん 3 原発臓器に局限 4 隣接臓器への浸潤 5 所属リンパ節転移 6 遠隔転移 7 不明 (可能であれば病期を記入) Stage 【 】
⑥ 治療内容	(今回入院時行ったがんに対するすべての治療に○印) 1 手術 (内視鏡的切除を含む) (1)手術日;西暦 年 月 日 (2)術式; (3)根治度; a 治癒切除 b 非治癒切除 c 非切除 d 不明 2 放射線療法 3 化学療法 4 内分泌療法 5 免疫療法 6 対症療法 7 その他( ) 8 無治療 (過去に治療のある場合は、わかる範囲で初回治療についても記載) 1 手術 (内視鏡的切除を含む) (1)手術日;西暦 年 月 日 (2)術式; (3)根治度; a 治癒切除 b 非治癒切除 c 非切除 d 不明 2 放射線療法 3 化学療法 4 内分泌療法 5 免疫療法 6 対症療法 7 その他( ) 8 無治療
医療施設	施設名 診療科名 医師名

H

\* 受付年月日

\* 受付No

\* 施設

\* 科

\* カルテ番号

\* 市町村コード

\* ICDO-T

\* 左右

\* 原発・転移

\* 原発部位

\* 原発左右

\* 初発診断年月日

\* 初発診断施設

\* 動機

\* 症状の有無

\* 基準

\* ICDO-M

\* 進行度

\* Stage

\* 手術年月日

\* 根治度

\* 治療

\* 初回手術年月日

\* 初回根治度

\* 初回治療

\* 潜在  \* 早期

\* 多発  \* 剖検

(2) 届出票 改訂版 (平成19年から)

広島県地域がん登録届出票 秘

太枠内を記入してください  
\*欄は事務局使用のため記入しないでください

医療機関	名称		診療科	届出医師名	* 受付番号							
	* P		* [ ]		* 受付年月日							
ふりがな		貴院患者ID										
氏名	姓	名		性別	1 男 2 女 3 他	生年月日	0 西暦 1 明治 2 大正 3 昭和 4 平成	年 月 日				
	住所		広島県		市 区 町 丁目	* [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]						
診断名 〔原発臓器〕	左右	両側臓器のみ記載 1 右 2 左 3 両側		病理 診断名	形態、性状、分化度がわかるよう詳細をお願いします							
	部位 〔臓器名と 詳細部位〕	例 胃U, 肺S2, など (白血病は「骨髓」, 悪性リウマチは「主病変の部位」を記載)			潜在がん 1 有 2 無 多発がん 1 有 2 無 * [ ] [ ] [ ] [ ]	* C [ ] [ ] [ ] [ ]						
診断 情報	初発・再発	1 初発 2 再発・治療開始後 3 疑い例										
	診断方法 (複数回答可)	1 原発巣の組織診 2 転移巣の組織診 3 細胞診 4 部位特異的腫瘍マーカー(AFPやPSAなど) 5 臨床検査 (画像診断, 内視鏡・体腔鏡・手術肉眼所見を含む) 6 臨床診断										
	診断日	自施設診断日	0 西暦 1 昭和 2 平成	年 月 日	診断日の優先順位は、診断方法1-3選択の場合は検体採取日、 診断方法4-5選択の場合は検査日、診断方法6選択の場合は入院日、初診日							
		初回診断日	0 西暦 1 昭和 2 平成	年 月 日	初めて診断された日が前医の場合、あるいは再発・治療開始後の場合							
発見経緯	1 がん検診 2 健診・人間ドック 3 他疾患の経過観察中 4 剖検 9 その他(自覚症状も含む)・不明											
病期	手術施行の場合は術後評価を優先 (ただし、術前に補助療法を施行した場合は、その療法の開始前評価を採用する)											
	病巣の 拡がり	(大腸m癌の場合、上皮内にO) 0 上皮内 1 限局 2 所属リンパ節転移 3 隣接臓器浸潤 4 遠隔転移 9 不明										
	UICC TNM	T [ ]	N [ ]	M [ ]	ステージ [ ]	(胃, 大腸, 肝, 肺, 乳がんは必ず記載してください)						
壁深達度	食道, 胃, 大腸, 胆嚢, 胆管の癌の場合はOをつけてください 早期癌: (01)is/ep (10)m (20)sm (30)深達度が不明の早期癌 進行癌: (40)pm/mp/S0 (51)ss/S1 (52)a1 (61)se/S2 (62)a2/ad (71)si/S3 (72)ai/adj (88)深達度が不明の進行癌 不明: (99)切除したが深達度が不明 (97)非切除, かつ肉眼・画像診断等で深達度が不明											
	届出症例の腫瘍径, リンパ節転移の拡がり, 遠隔転移部位など, 病巣の拡がりの判定に役立つ情報を記載してください											
治療法 〔初回治療〕	観血的 治療	1 手術	1 有 2 無	実施日	0 西暦 1 平成	年 月 日						
		2 体腔鏡的 (胸腔鏡・腹腔鏡)	1 有 2 無	実施日	0 西暦 1 平成	年 月 日						
		3 内視鏡的	1 有 2 無	実施日	0 西暦 1 平成	年 月 日						
		上記治療を総合した治療結果		1 治癒切除 2 非治癒切除 3 治癒度不明 4 姑息・対症療法 9 不詳								
	その他の 治療	1 放射線治療	1 有 2 無									
		2 化学療法	1 有 2 無									
		3 免疫療法・BRM	1 有 2 無									
	4 内分泌療法	1 有 2 無										
	9 その他	1 有 2 無										
死亡年月日	0 西暦 1 平成	年 月 日	剖検	1 有 2 無								
* 事務局使用欄	壁深達度	[ ]	観血的治療日	H [ ] [ ] [ ] [ ]	潜在	[ ]	早期	[ ]	多発	[ ]	剖検	[ ]

(3) 届出票と届出票の書き方 第3版 (平成22年1月から)

広島県地域がん登録届出票第3版(秘)

太枠内を記入して下さい  
\*欄は事務局使用のため記入しないでください

医療機関	名称	照会先所属	届出者	* 受付番号	_____		
	* P _____ *			* 受付年月日	_____		
心りがな				* No.	_____		
姓・名 (漢字)	姓	名	貴院患者ID	性別	1 男 2 女		
			生年月日	0 西暦 1 明治 2 大正 3 昭和 4 平成	年 月 日		
診断時住所	広島県 市 郡						
診断名 [原発臓器]	左右 (両側臓器のみ記載)	1 右 2 左 9 不明 3 両側 (卵巣腫瘍、腎芽腫、網膜芽細胞腫が両側に発生した場合のみ)	病理診断名	形態、性状、分化度がわかるよう詳細にお願いします			
	部位 [臓器名と詳細部位]	例 胃U、肺S1、など (悪性リンパ腫は「主病変の部位」を記載)		* 潜在がん 1 有 0 無 * 多発がん 1 有 0 無 * _____			
診断情報	初発・治療開始後	1 初発 (自施設で診断かつ/もしくは初回治療) 2 治療開始後 (前医で当該腫瘍の初回治療を開始した以降)・再発					
	診断根拠 (複数回答可)	1 原発巣の組織診 2 転移巣の組織診 3 細胞診 4 部位特異的腫瘍マーカー (PSA, AFP, HCG, VMA, 免疫グロブリン高値) 5 臨床検査 (画像診断、内視鏡・体腔鏡・手術所見を含む) 6 臨床診断			患者の全経過を通じて、がんと診断する根拠となった検査に○(初回治療前の診断に限定しない)		
	診断日	自施設診断日	0 西暦 1 昭和 2 平成	年 月 日	・初回治療前に自施設で実施した検査のうち、診断根拠の番号の最も小さい検査の検体採取日や検査日 ・他施設診断の場合は、当該腫瘍の自施設初診日		
	他施設診断日 (初回診断日)	0 西暦 1 昭和 2 平成	年 月 日	他施設診断の場合に、その診断日をわかる範囲で必ず記入 * 他施設名 ( )			
発見経緯	1 がん検診 2 健診・人間ドック 3 他疾患の経過観察中 4 剖検 9 その他 (自覚症状も含む)・不明						
病期	病巣の拡がり	(大腸mがんの場合、上皮内に○) 0 上皮内 1 限局 2 所属リンパ節転移 3 隣接臓器浸潤 4 遠隔転移 9 不明					
	UICC TNM	T _____ N _____ M _____	ステージ _____	初発の場合、UICC TNM分類は胃・大腸・肝・肺・乳がんでは必ず記載			
	* 壁深達度	食道、胃、大腸、胆管、胆のうの癌の場合は○をつけてください 早期癌：(01) is/ep (10) m (20) sm (30) 深達度が不明の早期癌 進行癌：(40) pm/mp/S0 (50) a (51) ss/S1 (52) a1 (61) se/S2 (62) a2/ad (71) si/S3 (72) ai/adj (88) 深達度が不明の進行癌 不明：(99) 切除したが深達度が不明 (97) 非切除、かつ肉眼・画像診断等で深達度が不明					
届出症例の腫瘍径、リンパ節転移の拡がり、遠隔転移部位など、病巣の拡がりの判定に役立つ情報を記載してください							
初回治療	観血的治療	手術	1 有 2 無	* 実施日	0 西暦 1 平成	年 月 日	
		体腔鏡的 (胸腔鏡・腹腔鏡)	1 有 2 無	* 実施日	0 西暦 1 平成	年 月 日	
		内視鏡的	1 有 2 無	* 実施日	0 西暦 1 平成	年 月 日	
	その他の治療	観血的治療を総合した治療結果		原発巣切除 (1 治癒切除 2 非治癒切除 3 治癒度不明) 4 姑息・対症療法・転移巣切除・試験開腹 9 不詳			
		放射線	1 有 2 無				
		化学療法	1 有 2 無				
		免疫療法	1 有 2 無				
内分泌療法	1 有 2 無						
その他	1 有 2 無	( )					
死亡年月日	0 西暦 1 平成	年 月 日	* 剖検	1 有 0 無			
* 事務局使用欄	壁深達度	観血的治療日	H _____	潜在	早期	多発	剖検

\* は広島県独自項目

平成22年1月 第3版



# 広島県地域がん登録 届出票の書き方

(平成22年1月 第3版)

広島県 広島県医師会 放射線影響研究所

## 届出対象

- 1) 診断時住所が**広島県内**にある方について届け出てください。
- 2) **上皮内がんを含む悪性腫瘍**（国際疾病分類腫瘍学第3版（ICD-O-3）の性状2または3）を届け出てください。なお、**中枢神経系**（脳・脊髄・髄膜）は**良性・悪性にかかわらず**届け出てください。
- 3) **原発部位**について届け出てください。
- 4) **初回入院の退院時**と**死亡退院時**に届け出てください。
- 5) **一連の初回治療**のうち**自施設で実施したもの**について届け出てください。
- 6) **多重がん**の場合は**別々の届出票**に記入してください。多重がんかどうかの判断は、主治医または病理医の判断を優先してください。

## 届出票の書き方

①医療機関	自施設名称。正式名称記入が望ましい（ゴム印でも可）。照会先所属、届出者は問い合わせに対応できる担当者を記入してください。
②貴院患者ID（カルテ番号）	貴院で患者固有に与えられている番号・記号を記入してください。患者照会に使用します。
③姓・名（漢字）	重複登録を防ぐ大事な項目のため、カタカナ・ひらがな・イニシャルでの表記を避け、姓と名を別々に漢字で記入してください。なお、本名がカタカナ、ひらがなの方はそのまま、また漢字表記できない場合の外国人名はカタカナで記載してください。漢字表記できる外国人名は漢字でお書きください。本名以外に日本名（通名）を持つ場合は本名を記入してください。
④性別	該当する番号を○で囲んでください。
⑤生年月日	生年月日を記入。西暦もしくは和暦（元号）、どちらでも記入可。
⑥診断時住所	診断時に居住していた住所。市町村のみならず、マンション・部屋番号までの詳細な住所を記入してください。
診断名	⑦左右 原発部位が両側臓器のみ記入してください。左右別のない臓器（例えば、脳、甲状腺、肝臓など）は記入不要です。その他の両側臓器において、一方が他方の転移と判断されない腫瘍が左右に存在するとき、左右それぞれを独立した腫瘍として別々の届出票に記入してください。一方が他方の転移で、原発側が判断されないときは「不明」としてください。「両側」は卵巣腫瘍・腎芽腫・網膜芽細胞腫が両側に発生した場合のみ選択してください。皮膚の正中は、部位欄に「正中」と記載してください。両側臓器については《表1》「両側のある臓器」を参照してください。
	⑧部位 腫瘍の原発部位を、できるだけ詳細な情報を含んだ言葉（日本語・英語どちらでも可）で記入してください。ICD-O-3の局在コードのみでの届出はしないでください。固形腫瘍では、原発臓器名とその詳細部位を記入してください（例：「肺左上葉」、「結腸脾彎曲部」等）。転移性がんの場合は原発臓器を記入してください（例：食道がんの肺転移は、転移部位の「肺」ではなく「食道」と記入）。原発が不明な場合は「原発不明」と記入してください。白血病の場合、診断部位は「骨髄」とし、病理診断名に「急性骨髄性白血病M2」等と記入してください。悪性リンパ腫の場合、診断部位は主病変とし（例：胃の悪性リンパ腫の場合は「胃」を記入）、詳細な診断名は病理診断名に「びまん性大細胞性B細胞型リンパ腫」のように記入してください。
	⑨病理診断名 【病理診断名】腫瘍の病理組織を、できるだけ詳細な情報を含んだ言葉で記入してください。病理報告に記入されている組織型を完全に記入することが望まれます。腫瘍の形状、性状（良性、良悪不詳、上皮内、悪性等）、および分化度（高・中・低・未分化）リンパ性造血器腫瘍の場合の表面抗原（T-cell、B-cell、Null-cell）等をすべて記入してください。病理診断名がない場合は、臨床診断名を「部位」欄に記入してください。 【潜在がん】病理診断名にoccult、latent、micro、minute、incidental、unactualizedの記載がある時、有に○をつけてください。 【多発がん】一つの部位で、同じ組織型の複数のがんが診断された時、有に○をつけてください。
診断情報	⑩初発・治療開始後 初発、治療開始後・再発を区別するための項目です。 【初発】自施設において、当該腫瘍の診断、初回治療、あるいは診断と初回治療を実施した場合に○をつけてください。 【治療開始後・再発】他施設にて当該腫瘍の初回治療を開始した後に自施設にて初回治療を継続あるいは診療を継続した場合、または初回治療が完了した後再発し、自施設で死亡した場合に○をつけてください。



	⑪診断根拠	<p>当該腫瘍が悪性腫瘍であること、その原発部位ならびに病理組織の確定に際し、患者の全経過を通じて最も寄与した情報（初回治療前の診断に限定しない。他施設における診断情報も含む）。複数回答も可。</p> <p>【1原発巣の組織診】 原発巣からの病理組織診断によるがんの診断、白血球の骨髓穿刺を含みます。</p> <p>【2転移巣の組織診】 転移巣からの病理組織診断によるがんの診断。</p> <p>【3細胞診】 喀痰、尿沈渣、膈分泌物等による剥離細胞診、ファイバースコープ等による擦過、吸引細胞診、あるいは洗浄細胞診を含みます。白血病および悪性リンパ腫の一般血液検査も、この項に含まれます。</p> <p>【4部位特異的な腫瘍マーカー】 腫瘍マーカーとしては以下のものに限り、( )内は参考として対象となる疾病をあげておきます。PSA(前立腺がん)、AFP(肝細胞がん)、HCG(絨毛がん)、VMA(神経芽細胞腫)、血清・尿中免疫グロブリン(多発性骨髄腫、ワルデンストロームマクログロブリン血症)高値。</p> <p>【5臨床検査】 画像診断(特殊撮影、造影全て。MRI、RI検査、PET、超音波検査を含みます)、手術・体腔鏡下の肉眼的診断を含みます。</p> <p>【6臨床診断】 1～5以外の場合。</p>
	⑫自施設診断日	<p>自施設において当該腫瘍の初回診断がなされた場合の届出では、初回治療前に自施設で実施した検査のうち、⑪診断根拠の番号の最も小さい検査の検体採取日や検査日を記入(組織診検体採取日、細胞診検体採取日、腫瘍マーカー検体採取日、画像診断検査日の順で優先)。前医・他施設において当該腫瘍の初回診断がなされた場合の届出では、自施設の当該腫瘍初診日を記入。生前に存在が疑われていなかったがんが病理解剖によりはじめて診断された場合は、死亡日を自施設診断日とします。西暦もしくは和暦(元号)、どちらでも記入可。年月日まで記入。</p>
	⑬他施設診断日(初回診断日)	<p>前医・他施設において、すでに当該腫瘍の診断がなされていた場合の届出では、前医・他施設において当該腫瘍の初回治療前に「がん」と診断する根拠となった検査を行った日をわかる範囲で必ず記入。西暦もしくは和暦(元号)、どちらでも記入可。できる限り年月日まで記入。詳細が不明な場合でも、分かる範囲で記入。(例: 4月上旬、4月頃、春頃、2009年頃等)</p>
	⑭発見経緯	<p>当該腫瘍が診断される発端となった状況を把握するための項目です。</p> <p>【1がん検診】 がんの早期発見・早期治療を目的とし、一連の定型的な検査を行う場合。 自覚症状を持ちながらがん検診を受けがんと診断された場合は「がん検診」とします。</p> <p>【2健診・人間ドック】 健診は健康一般に関する一連の検査を行う場合で、人間ドックは個人を対象にした、より詳細な健康一般に関する検査。</p> <p>【3他疾患の経過観察中】 入院時ルーチン検査を含みます。</p> <p>【4剖検】 剖検によってはじめて腫瘍の存在が発見された場合。</p> <p>【9その他】 自覚症状があり受診した場合など。</p>
病期	⑮病巣の拡がり	<p>病巣の拡がりとは、腫瘍の原発部位での拡がりの程度と、所属リンパ節・遠隔臓器への転移の有無に基づき、大まかに分類する方法です。術後病理学的診断による進展度が判明していればそれを優先し、なければ治療前の進展度を用います。ただし、腫瘍の縮小を目的とした化学療法や放射線療法、あるいは免疫・内分泌療法などを施行の後、手術(体腔鏡的・内視鏡的手術を含む)を施行した場合は、治療前の進展度を優先します。</p> <p>【0上皮内】 がんが原発臓器に局限しており、かつ上皮内にとどまるもの。</p> <p>【1局限】 がんが原発臓器に局限しているもの。</p> <p>【2所属リンパ節転移】 所属リンパ節への転移を伴うが、隣接組織、臓器への浸潤がないもの。</p> <p>【3隣接臓器浸潤】 隣接組織、臓器に直接浸潤しているが、遠隔転移がないもの。</p> <p>【4遠隔転移】 遠隔転移があるもの。所属リンパ節以外のリンパ節への転移は遠隔に○をしてください。</p>
	⑯UICC TNM	<p>主要5部位(胃、大腸、肝、肺、乳がん)は必ずUICC TNM分類に基づき記載してください。P5～P6の「TNM臨床分類(抜粋)」を参照してください。</p>
	⑰壁深達度	<p>食道、胃、大腸、胆管、胆のうについては、該当する壁深達度を選択してください。非切除でも例えば内視鏡検査で胃がんのTcは(30)深達度が不明の早期癌(早期癌NOS)としてください。《表2》「壁深達度」を参照してください。</p>
初回治療	⑱観血的治療	<p>当該腫瘍における一連の初回治療のうち自施設で実施したものを記入してください。再発では記載不要です。</p> <p>【手術】 自施設での初回治療における、外科的治療の有無を記入。 (例: <u>包含</u>子宮頸がんの円錐切除術 <u>除外</u>前立腺がんの去勢術→内分泌療法)</p> <p>【体腔鏡的】 自施設での初回治療における、体腔鏡的治療の有無を記入。</p> <p>【内視鏡的】 自施設での初回治療における、内視鏡的治療の有無を記入。</p> <p>【観血的治療を総合した治療結果】 当該のがんに対する手術・体腔鏡的・内視鏡的治療を実施した場合のみ根治度を記入してください。初回治療として行った総合的な結果を記入してください。内視鏡的な治療を最初に行ったが、その後外科的な追加切除を必要とした場合は、外科的切除の根治度を記入してください。根治度の記入は、組織学的に判断された根治度を用いるのが好ましいです。組織的根治度が得られない場合、肉眼的根治度を用います。 ※治癒切除、非治癒切除の定義:領域(所属リンパ節、隣接臓器)までの切除は以下のように定義します。 治癒切除:腫瘍を完全に摘除した場合(相対、絶対切除を含みます)。 非治癒切除:腫瘍の切除が不完全であった場合(切除しきれなかった場合)。</p>

⑱その他の治療	<p>【放射線】自施設での初回治療における、放射線治療の有無に○をしてください。</p> <p>【化学療法】自施設での初回治療における、化学療法の有無に○をしてください。化学療法については、定義が曖昧な部分がありますが、免疫療法・BRMや内分泌療法を包含しないことに留意してください。(例: [包含]ハーセプチンによる乳がん治療、肝臓のTAI)</p> <p>【免疫療法】自施設での初回治療における、免疫療法・BRM療法の有無に○をしてください。BRM(biological response modifier:生体応答調整物質)については、「腫瘍細胞に対する宿主の生物学的応答を修飾することによって、治療効果をもたらす物質または方法」いわゆる非特異的な免疫賦活療法を指すものとします。</p> <p>【内分泌療法】自施設での初回治療における、内分泌療法の有無に○をしてください。内分泌療法とは、がん組織に対し、ホルモンバランスを替えることにより何らかの効果を求めた治療です。ホルモン投与、ホルモン代謝を拮抗する薬剤、抗ホルモン剤、エストロゲン依存性腫瘍に対する卵巣摘出術等がそれにあたります。(例: [包含]前立腺がんの去勢術)</p> <p>【その他】自施設での初回治療における、上記(手術～内分泌療法)以外の治療の有無に○をしてください。TAE(肝動脈塞栓術)、PEIT(経皮的エタノール注入療法)、温熱療法、レーザー等治療(焼灼)等を含みます。</p>
⑳死亡年月日	死亡日が判明している場合、記入してください。西暦もしくは和暦(元号)、どちらでも記入可。
㉑剖検	剖検の施行の有無について、該当する番号に○をしてください。

《表1》両側のある臓器(ICD-O-3の局在コードと部位)

局在コード	部位名	局在コード	部位名	局在コード	部位名
C07.9	耳下腺	C40.0	肩甲骨および上肢の長骨	C49.1	上肢・肩の軟部組織
C08.0	顎下腺	C40.1	上肢の短骨	C49.2	下肢・股関節部の軟部組織
C08.1	舌下腺	C40.2	下肢の長骨	C50.0-50.9	乳房
C09.0	扁桃窩	C40.3	下肢の短骨	C56.9	卵巢
C09.1	扁桃口蓋弓(前)(後)	C41.3	肋骨、胸骨および鎖骨	C57.0	卵管
C09.8	扁桃の境界部病巣	C41.4	骨盤骨、仙骨および尾骨	C62.0-62.9	精巣
C09.9	扁桃、部位不明	C44.1	眼瞼の皮膚、眼角を含む	C63.0	精巣上体
C30.0	鼻腔	C44.2	耳および外耳道の皮膚	C63.1	精索
C30.1	中耳	C44.3	その他の部位不明の顔面の皮膚	C64.9	腎盂を除く腎
C31.0	上顎洞	C44.5	体幹の皮膚	C65.9	腎盂
C31.2	前頭洞	C44.6	上肢の皮膚、肩を含む	C66.9	尿管
C34.0	主気管支	C44.7	下肢の皮膚、股関節部を含む	C69.0-69.9	眼球・涙腺
C34.1-34.9	肺	C47.1	上肢の末梢神経、肩を含む	C74.0-74.9	副腎
C38.4	胸膜	C47.2	下肢の末梢神経、股関節部を含む	C75.4	頸動脈小体

出典:地域がん登録の手引き改訂第5版[詳細版]

《表2》壁深達度

コード	表記	説明	食道	胃	大腸	胆管	胆のう
01	is/ep	癌腫が粘膜上皮にとどまる病変。基底膜を越えない。	○	○	○	○	○
10	m	癌が粘膜にとどまり、粘膜下層に及んでいない/粘膜固有にとどまる・粘膜筋板を越えない。	○	○	○	○	○
20	sm	癌が粘膜下層にとどまり、固有筋層に及んでいない。	○	○	○		
30	早期癌NOS	早期癌NOS(顕微鏡的確認の有無を問わない)	○	○	○	○	○
40	pm/mp/S0	癌が固有筋層にとどまり、これを越えていない。	○	○	○	○	○
50	a	癌が固有筋層を越えて浸潤している。			○		
51	ss/S1	癌が固有筋層を越えているが、漿膜表面に出していない。	○	○	○	○	○
52	a1	癌が固有筋層を越えているが、さらに深くは浸潤していない。			○		
61	se/S2	癌が漿膜表面に露出している。		○	○	○	○
62	a2/ad	癌が筋層を越えてさらに深く浸潤している/外膜に浸潤しているが、他臓器に浸潤していない。	○		○		
71	si/S3	癌が直接他臓器に浸潤している。		○	○	○	○
72	ai/adj	癌が直接他臓器に浸潤している。	○		○		
88	進行癌NOS	進行癌NOS(顕微鏡的確認の有無を問わない)。	○	○	○	○	○
99	不明	病変が切除されているが壁深達度不明なもの。	○	○	○	○	○
97	非切除例	登録対象癌腫で、病変が切除されていない場合。	○	○	○	○	○

# 広島県地域がん登録届出票第3版(秘)

太枠内を記入して下さい  
\*欄は事務局使用のため記入しないでください

① 医療機関	名称	照会先所属	届出者	* 受付番号 _____
	* P _____ *			* 受付年月日 _____
ふりがな	② 貴院患者ID			* No. _____
③ 姓・名 (漢字)	姓	名	④ 性別 1 男 2 女	⑤ 生年月日 0 西暦 1 明治 2 大正 3 昭和 4 平成
	年 月 日			
⑥ 診断時住所	広島県	市 郡		

⑦ 左右 (両側臓器のみ記載)	1 右 2 左 9 不明	⑨ 病理診断名	形態, 性状, 分化度がわかるよう詳細をお願いします
	3 両側 (卵巣腫瘍, 腎芽腫, 網膜芽細胞腫が両側に発生した場合のみ)		★潜在がん 1 有 0 無 ★多発がん 1 有 0 無 * _____
⑧ 部位 [臓器名と詳細部位]	例 胃U, 肺S1, など (悪性リンパ腫は「主病変の部位」を記載)	* C _____	

⑩ 初発・治療開始後	1 初発 (自施設で診断かつ/もしくは初回治療) 2 治療開始後 (前医で当該腫瘍の初回治療を開始した以降) ・再発			
	⑪ 診断根拠 (複数回答可)	1 原発巣の組織診 2 転移巣の組織診 3 細胞診		患者の全経過を通じて, がんと診断する根拠となった検査に○(初回治療前の診断に限定しない)
		4 部位特異的腫瘍マーカー (PSA, AFP, HCG, VMA, 免疫グロブリン高値) 5 臨床検査 (画像診断, 内視鏡・体腔鏡・手術所見を含む) 6 臨床診断		
	⑫ 診断日	自施設診断日	0 西暦 1 昭和 2 平成	年 月 日
⑬ 他施設診断日 (初回診断日)		0 西暦 1 昭和 2 平成	年 月 日	他施設診断の場合に, その診断日をわかる範囲で必ず記入 ★他施設名 ( )
⑭ 発見経緯	1 がん検診 2 健診・人間ドック 3 他疾患の経過観察中 4 剖検 9 その他 (自覚症状も含む) ・不明			

⑮ 病期の 拡がり	(大腸がんの場合, 上皮内に○) 0 上皮内 1 限局 2 所属リンパ節転移 3 隣接臓器浸潤 4 遠隔転移 9 不明					
	⑯ UICC TNM	T _____	N _____	M _____	ステージ _____	初発の場合, UICC TNM分類は胃・大腸・肝・肺・乳がんでは必ず記載
	⑰ 壁深達度	食道, 胃, 大腸, 胆管, 胆のうの癌の場合は○をつけてください 早期癌: (01) is/ep (10) m (20) sm (30) 深達度が不明の早期癌 進行癌: (40) pm/mp/S0 (50) a (51) ss/S1 (52) a1 (61) se/S2 (62) a2/ad (71) si/S3 (72) ai/adj (88) 深達度が不明の進行癌 不明: (99) 切除したが深達度が不明 (97) 非切除, かつ肉眼・画像診断等で深達度が不明				

再発では記載不要

届出症例の腫瘍径, リンパ節転移の拡がり, 遠隔転移部位など, 病期の拡がりの判定に役立つ情報を記載してください

⑱ 初回治療 貴院における初回の一連の治療についてすべてご記入ください 再発では記載不要	⑱ 観血的治療	手術	1 有 2 無	★実施日	0 西暦 1 平成	年 月 日	
		体腔鏡的 (胸腔鏡・腹腔鏡)	1 有 2 無	★実施日	0 西暦 1 平成	年 月 日	
		内視鏡的	1 有 2 無	★実施日	0 西暦 1 平成	年 月 日	
	観血的治療を総合した治療結果		原発巣切除 (1 治癒切除 2 非治癒切除 3 治癒度不明) 4 姑息・対症療法・転移巣切除・試験開腹 9 不詳				
	⑲ その他の治療	放射線	1 有 2 無				
		化学療法	1 有 2 無				
		免疫療法	1 有 2 無				
内分泌療法		1 有 2 無					
その他		1 有 2 無 ( )					

⑳ 死亡年月日	0 西暦 1 平成	年 月 日	㉑ 剖検	1 有 0 無
---------	--------------	-------	------	---------

* 事務局使用欄	壁深達度 _____	観血的治療日 H _____	潜在 _____	早期 _____	多発 _____	剖検 _____
----------	------------	----------------	----------	----------	----------	----------

★は広島県独自項目

平成22年1月 第3版

# UICC TNM 悪性腫瘍の分類 第6版 TNM臨床分類(抜粋)

## 胃

TX	原発腫瘍の評価が不可能
T0	原発腫瘍を認めない
Tis	上皮内癌：粘膜固有層に浸潤していない上皮内癌
T1	粘膜固有層または粘膜下層に浸潤する腫瘍
T2	固有筋層または漿膜下層に浸潤する腫瘍 <sup>1</sup>
T2a	固有筋層に浸潤する腫瘍
T2b	漿膜下層に浸潤する腫瘍
T3	漿膜（臓側腹膜）に浸潤しているが、隣接臓器にまで浸潤していない腫瘍 <sup>1,2,3</sup>
T4	隣接臓器にまで浸潤している腫瘍 <sup>2,3</sup>

注：1. 漿膜下浸潤腫瘍では、たとえ胃結腸間膜や胃肝間膜、あるいは大網や小網を進展した場合でも、それらの漿膜が浸潤されなければT2に分類する。これら胃間膜や大・小網の漿膜に浸潤が及んだときには、T3に分類する。  
2. 胃の隣接臓器とは脾、横行結腸、肝、横隔膜、脾、腹壁、副腎、腎、小腸、後腹膜を指す。  
3. 胃から十二指腸や食道に浸潤が及んでいる場合には、これらの中で最も深い深達度により分類する。

NX	所属リンパ節転移の評価が不可能
N0	所属リンパ節転移なし
N1	1-6 個の所属リンパ節転移
N2	7-15 個の所属リンパ節転移
N3	16 個以上の所属リンパ節転移

## 結腸および直腸

TX	原発腫瘍の評価が不可能
T0	原発腫瘍を認めない
Tis	上皮内癌：上皮内腫瘍または粘膜固有層に浸潤 <sup>1</sup>
T1	粘膜下層に浸潤する腫瘍
T2	固有筋層に浸潤する腫瘍
T3	固有筋層をこえ、漿膜下層または腹膜被覆のない傍結腸あるいは傍直腸組織に浸潤する腫瘍
T4	直接他臓器または他組織 <sup>2,3</sup> に浸潤する腫瘍、および/または臓側腹膜を貫通する腫瘍

注：1. Tisには腺基底膜（上皮内癌）、または粘膜固有層（粘膜内癌）内に限局し、粘膜筋板を貫通して粘膜下層には至っていない癌を含む。  
2. T4の直接浸潤には漿膜を介し、他の結腸直腸に浸潤する場合も含まれる。たとえば、盲腸癌がS状結腸に浸潤する場合など。  
3. 肉眼的に、他の臓器や組織に密着している腫瘍はT4に分類する。しかし、癒着部に顕微鏡的に、腫瘍が認められない場合はpT3に分類しなければならない。

NX	所属リンパ節転移の評価が不可能
N0	所属リンパ節転移なし
N1	1-3 個の所属リンパ節転移
N2	4 個以上の所属リンパ節転移

注：結腸周囲または直腸周囲の脂肪組織内の腫瘍結節で、組織学的にリンパ節遺残の確証はないが、リンパ節様の平滑な外形を示すものはpNに分類する。結節の外形が不規則な場合はpTに分類し、同時にV1（顕微鏡的静脈侵襲）とする。もし、肉眼的に確認できるならばV2となる。これらの所見は静脈侵襲の存在を強く示唆するからである。

## 肝臓

TX	原発腫瘍の評価が不可能
T0	原発腫瘍を認めない
T1	単発で脈管浸潤のない腫瘍
T2	単発で脈管浸潤を伴う腫瘍、または多発性で、最大径が5cm以下の腫瘍
T3	最大径が5cmをこえる多発腫瘍、または門脈または肝静脈または肝静脈の大分枝に浸潤した腫瘍
T4	胆嚢以外の隣接臓器に直接浸潤する腫瘍、または肝癌破裂を起した腫瘍

NX	所属リンパ節転移の評価が不可能
N0	所属リンパ節転移なし
N1	所属リンパ節転移あり

## 肺

TX	原発腫瘍の評価が不可能か、または画像上または気管支鏡的には観察できないが、痰または気管支分泌物中に悪性細胞が存在すること で腫瘍の存在がわかるとき
T0	原発腫瘍を認めない
Tis	上皮内癌
T1	腫瘍の最大径が3cm以下で、健常肺組織、または肺胸膜に囲まれているもの。気管支鏡的に癌浸潤が葉気管支より中枢に及ばない もの（すなわち、主気管支におよんでいない） <sup>1</sup>
T2	腫瘍の大きさと進展度が以下のもの： ・最大径が3cmをこえる腫瘍 ・主気管支に浸潤が及ぶもの、腫瘍の中核側が気管分岐部より2cm以上はなれているもの ・臓側胸膜に浸潤する腫瘍 ・肺門に及び無気肺、あるいは閉塞性肺炎があるが片肺全野に及ばないもの
T3	大きさと無関係に隣接臓器、すなわち胸壁（superior sulcus tumorを含む）、横隔膜、縦隔胸膜、壁側心膜などに直接浸潤する腫瘍； または腫瘍が気管分岐部より2cm未満に及ぶもの <sup>1</sup> 、しかし気管分岐部に浸潤のないもの；または無気肺・閉塞性肺炎が片肺全野に及ぶもの
T4	大きさと無関係に縦隔、心臓、大血管、気管、食道、椎体、気管分岐部に浸潤の及ぶ腫瘍；同一肺葉に散在する腫瘍結節；悪性胸水を伴う腫瘍 <sup>2</sup>

注：1. 大きさと無関係に腫瘍の浸潤が気管支内に限局しているまれな表層浸潤型のもので、腫瘍が主気管支に及ぶものでもT1とする。  
2. 肺癌と関係のある胸水の多くは腫瘍によるものである。しかし、中には何回にも及ぶ細胞診検査にて陰性の例もある、非血性で非滲出性である。こういう場合は胸水が腫瘍と関係のないこと、胸水の性状を臨床的判断で決め、その病期から除外しT1、T2、またはT3とする。

NX	所属リンパ節転移の評価が不可能
N0	所属リンパ節転移なし
N1	原発腫瘍の直接浸潤を含み、同側気管支周囲、および/または同側肺門および肺内リンパ節の転移
N2	同側縦隔リンパ節転移、および/または下気管支分岐部リンパ節の転移
N3	対側縦隔、対側肺門、同側または対側斜角筋前、鎖骨上のリンパ節転移

## 乳腺腫瘍

TX	原発腫瘍の評価が不可能
T0	原発腫瘍を認めない
Tis	乳管内癌
Tis(DCIS)	非浸潤性乳管癌
Tis(LCIS)	非浸潤性小葉癌
Tis(Paget)	腫瘍を認めない乳頭の Paget 病
注：	腫瘍を伴った Paget 病は腫瘍の大きさに従って分類する。
T1	最大径が 2cm 以下の腫瘍
T1mic	最大径が 0.1cm 以下の微小浸潤
注：	微小浸潤とは病理学的に基底膜をこえた隣接組織へのがん細胞の拡がり、最大径が 0.1cm をこえない病巣をいう。微小浸潤病巣が複数認められる場合は最大径の病巣のみによって分類する（個々の病巣の合計を用いてはならない）。より大きな浸潤癌が多発している場合と同様に、微小浸潤病巣が多発していることを記録すべきである。
T1a	最大径が 0.1cm をこえるが 0.5cm 以下
T1b	最大径が 0.5cm をこえるが 1.0cm 以下
T1c	最大径が 1.0cm をこえるが 2.0cm 以下
T2	最大径が 2.0cm をこえるが 5.0cm 以下の腫瘍
T3	最大径が 5.0cm をこえる腫瘍
T4	腫瘍の大きさに関係なく、胸壁または皮膚への直接進展を示す腫瘍で、T4a から T4d まで表記される。
注：	胸壁は肋骨、肋間筋、および前鋸筋を含めるが、胸筋は含まない。
T4a	胸壁への進展
T4b	乳房皮膚の浮腫〔橙皮状皮膚 (peau d'orange) を含む〕、潰瘍形成および同側乳房に限局した衛星皮膚結節
T4c	T4a, T4b の両者を共有する
T4d	炎症性乳癌
注：	炎症性乳癌は類丹毒の辺縁にみられるようなびまん性の強い硬結を特徴とし、通常、その直下に腫瘍を触知しない。皮膚生検が陰性で計測可能な限局した原発腫瘍が無い場合に、臨床的な炎症性乳癌 (T4d) を病理学的に分類する際は pTX とする。T4b および T4d を除き、T1、T2、T3 の皮膚のえくぼ症状、乳頭陥凹、またはその他の皮膚病変は本分類に関与しない。
NX	所属リンパ節転移の評価が不可能（たとえば、すでに摘除した場合）
NO	所属リンパ節転移なし
N1	可動性の同側腋窩リンパ節転移
N2	固定した同側腋窩リンパ節転移、または臨床的に腋窩リンパ節転移を認めない場合で臨床的に明らかな * 同側胸骨傍リンパ節転移。相互に、あるいは周囲組織と固定している腋窩リンパ節転移。
N2a	臨床的に明らかな * 胸骨傍リンパ節転移のみで、臨床的に腋窩リンパ節転移を認めないもの。
N2b	腋窩リンパ節転移の有無を問わない同側鎖骨下リンパ節転移、臨床的に腋窩リンパ節転移を認める場合の臨床的に明らかな * 同側胸骨傍リンパ節転移、または腋窩または胸骨傍リンパ節転移の有無を問わない同側鎖骨上リンパ節転移
N3	鎖骨下リンパ節転移
N3a	鎖骨下リンパ節転移
N3b	胸骨傍および腋窩リンパ節転移
N3c	鎖骨上リンパ節転移
注：	* 臨床的に明らかなとは視触診、または画像診断（リンパ節シンチグラフィを除く）から検出されたものである。

## M - 遠隔転移

MX	遠隔転移の評価が不可能
MO	遠隔転移なし
M1	遠隔転移あり*
	* 肺の場合：遠隔転移（同側または対側）、他肺葉に散在する腫瘍結節を含む

### 問い合わせ先

広島県医師会 地域医療課『地域がん登録室』

〒732-0057 広島市東区二葉の里三丁目2番3号  
TEL 082-568-1511 FAX 082-568-2112

### 問い合わせ専用 E-mail

ask-gan@gaku.hiroshima.med.or.jp

※E-mail又はFAXにてお問い合わせください。



3. 広島県地域がん登録届出票（平成18年まで）項目と地域がん登録標準登録票項目の対応表

広島県地域がん登録届出票項目と地域がん登録標準登録票項目の対応表				
広島県地域がん登録登録票項目		地域がん登録標準登録票項目		ロジック変換
項目名	区分および説明	項目番号	項目名	区分および説明
入院患者氏名	(漢字氏名およびふりがな)	3	姓・名	(姓・名を別々に登録)
カルテ番号	(貴院のもの)	2	カルテ番号	
性別	男・女	4	性別	1:男, 2:女, 3:その他
年齢			(項目なし)	
生年月日	(和暦)	5	生年月日	
現住所		6	診断時住所	
臨床診断名		11	診断名 (原発部位名)	(登録室では、ICD-O-3-T でコード化する)
①部位	(詳細は要領参考)			
左右別	左・右・両側・不明 (左右臓器がある場合は該当するものに○印)	12	側性	1:右側, 2:左側, 3:両側
②原発・再発	原発・局所再発・遠隔転移※ (原発部位: )・不明 ※今回登録する'がん'が転移がんの場合は( )内に原発部位を記入		(項目なし)	広島:原発・再発を, 標準:診断結果に置換える (標準化の3に変換するものはなし)
③診断年月日	(がんの診断が確定した日付)西暦 ※初発(原発)がんの診断が貴院の場合は貴院での診断年月日を記入	7	診断結果	1:新発生確診, 2:治療開始後, 3:疑診
		8	初回診断日	「診断結果」の2:治療開始後の場合記載する。 (変換するものはなし)

					診断年月日, 手術年月日, 初回手術年月日の中で一番早い日を取ってくる。		
④受診動機 (診断契機)	※原発がんの診断が他施設の場合は他施設での診断年月日および施設名を記入 ※局所再発および遠隔転移の場合は原発がんの診断年月日を, 不明の場合は貴院でがんと診断した年月日を記入 他施設名( ) (受診までの経過で該当するすべてに○印) 1 任意の受診 2 制度による検診 3 任意の健康診断 4 検診での要精査 5 自科でフォロー中 6 他病の医療施設, 自施設他の診療科からの紹介 7 剖検 8 その他 受診の際の自覚症状(有・無) (該当するすべてに○印) 1 病理組織診断 2 細胞診 3 手術所見 4 内視鏡 5 画像診断 6 臨床所見	9	自施設診断日				
		10	発見経緯	(一つの間分を選択) (項目なし) 1: がん検診 2: 健康診断・人間ドック (1に含まれる) 3: 他疾患の経過観察中 (入院ルーチン検査を含む) (3に含まれる) 4: 剖検発見 9: その他(症状受診を含む), 不明			
		15	診断根拠	(一つの間分を選択) 1: 原発巣の組織診 2: 転移巣の組織診 3: 細胞診 5: 臨床検査 6: 臨床診断			

	7 剖検					4: 部位特異的な腫瘍マーカー 9: 不明	
病理組織診断名	(病理検査を行った場合はその診断名を記入してください)	14	組織診断名	(登録室では、ICD-O-3-M でコード化(組織型、性状、分化度))	分化度は全て 9		
⑤進行度	(該当するすべてに○印)			(一つの区分を選択)			
	1 早期がん			(項目なし)			
	2 上皮内がん			0: 上皮内			
	3 原発臓器に限局		進展度	1: 限局			広島進行度を、標準：進展度に置換え、 変換後、4 > 3 > 2 > 1 > 0 > 9 の順で選択する
	4 隣接臓器への浸潤	13	(臨床進行度)	3: 隣接臓器浸潤			報告書には広島届出では必ずしも初発時の進展度が 届出されていない
	5 所属リンパ節転移			2: 所属リンパ節転移			
	6 遠隔転移			4: 遠隔転移			
7 不明			9: 不明				
	Stage(可能であれば病期を記入)			(項目なし)			
⑥治療内容 (今入院時行 ったがんに対す るすべての治 療に○印)	1 手術(内視鏡的切除を含む)	16	外科的治療の有 無	1: 有, 2: 無, 9: 不明 (初回治療の内容を記載)			① 今回治療, 初回治療両方に手術日がある場合は 手術年月日, と初回手術年月日を比較し早い方の治療 を交換する。
		17	体視鏡的治療の有 無	1: 有, 2: 無, 9: 不明 (初回治療の内容を記載)			② 今回治療と初回治療両方に治療コードが入ってい る時は, 初回治療のコードを交換する。但し, 初回治 療が「無治療」のみ1の時は今回治療を交換する。
		18	内視鏡的治療の有 無	1: 有, 2: 無, 9: 不明 (初回治療の内容を記載)			③ 初回治療のみ治療コードが入っている時は初回治 療を交換する。
	(1) 手術日(西暦) (2) 術式			(項目なし) (項目なし)			④ 今回治療のみ治療コードが入っている時は今回治 療を交換する。
	(3) 根治度; a 治癒切除 b 非治癒 切除 c 非切除 d 不明	19	外科的・体視鏡 的・内視鏡的治 療の結果	1: 原発巣完全切除 2: 原発巣不完全切除 3: 原発巣切除治癒度不明 4: 姑息/対症/転移巣切除 9: 不詳 (初回治療の内容を記載)			



2005年6月届出分までの体腔鏡的治療は18内視鏡に  
含まれる

⑥治療内容 (過去に治療のある場合は、わかる範囲で初回治療についても記載)	2 放射線療法	20	放射線治療	1:有, 2:無, 9:不明 (初回治療の内容を記載)
	3 化学療法	21	化学療法	1:有, 2:無, 9:不明 (初回治療の内容を記載)
	4 内分泌療法	23	内分泌療法	1:有, 2:無, 9:不明 (初回治療の内容を記載)
	5 免疫療法	22	免疫療法・BRM	1:有, 2:無, 9:不明 (初回治療の内容を記載)
	6 対症療法	24	その他の治療 (項目なし)	1:有, 2:無, 9:不明 (初回治療の内容を記載)
	7 その他 ( )			
	8 無治療			
	1 手術(内視鏡的切除を含む)	16	外科的治療の有 無	1:有, 2:無, 9:不明 (初回治療の内容を記載)
		17	体腔鏡的治療の有 無	1:有, 2:無, 9:不明 (初回治療の内容を記載)
		18	内視鏡的治療の有 無	1:有, 2:無, 9:不明 (初回治療の内容を記載)
	(1) 手術日(西暦)			(項目なし)
	(2) 術式			(項目なし)
	(3) 根治度: a 治癒切除 b 非治癒 切除 c 非切除 d 不明	19	外科的・体腔鏡 的・内視鏡的治 療の結果	1:原発巣完全切除 2:原発巣不完全切除 3:原発巣切除治療度不明 4:姑息/対症/転移巣切除 9:不詳 (初回治療の内容を記載)
	2 放射線療法	20	放射線治療	1:有, 2:無, 9:不明 (初回治療の内容を記載)
3 化学療法	21	化学療法	1:有, 2:無, 9:不明 (初回治療の内容を記載)	
<p>今回治療, 初回治療で手術(1), その他の体腔鏡治療(7-4), その他の内視鏡的治療(7-6)のいずれかが行われている時のみ変換する (標準3に変換するものはなし)</p>				

	4 内分泌療法	23	内分泌療法	1:有, 2:無, 9:不明 (初回治療の内容を記載)	
	5 免疫療法	22	免疫療法・BRM	1:有, 2:無, 9:不明 (初回治療の内容を記載)	
	6 対症療法	24	その他の治療 (項目なし)	1:有, 2:無, 9:不明 (初回治療の内容を記載)	
	7 その他 ( )				
	8 無治療				
医療施設	施設名, 診療科名, 医師名	1	医療機関名 名称 診療科	(診療科名, 医師名は推奨項目)	
(項目なし)		25	死亡日		

地域がん登録標準登録票項目と全国がん登録システム登録票項目の対応表 \*

4. 地域がん登録標準登録票項目と全国がん登録システム登録票項目の対応表

地域がん登録標準登録票項目 (標準DBS)		全国がん登録システム登録票項目 (全国がんDBS)	
項目名	区分および説明	項目名	区分および説明
医療機関名称		病院等の名称 (項目なし)	
診療科名称		診療録番号	
患者ID (項目なし)		カナ氏名(氏)	
姓 (項目なし)		カナ氏名(名)	
名		氏名(氏)	
性別	1:男 2:女 3:その他 9:不明	性別	1:男 2:女
生年月日		生年月日	
診断時住所		診断時住所	
初回診断日		診断日	自施設診断日又は当該腫瘍初診日
自施設診断日			
発見経緯	1:がん検診 2:健康診断・人間ドック 3:他疾患の経過観察中(入院時ルーチン検査含む) 4:剖検発見 9:その他(症状受診を含む)、不明	発見経緯	1:がん検診・健康診断・人間ドックでの発見例 3:他疾患の経過観察中の偶然発見 4:剖検発見 8:その他 9:不明
診断結果	1:初発 2:治療開始後・再発 3:疑診	診断施設	1:自施設診断 2:他施設診断
原発部位名		原発部位(テキスト)	
原発部位コード		原発部位(局在コード)	
左右	1:右側 2:左側 3:両側 9:不明	側性	1:右側 2:左側 3:両側 7:側性なし 9:不明(原発側不明を含む)
ステージ	0:0期 1:I期 2:II期 3:III期 4:IV期 9:不明	(項目なし)	
TNM分類 T	X:TX 0:T0 1s:T1s 2:T2 3:T3 4:T4 9:不明	(項目なし)	
TNM分類 N	X:NX 0:NO 1:N1 2:N2 3:N3 9:不明	(項目なし)	
TNM分類 M	X:MX 0:MO 1:M1 9:不明	(項目なし)	
病巣の拡がり	0:上皮下 1:限局 2:所属リンパ節転移 3:隣接臓器への浸潤 4:遠隔転移 9:不明	進展度・治療前	400:上皮下内 410:限局 420:所属リンパ節転移 430:隣接臓器浸潤 440:遠隔転移 777:該当せず 499:不明

編集方式

標準DBSの【初回診断日】、【自施設診断日】をチェックし、下記のルールで設定  
 ①【初回診断日】、【自施設診断日】ともに存在する場合→【自施設診断日】を設定  
 ②【初回診断日】のみが存在する場合→【初回診断日】を設定  
 ③【自施設診断日】のみが存在する場合→【自施設診断日】を設定  
 ④【初回診断日】、【自施設診断日】ともに存在しない場合→空白を設定(必須チェックエラー)

1-1 2-1 3-3 4-4 9-9 "-" or null→9

1-1 2-2 3-2 9, "-", null→空白を設定(必須チェックエラー)

1-2 2-4 3-8 9, "-", null→空白を設定(必須チェックエラー)

0-7 1-1 2-2 3-3 9-9 "-" or null→7

① 標準DBSの【原発部位コード】がC420, C421の場合→777

② ①を満たさない場合、以下のコードに変換  
 0→400 1→410 2→420 3→430 4→440 9→499 "-" or null→499

① 標準DBSの【原発部位コード】がC420, C421の場合→777  
 ② ①を満たさない場合、標準DBSの【診断結果】が「2:治療開始後・再発」の場合→660  
 ③ ①も②も満たさない場合、標準DBSの【診断結果】が「3:疑診」又は「9, "-", null」の場合→499  
 ④ ①も②も③も満たさない場合、標準DBSの【切除術のすべてが「2:無」の場合→660  
 ⑤ ①も②も③も④も満たさない場合、標準DBSの【切除術のすべてが「1:有」の場合→標準DBSの【病巣の拡がり】を以下のコードに変換  
 0→400 1→410 2→420 3→430 4→440 9→499 "-" or null→499  
 ⑥ 上記以外の場合→499

組織診断名	病理診断名(テキスト)	病理診断(形態コード)	組織診断コード	病理診断(形態コード)	組織診断コード	分化度	病理診断(テキスト)	病理診断(形態コード)	組織診断コード	分化度	
診断根拠	1:原発巣の組織診 2:転移巣の組織診 3:細胞診 4:部位特異的な腫瘍マーカー 5:臨床検査 6:臨床診断 9:不明	1:原発巣の組織診 2:転移巣の組織診 3:細胞診 4:部位特異的な腫瘍マーカー 5:臨床検査 6:臨床診断 9:不明	診断根拠	1:原発巣の組織診 2:転移巣の組織診 3:細胞診 4:部位特異的な腫瘍マーカー 5:臨床検査 6:臨床診断 9:不明	① 標準DBSの【組織診断コード】が「8170, 9100, 9500, 9732, 9761」以外の場合且つ、標準DBSの【診断根拠】が「4:部位特異的な腫瘍マーカー」の場合→5 ② ①に該当しない場合、以下のコードに変換 1→1 2→2 3→3 4→4 5→5 6→6 9→9 “-” or null→9	① 標準DBSの【組織診断コード】が「8170, 9100, 9500, 9732, 9761」以外の場合且つ、標準DBSの【診断根拠】が「4:部位特異的な腫瘍マーカー」の場合→5 ② ①に該当しない場合、以下のコードに変換 1→1 2→2 3→3 4→4 5→5 6→6 9→9 “-” or null→9	① 標準DBSの【組織診断コード】が「8170, 9100, 9500, 9732, 9761」以外の場合且つ、標準DBSの【診断根拠】が「4:部位特異的な腫瘍マーカー」の場合→5 ② ①に該当しない場合、以下のコードに変換 1→1 2→2 3→3 4→4 5→5 6→6 9→9 “-” or null→9	① 標準DBSの【組織診断コード】が「8170, 9100, 9500, 9732, 9761」以外の場合且つ、標準DBSの【診断根拠】が「4:部位特異的な腫瘍マーカー」の場合→5 ② ①に該当しない場合、以下のコードに変換 1→1 2→2 3→3 4→4 5→5 6→6 9→9 “-” or null→9	① 標準DBSの【組織診断コード】が「8170, 9100, 9500, 9732, 9761」以外の場合且つ、標準DBSの【診断根拠】が「4:部位特異的な腫瘍マーカー」の場合→5 ② ①に該当しない場合、以下のコードに変換 1→1 2→2 3→3 4→4 5→5 6→6 9→9 “-” or null→9	① 標準DBSの【組織診断コード】が「8170, 9100, 9500, 9732, 9761」以外の場合且つ、標準DBSの【診断根拠】が「4:部位特異的な腫瘍マーカー」の場合→5 ② ①に該当しない場合、以下のコードに変換 1→1 2→2 3→3 4→4 5→5 6→6 9→9 “-” or null→9	① 標準DBSの【組織診断コード】が「8170, 9100, 9500, 9732, 9761」以外の場合且つ、標準DBSの【診断根拠】が「4:部位特異的な腫瘍マーカー」の場合→5 ② ①に該当しない場合、以下のコードに変換 1→1 2→2 3→3 4→4 5→5 6→6 9→9 “-” or null→9
外科的治療の有無	1:有 2:無 9:不明	1:有 2:無 9:不明	外科的治療の有無	1:有 2:無 9:不明	外科的治療の有無	1:有 2:無 9:不明	1:有 2:無 9:不明	1:有 2:無 9:不明	1:有 2:無 9:不明	1:有 2:無 9:不明	
体腔鏡的治療の有無	1:有 2:無 9:不明	1:有 2:無 9:不明	体腔鏡的治療の有無	1:有 2:無 9:不明	体腔鏡的治療の有無	1:有 2:無 9:不明	1:有 2:無 9:不明	1:有 2:無 9:不明	1:有 2:無 9:不明	1:有 2:無 9:不明	
内視鏡的治療の有無	1:有 2:無 9:不明	1:有 2:無 9:不明	内視鏡的治療の有無	1:有 2:無 9:不明	内視鏡的治療の有無	1:有 2:無 9:不明	1:有 2:無 9:不明	1:有 2:無 9:不明	1:有 2:無 9:不明	1:有 2:無 9:不明	
外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療の結果	1:原発巣完全切除 2:原発巣不完全切除 3:原発巣切除治療 4:姑息・対応・転移巣切除 9:不詳	1:原発巣完全切除 2:原発巣不完全切除 3:原発巣切除治療 4:姑息・対応・転移巣切除 9:不明	外科的・鏡下・内視鏡的治療の範囲	1:原発巣切除 4:姑息的な観血的治療 6:観血的治療なし 9:不明	1:原発巣切除 4:姑息的な観血的治療 6:観血的治療なし 9:不明	1:原発巣切除 4:姑息的な観血的治療 6:観血的治療なし 9:不明	1:原発巣切除 4:姑息的な観血的治療 6:観血的治療なし 9:不明	1:原発巣切除 4:姑息的な観血的治療 6:観血的治療なし 9:不明	1:原発巣切除 4:姑息的な観血的治療 6:観血的治療なし 9:不明	1:原発巣切除 4:姑息的な観血的治療 6:観血的治療なし 9:不明	
放射線治療の有無	1:有 2:無 9:不明	1:有 2:無 9:不明	放射線療法の有無	1:有 2:無 9:不明	放射線療法の有無	1:有 2:無 9:不明	1:有 2:無 9:不明	1:有 2:無 9:不明	1:有 2:無 9:不明	1:有 2:無 9:不明	
化学療法の有無	1:有 2:無 9:不明	1:有 2:無 9:不明	化学療法の有無	1:有 2:無 9:不明	化学療法の有無	1:有 2:無 9:不明	1:有 2:無 9:不明	1:有 2:無 9:不明	1:有 2:無 9:不明	1:有 2:無 9:不明	
内分泌療法の有無	1:有 2:無 9:不明	1:有 2:無 9:不明	内分泌療法の有無	1:有 2:無 9:不明	内分泌療法の有無	1:有 2:無 9:不明	1:有 2:無 9:不明	1:有 2:無 9:不明	1:有 2:無 9:不明	1:有 2:無 9:不明	
免疫療法・BRMの有無	1:有 2:無 9:不明	1:有 2:無 9:不明	免疫療法・BRMの有無	1:有 2:無 9:不明	免疫療法・BRMの有無	1:有 2:無 9:不明	1:有 2:無 9:不明	1:有 2:無 9:不明	1:有 2:無 9:不明	1:有 2:無 9:不明	
その他治療の有無	1:有 2:無 9:不明	1:有 2:無 9:不明	その他の治療の有無	1:有 2:無 9:不明	その他の治療の有無	1:有 2:無 9:不明	1:有 2:無 9:不明	1:有 2:無 9:不明	1:有 2:無 9:不明	1:有 2:無 9:不明	
死亡日			死亡日		死亡日						

\* 参照 都道府県がんデータベースの整備とデータ移行について 補足資料  
2016年2月1日  
国立がん研究センターがん対策情報センター  
全国がん登録データベース構築室

5. 広島県腫瘍登録データと地域がん登録標準登録票項目の対応表

広島県腫瘍登録		広島県腫瘍登録データと地域がん登録標準登録項目の対応表		2014年版	
項目名	広島県腫瘍登録	項目名	地域がん標準項目		
システムID		個人識別番号	登録時に自動付与		
登録受付番号	XXXXXXXXXX XXX-001-998 YYYYYY:数字	登録順序	医療機関コード表に準ずる		① 病院コード=検査センターとnull以外はそのままコピー ② ①以外、登録受付番号の上3桁xxを医療機関コードに置き換える ③ ①②で移行したデータに対し、以下の変換を行う 廃止となった医療機関コードは、現行の医療機関コードに変換を行う 検査センターは「県内その他」の医療機関とする
順番		診療科コード	医療機関関係コード表に準ずる		null
標本番号		患者ID			そのままコピー
病院コード	病院コード、null:旧データ、不明、未確認 (標本を採取した病院)	初回診断日	前医を含めた診断日		null
カルテ番号		初回診断日精度	nullは未収集(D:死亡票等)		
採取年月日	1973~現在,null(不明)	自施設診断日	自施設における診断日		日付文字列に変換
日付けフラグ	0-5, 6	自施設診断日精度	nullは未収集(D:死亡票等)		9
疑診	1:疑診 null	発見経緯	1:がん検診 2:健康診断・人間ドック 3:他疾患の経過観察中(入院時カルテ・検査含む) 4:剖検発見 9:その他(症状受診を含む)、不明		1-3 null→1
Mu多発性	1:多発 null	診断結果	1:初発 2:治療開始後・再発 3:疑診		① 性状=9→C809 ② ①以外で 原発腫瘍≠null→原発腫瘍をコピー ③ ①②以外 部位をコピー
部位	ICD-O-Tコード	原発部位コード	ICD-O-3局在(T)コード表に準ずる		① 性状=6, 9 もしくは、性状=0,1,2 かつ 原発腫瘍≠null の時 側性がある部位→9 ない部位→null ② ①以外について、 変換: 0→null 1→1 2→2 4→3 9→9 変換後、側性がない部位→null
左右	0:対称でない、1:右側 2:左側 4:両側 9:不明 null(左右の区別無しも含む。)	側性	1:右側 2:左側 3:両側 9:不明		
原発腫瘍	ICD-O-Tコード 性状が6(転移)はnullでない	ステージ	0:0期 1:I期 2:II期 3:III期 4:IV期 9:不明 X:TX 0:T0 Is:Tis 1:T1 2:T2 3:T3 4:T4 9:不明 X:NX 0:N0 1:N1 2:N2 3:N3 9:不明 X:MX 0:M0 1:M1 9:不明		
		TNM分類 T	ICD-O-3形態(M)コード表に準ずる		① oncology 改訂=2 → ICD-O-3-Mコードに変換後、コピー ② oncology 改訂=3 → そのままコピー ③ 性状 6,9 → 3 ④ 変換後の組み合わせで、 (1)性状=0,1で、分化度≠9 (2)分化度=null (1)または(2)の場合、分化度を9に変換する ⑤ その形態にはその分化度しかない、という組み合わせのものはあらかじめその分化度 を与え
		TNM分類 N	ICD-O-3形態(M)コード表に準ずる		
		TNM分類 M	ICD-O-3形態(M)コード表に準ずる		
組織診断	ICD-O-Mコード	組織診断コード	ICD-O-3形態(M)コード表に準ずる		
性状	0-3, 6, 9	性状コード	ICD-O-3形態(M)コード表に準ずる		
分化度	1:異型度 I 2:異型度 II 3:異型度 III 4:異型度 IV 5: T細胞 6:B細胞 7:スル細胞 8:NK細胞 9:未決定・未 記載又は適用外 null	分化度	ICD-O-3形態(M)コード表に準ずる		
oncology 改訂	1, 2, 3	進展度	0:上皮内 1:限局 2:所属リンパ節転移有り 3:隣接臓器への浸潤有り 4:遠隔転移あり 9:不明 null		① 性状=2 →0 ② ①以外 0→9→そのまま移行、null→9 ただし 性状=0,1,6 かつ 原発腫瘍≠null の時は9とする



## 6. 広島県地域がん登録・広島県腫瘍登録届出施設

広島県腫瘍登録事業の件数については、広島県地域がん登録の登録票項目への変換が可能であったものに限る。

二次保健 医療圏	医療機関名	広島県	広島県	合計
		地域がん登録	腫瘍登録事業	
広島	広島大学病院	2573	3730	6303
	地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立広島市民病院	2875	3377	6252
	県立広島病院	1851	1934	3785
	広島赤十字・原爆病院	1385	1402	2787
	国家公務員共済組合連合会 広島記念病院	708	908	1616
	マツダ株式会社 マツダ病院	315	464	779
	JR広島病院	188	465	655
	中国電力株式会社 中電病院	165	355	520
	福島生協病院	8	109	117
	広島県厚生農業協同組合連合会 吉田総合病院	179	247	426
	地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立安佐市民病院	2090	2521	4611
	医療法人社団曙会 シムラ病院	113	-	113
	広島市医師会運営・安芸市民病院	11	58	69
	広島医療生活協同組合 広島共立病院	163	171	334
	医療法人あかね会 土谷総合病院	290	341	631
	国家公務員共済組合連合会 吉島病院	169	189	358
	安芸太田病院	7	17	24
	済生会広島病院	147	381	528
	医療法人社団 公仁会 榎殿順記念病院	-	58	58
	五日市記念病院	10	35	45
	広島厚生病院	7	-	7
	医療法人社団 仁鷹会 たかの橋中央病院	47	105	152
	広島通信病院	8	60	68
	地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立舟入市民病院	-	60	75
	翠清会梶川病院	4	-	4
	太田川病院	34	17	51
	医療法人社団光仁会 梶川病院	41	34	75
	高陽ニュータウン病院	-	19	19
	医療法人社団 一陽会 原田病院	18	46	64
	荒木脳神経外科病院	6	-	6
	野村病院	52	23	75
	日比野病院	-	2	2
	医療法人社団まりも会 ヒロシマ平松病院	-	21	21
	広島原爆障害対策協議会 健康管理・増進センター	-	45	45
	一ノ瀬病院	2	-	2
	医療法人財団愛人会 河村内科消化器クリニック	10	33	43
	医療法人社団 聖愛会 ぎおん牛田病院	-	7	7
	長崎病院	-	17	18
	長久堂野村病院	-	3	3
	医療法人社団 慈恵会 いまだ病院	-	1	1
	北広島町豊平病院	-	1	1
	妹尾病院	11	5	16
	岡田外科医院	-	1	1
	公益財団法人 広島原爆被爆者援護事業団 倉掛のぞみ園診療所	5	-	5
	こどい内科クリニック	-	33	33
	かわもと皮ふ科	-	1	1
	中央通り乳腺検診クリニック	70	-	70
香川乳腺クリニック	38	-	38	
医療法人社団 俊幸会 中川外科胃腸科	16	5	21	
広島女性クリニック	7	7	14	
大朝ふるさと病院	-	2	2	
広島県厚生農業協同組合連合会 広島総合病院	1521	1775	3296	
独立行政法人国立病院機構 広島西医療センター	159	187	346	
広島西	6	-	6	
メープルヒル病院	79	-	79	
廿日市記念病院	-	5	5	
佐伯中央病院	-	5	5	

	独立行政法人国立病院機構 呉医療センター	1921	1836	3757
	国家公務員共済組合連合会 呉共済病院	898	1000	1898
	独立行政法人労働者健康安全機構 中国労災病院	861	1091	1952
	青山病院	-	1	1
	呉芸南病院	-	6	6
呉	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 広島県済生会 済生会呉病院	110	-	110
	一般社団法人 呉市医師会 呉市医師会病院	81	144	225
	医療法人社団 永楽会 前田病院	25	4	29
	医療法人社団 悠仁会 後藤病院	-	4	4
	公立下蒲刈病院	-	2	2
	碓井サテライトクリニック	-	35	35
	医療法人社団仁風会 青木病院	2	-	2
	独立行政法人国立病院機構 東広島医療センター	985	746	1731
	井野口病院	35	29	64
	医療法人社団樹草会 本永病院	45	53	98
	医療法人社団仁慈会 安田病院	54	80	134
広島中央	広島県立障害者リハビリテーションセンター	-	20	20
	県立安芸津病院	25	-	25
	医療法人 楽生会 馬場病院	2	-	2
	医療法人 かわの医院	22	-	22
	康成病院	11	-	11
	広島県厚生農業協同組合連合会 尾道総合病院	1200	1830	3030
	三菱三原病院	29	32	61
	日立造船健康保険組合 因島総合病院	20	15	35
	社会医療法人里仁会 興生総合病院	134	176	310
	公立みつぎ総合病院	150	90	240
	医療法人清幸会 三原城町病院	6	33	39
尾三	一般社団法人 因島医師会 因島医師会病院	68	-	68
	総合病院三原赤十字病院	206	213	419
	尾道市立市民病院	534	694	1228
	公立世羅中央病院	3	-	3
	一般社団法人 三原市医師会 三原市医師会病院	118	116	234
	医療法人杏仁会 松尾内科病院	16	-	16
	医療法人 宗斉会 須波宗斉会病院	4	-	4
	寺田外科クリニック	17	-	17
	公立学校共済組合 中国中央病院	711	863	1574
	独立行政法人国立病院機構 福山医療センター	1090	1456	2546
	福山市民病院	1481	750	2231
	脳神経センター大田記念病院	117	-	117
	楠本病院	33	58	91
	医療法人財団 竹政会 セントラル病院	30	45	75
	医療法人 叙叙会 福山第一病院	69	-	69
	日本鋼管福山病院	203	299	502
	寺岡記念病院	102	-	102
福山・府中	医療法人 賢仁会 松岡病院	6	16	22
	医療法人秀明会 小池病院	19	-	19
	医療法人社団 健照会 セオ病院	9	-	9
	医療法人辰川会 山陽病院	-	18	18
	大石病院	-	3	3
	沼隈病院	-	26	26
	医療法人社団玄同会 小畠病院	-	180	180
	医療法人社団 白河産婦人科	1	-	1
	井上病院	69	59	128
	いしいクリニック	82	-	82
	医療法人 紅萌会 福山記念病院	3	-	3
	市立三次中央病院	785	1023	1808
備北	庄原市立西城市民病院	-	8	8
	総合病院 庄原赤十字病院	-	310	310
	一般社団法人 三次地区医師会 三次地区医療センター	-	41	41
県内	県内 医師会臨床検査センター*	-	547	547
県外	県外	124	5	129
	合計	27904	33234	61170

\*全国がん登録システムでは、県内の医師会臨床検査センターの各件数を個別に抽出できないため、合計件数を報告。



## 7. 広島県・広島市地域がん登録資料の相互利用に関する協定書

### 広島県・広島市地域がん登録資料の相互利用に関する協定書

広島県を甲とし、広島市を乙として、甲と乙は、それぞれが実施する地域がん登録事業において医療機関等から収集した罹患資料（以下「収集データ」という。）の相互利用について、次のとおり協定を締結した。

#### （目的）

第1条 広島県内において異なる主体により実施される広島県地域がん登録と広島市地域がん登録の収集データを相互に利用し、それぞれの登録を補完することで、より精度の高い地域がん登録として発展させていくことを目的とする。

#### （基本的事項）

第2条 甲及び乙は、それぞれの収集データを照合し、それぞれ地域がん登録で対象とする地域内の症例について、いずれか一方にのみ登録されているデータ（以下「相互利用データ」という。）が発見された場合は、データを持たないもう一方に対して当該データの利用を認める。

2 相互利用データは、原則としてそれぞれの地域がん登録事業の集計、解析等において、自らが収集したデータと同様に使用できるものとする。

3 相互利用する収集データは、この協定書の締結以前に収集・登録されたデータも対象とする。

#### （協定の期間）

第3条 この協定の有効期間は、平成21年8月1日から平成22年3月31日までとする。

2 前項の期間満了の日30日前までに、甲、乙いずれからも相手方に対して文書により異議の申出がないときには、この期間は、更に1年間延長するものとし、その後において延長した期間が満了したときも、同様とする。

#### （地域がん登録に協力する医療機関等への周知）

第4条 甲及び乙は、それぞれに実施する地域がん登録に協力する医療機関等に対し、この協定に基づいた登録データの相互利用について理解を求めるものとする。

#### （守秘義務）

第5条 甲及び乙は、登録データに関する個人の秘密を完全に保護し、個人に関する情報一切を漏洩してはならない。

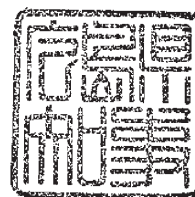
#### （疑義の解決）

第6条 この協定について疑義が生じた場合及びこの契約に定めのない事項で必要がある場合は、甲及び乙が協議して定めるものとする。

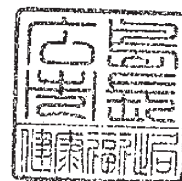
以上のとおり協定を締結したことを証するため、この証書2通を作成し、甲と乙が記名・押印をして、各自その1通を所持する。

平成21年8月1日

甲 広島県  
代表者 広島県知事 藤田雄山



乙 広島市  
代表者 広島市長 秋葉忠利



8. 広島県医師会 広島県地域がん登録運営委員会委員名簿

広島県地域がん登録運営委員会 委員名簿

役 職	氏 名	所 属
委 員 長	津谷 隆史	一般社団法人広島県医師会副会長
委 員	安井 弥	広島大学大学院医歯薬保健学研究科 分子病理学
委 員	武島 幸男	広島大学大学院医歯薬保健学研究科 病理学
委 員	今井 茂郎	国家公務員共済組合連合会 呉共済病院 (呉市医師会)
委 員	小笹晃太郎	公益財団法人 放射線影響研究所 疫学部
委 員	小山 祐介	福山市民病院 (福山市医師会)
委 員	作間 俊治	広島赤十字・原爆病院 (広島市医師会)
委 員	杉山 一彦	広島大学病院 がん化学療法科 (広島大学医師会)
委 員	立本 直邦	市立三次中央病院 (三次地区医師会)
委 員	寺面 和史	三菱三原病院 (三原市医師会)
委 員	徳毛 宏則	厚生連広島総合病院 (佐伯地区医師会)
委 員	則行 敏生	厚生連尾道総合病院 (尾道市医師会)
委 員	平林 直樹	広島市立安佐市民病院 (安佐医師会)
委 員	松浦 求樹	広島市立広島市民病院 (広島市医師会)
委 員	万代 光一	東広島医療センター (東広島地区医師会)
委 員	梶原 博毅	広島県医師会 腫瘍登録室
委 員	山本 洋敬	広島県健康福祉局がん対策課
委 員	山田 博康	一般社団法人広島県医師会常任理事
委 員	三宅 規之	一般社団法人広島県医師会常任理事
オブザーバー	杉山 裕美	公益財団法人 放射線影響研究所 疫学部

## 広島県地域がん登録システム推進事業実施要領

### (趣 旨)

第1条 本県の効果的ながん対策の推進に資するため、県内で発生するがんの特性を把握し、予防活動の有効性及びがん医療水準の評価等を行うこととし、「広島県地域がん登録システム推進事業」を実施する。

### (実施主体)

第2条 この事業は、一般社団法人広島県医師会、公益財団法人放射線影響研究所、広島大学大学院医歯薬保健学研究院及び県内の有床医療機関（以下「医療機関」という。）の協力を得て、広島県が実施する。

### (事業)

第3条 この事業は、医療機関からの届出によるがん患者の情報を登録（以下「がん登録」という。）することにより実施するものであり、その業務内容は次のとおりである。

- (1) がん登録運営委員会の開催
- (2) 資料利用審査委員会の開催
- (3) がん登録推進会議の開催
- (4) がん登録届出票の印刷、発送及び受理
- (5) 収集データの入力、集計及び解析
- (6) 報告書の作成
- (7) がん登録の制度の普及啓発

### (業務の委託)

第4条 県は、前条の業務のうち(4)～(7)について、委託により実施するものとする。

### (がん登録の対象)

第5条 登録の対象は、県内に居住する者で、悪性新生物（悪性腫瘍）と診断された後、入院治療を受けた者とする。

### (がん登録の方法)

第6条 別紙様式による「広島県がん登録届出票」（以下「届出票」という。）により、次のとおり個々の患者情報を登録する。

#### (1) 届出

ア 医療機関の医師は、県内に居住するがん患者が入院治療を受け退院した時点において届出票に所要事項を記載する。

イ 医療機関は、届出票を1か月毎にとりまとめ、翌月の末日までに委託機関へ郵送（所定の封筒による）により提出する。

## (2) 登録

委託機関は、届出票を受理し、個人情報の重複を避けるため氏名、生年月日、性別及び住所による個人を識別する作業（以下「個人同定作業」という。）を行った上で、登録を行うものとする。

### (届出票の保存・管理)

第7条 届出票は、個人同定作業が終了した時点において、個人情報部分と臨床情報部分を切り離して別々に保存・管理するものとする。

### (がん登録のシステム化)

第8条 がん登録の内容をより充実させ、より精度の高い情報とするため、厚生労働省の実施する人口動態調査の死亡小票及び死亡票（磁気テープ転写分）のデータ並びに広島県医師会が実施する広島県腫瘍登録事業の登録データをがん登録に取り込み、解析することとする。

### (死亡小票及び死亡票の取扱い)

第9条 死亡小票及び死亡票は次のとおり取り扱う。

- (1) 死亡小票のうち悪性新生物やその他の新生物の記載のあるもの（別記のとおり）を抽出し、別紙様式第2号に転記する。（以下「転写票」という。）
- (2) がん登録で登録された個人（以下「がん登録患者」という。）とこの転写票とを照らし合わせ、両票が同一患者に由来するものか否かを確認し、別紙集計様式により登録する。
- (3) がん登録患者のうち死因ががんでない患者については、市区町村符号及び保健所符号、死亡した人の住所地、男女別、生年月日の4つの項目を用いて死亡票（磁気テープ転写分）から原死因を確認して除き、別紙集計様式により登録する。
- (4) 死亡小票及び死亡票のその他の取扱い方法については、別途定める。

### (事業報告)

第10条 委託機関は、毎年、がん登録状況の集計及び解析結果について、県に報告するものとする。

- 2 委託機関は、前項の場合において、届出票を提出した医療機関に対して、当該施設に係る届出情報の集計結果を報告するものとする。
- 3 事業報告に当たっては、個人が特定されるおそれのある情報を含んではならない。

### (結果の公表等)

第11条 県は、委託機関から報告された集計及び解析結果について年報にまとめて公表する。

(秘密の保持)

第12条 この事業に従事する者は、業務上知り得た個人情報を他に漏らしてはならない。

(その他)

第13条 この要領に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附 則

この要領は、平成14年4月5日から施行する。

附 則

この要領は、平成15年7月17日から施行し、平成15年4月1日から適用する。

附 則

この要領は、平成26年8月19日から施行する。

## 別記 1

- ① 悪性新生物を原死因とする死亡小票
- ② 他の原死因があるが死亡原因欄又は備考欄に悪性新生物の記載がある死亡小票
- ③ 良性新生物，上皮内がん，性状不詳の新生物，死因の明示されない新生物を原死因とする死亡小票
- ④ 他の原死因であるが死亡原因欄又は備考欄に良性新生物，上皮内がん，性状不詳の新生物の記載がある死亡小票

## 別記 2

死亡小票の調査項目

市区町村符号及び保健所符号

事件簿番号

氏名

男女別

生年月日

死亡したとき

死亡した人の住所

死亡した人の国籍

死亡したことの種別

施設の名称

死亡の原因

その他特に付言すべきことがら

施設の所在地又は医師の住所及び氏名

備考



## 広島県地域がん登録システム推進事業 資料利用審査委員会設置要領

### (目的)

第1条 がんの予防の推進並びにがん医療の向上及び評価を総合的に実施する体制を整備し、県民の健康保持・増進及び医療水準の向上に資するため、「広島県地域がん登録システム推進事業実施要領」第3条(2)に規定する資料利用審査委員会を設置する。

### (協議内容)

第2条 この委員会は、地域がん登録事業において収集された登録情報の利用に関する事項について基準を定め、当該申請に係る登録資料の利用の可否について協議する。

### (構成員)

第3条 この委員会は、別表の区分ごとに団体から推薦された委員等で構成し、委員の中から委員長1名及び副委員長1名を互選する。

### (任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期については、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任を妨げない。

### (事務局)

第5条 委員会の事務局は、広島県健康福祉局がん対策課に置く。

### 附 則

この要領は、平成15年3月4日から施行する。

### 附 則

この要領は、平成15年5月7日から施行し、平成15年4月1日から適用する。

### 附 則

この要領は、平成20年10月10日から施行し、平成20年4月1日から適用する。

### 附 則

この要領は、平成23年4月27日から施行し、平成23年4月1日から適用する。

### 附 則

この要領は、平成26年8月19日から施行する。

### 別 表

構 成 団 体 等	
1	一般社団法人広島県医師会
2	広島大学大学院医歯薬保健学研究院分子病理学
3	公益財団法人放射線影響研究所
4	学識経験者
5	広島県健康福祉局



## 広島県地域がん登録資料の利用手続要項

(目 的)

第1条 本要項は、広島県地域がん登録事業における登録資料の利用手続について定める。

(定 義)

第2条 この手続きは、当該施設以外の登録資料を研究目的で利用する場合について定めるものである。

(利用の申請)

第3条 登録資料を利用しようとする者は、広島県健康福祉局長に、広島県地域がん登録・広島市地域がん登録資料利用申請書(様式第1号)を提出する。

(利用の基準)

第4条 登録資料の利用申請があるときは、広島県健康福祉局長は、広島県地域がん登録システム推進事業資料利用審査委員会(以下「委員会」という。)に当該申請に係る登録資料の利用の可否について諮る。

委員会は、以下の基準に照らし、協議する。

- (1) 登録資料の利用が、がん予防対策及びがん医療水準の向上に寄与するものであること。
- (2) 利用する登録資料が、利用目的を達成する上で必要最小限度の範囲内のものであること。
- (3) 申請者は、登録資料の適正な使用と適切な管理を行うことができること。
- (4) 申請者は、研究実績及び目的達成の研究能力と研究遂行に必要な手段を持つものであること。
- (5) 別表各号に定める事項のうちいずれかに該当するものを含む登録資料を申請しようとする申請者は、申請者が所属する機関での倫理委員会あるいは類似の審査を経たものであること。

(申請の承認)

第5条 広島県健康福祉局長は、委員会の協議結果を受け、申請者に次のとおり回答する。

- (1) 登録資料の利用を承認した場合は、申請者に広島県地域がん登録資料利用承認書(様式第2号)を交付の上、資料を提供する。
- (2) 前条の規定により登録資料の利用を承認できない場合は、申請者に不承認の理由を付して通知する。(様式第3号)

(利用条件の付与)

第6条 広島県健康福祉局長は、登録資料の利用の承認に当たり、利用の方法、範囲等について条件を付することができるものとする。

(利用に関する責務)

第7条 申請者は、受領後の資料の取扱いについては、広島県地域がん登録資料受領書(様式第4号)及び誓約書(様式第5号)を提出するとともに、以下に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 申請書に記載された目的以外に資料を利用しない。

- (2) 申請書に記載された資料の利用期間及び利用方法を厳守する。
  - (3) 結果のいかなる公表においても、個人を特定する情報を明らかにしない。
  - (4) 結果の公表を行った場合、学会発表抄録、論文別刷等を広島県健康福祉局がん対策課へ提出する。
  - (5) 資料の利用期間が終了した場合、あるいは資料が不要となった場合は、直ちに広島県健康福祉局がん対策課へ返却する。
  - (6) 資料に関わる全ての機密保持について遵守する。
- 2 広島県健康福祉局長は、登録資料提供記録（様式第6号）により、提供の状況を把握する。
- (その他)
- 第8条 この要項に定めるもののほか、必要な事項は、委員会で協議の上、別に定める。

附 則

この要項は、平成15年5月12日から施行する。

附 則

この要項は、平成18年3月6日から施行する。

附 則

この要項は、平成20年10月10日から施行し、平成20年4月1日から適用する。

附 則

この要項は、平成22年4月14日から施行し、平成22年4月1日から適用する。

附 則

この要項は、平成23年7月20日から施行し、平成23年4月1日から適用する。

附 則

この要項は、平成25年2月1日から施行する。

(別表)

- 1 生年月日
- 2 死亡年月日
- 3 単一及び複数の情報の連結等で個人を特定することが可能であると広島県健康福祉局長が認めるもの

(様式第1号)

広島県健康福祉局がん対策課	受付	平成 年 月 日	No.
広島市健康福祉局保健部保健医療課	受付	平成 年 月 日	No

広島県地域がん登録・広島市地域がん登録資料利用申請書

平成 年 月 日

広島県健康福祉局長様

広島市健康福祉局長様

申請者 施設名

所属及び職名

氏名

印

住所

電話番号

広島県地域がん登録・広島市地域がん登録事業に係る資料を利用したいので、承認してください。

新規・継続の別	イ 新規 ロ 継続 広島県(前回承認:平成 年 月 日/承認番号:第 号) 広島市(前回承認:平成 年 月 日/承認番号:第 号)	
研究課題		
研究目的		
研究方法		
共同研究者氏名 及び所属機関名		
必要とする 登録資料  (1~4の項目について、該当する内容の□に○及び()内に具体的に記載してください。)	1. 対象の範囲	<input type="checkbox"/> 広島県全域 <input type="checkbox"/> 広島市 <input type="checkbox"/> 特定の地域 [ ]
	2. 部位	<input type="checkbox"/> 全部位 <input type="checkbox"/> 特定の部位または組織型 [ ]
	3. 性状	<input type="checkbox"/> 悪性 <input type="checkbox"/> 上皮内がん <input type="checkbox"/> 良性(脳・脊髄・髄膜のみ)
	4. 診断年	年 ~ 年
	5. 資料の入手方法	<input type="checkbox"/> リスト形式(固定長・CSV・MS Excel・MS Access) <input type="checkbox"/> その他具体的事項 [ ]
資料の利用期間	平成 年 月 日 ~ 年 月 日 (基本的に1年とします)	
倫理委員会等の承認	年 月 日 承認番号 第 号	
所属機関の長承認欄 (倫理委員会等がない場合のみ)	上記の申請については、所属機関の長として承認します。 所属機関名 所属機関長名 印	

- 1 別表に定める登録資料を申請しようとする場合は、倫理委員会等の承認を取ってください。倫理委員会等の承認機関がない場合は、所属機関長の承認を取ってください。
- 2 別添の「地域がん登録詳細定義」及び研究計画書を添付してください。

(様式第2号)

が対第 号  
平成 年 月 日

様

広島県健康福祉局長  
〒730-8511 広島市中区基町10-52  
が ん 対 策 課

広島県地域がん登録事業に係る資料の利用について（通知）

平成 年 月 日付けで申請のこのことについては、(次の条件を付して) 承認  
します。

(様式第3号)

が対第 号  
平成 年 月 日

様

広島県健康福祉局長  
〒730-8511 広島市中区基町10-52  
が ん 対 策 課

広島県地域がん登録事業に係る資料の利用について（通知）

平成 年 月 日付けで申請のこのことについては、承認できません。

（理由）

(様式第 4 号)

広島県地域がん登録資料受領書

広島県地域がん登録事業に係る資料を、広島県健康福祉局 承認番号  
が対第 号 により受領しました。

資料の利用に当たっては、別紙誓約書の各事項について遵守します。

平成 年 月 日

広島県健康福祉局長様

施設名  
所在地  
受領責任者  
所属及び職名  
氏名

印

(様式第5号)

## 誓 約 書

広島県地域がん登録事業に係る資料を利用するに当たり、個人情報の秘密保持のため、次の事項について遵守します。

- 1 資料から知り得たいかなる情報も他に漏らさない。
- 2 資料から知り得たいかなる情報も厳重に管理保管する。
- 3 資料から知り得たいかなる情報も申請書の目的以外に使用しない。
- 4 資料利用期間が終了した場合、あるいは資料が不要となった場合は、直ちに返却する。

平成 年 月 日

申 請 者  
住 所  
所属及び職名  
氏 名  
電 話 番 号

印

広島県健康福祉局長様







## 広島県のがん登録（平成26年集計）

---

平成30年10月25日 発行

編集 広島県医師会地域がん登録運営委員会  
〒732-0057 広島市東区二葉の里三丁目2番3号  
TEL (082)568-1511

発行 広島県  
一般社団法人 広島県医師会  
公益財団法人 放射線影響研究所

印刷所 レタープレス株式会社  
〒739-1752 広島市安佐北区上深川町809番地の5  
TEL (082)844-7500

---